TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
12月26日
Vol. 40

今週のトピックス

緩和ケア病棟過疎地！東京

先日、清瀬の東京病院緩和ケア病棟の新施設内覧会に出かけました。広い敷地の一角に平屋建ての洒落た建物が完成していました。木を使った清潔で広々とした空間で、20床から30床の施設になったようです。これで多摩の緩和ケア病床は10床増えました。しかし、日の出ヶ丘病院の16床が消失したので、まだ6床不足しています。そもそも東京の緩和ケア病棟のベット数は少ない。東京都の施設は33病院664床、23区に22施設445床、多摩に12施設219床しか存在しない。2020年の東京都の人口は約1400万人、23区に約1000万人、多摩地域に約3割の約400万人が暮らしています。緩和ケア病棟が日本で一番多いのは福岡県です。人口約500万人に対し36施設714床があります。私の故郷熊本県の人口は173万人ですが16施設312床があります。如何に東京が緩和ケア病棟不足か！が分ります。人口が多く施設が少ないため、入院までの待機時間が長いのが大問題です。せめて、在宅緩和ケアに繋がれば良いのですが、病院で漫然と外来予約を入れるため、急変し搬送先で死亡、自宅で死亡し検視となる案件が増えています。今後、東京で緩和ケア病棟が増える見込みはありません。近隣で新設、建替えされた病院で、院長が緩和ケア病棟を造りますと言ってくていれましたが、採算が取れないとの理由で実現しませんでした。新・青梅市立総合病院に緩和ケア病棟ができるようです。それで、不足分はなくなりますが、過疎地には変わりありません。最近、サ高住にホスピスと謳った施設が急増しています。緩和ケアが提供され、そこで最期まで過ごされればいいのですが？と心配しています。

多摩地域の緩和ケア病棟（病院別ベッド数）

○公立阿伎留医療センター　16床　○聖ヶ丘病院・・11床　○多摩南部地域病院・・16床
○町田市民病院・・18床　○みなみ野病院・・25床　○野村病院・・12床　○桜町病院・・20床
○信愛病院・・20床　○複十字病院・・26床　○救世軍清瀬病院・・25床　○東京病院・・30床
○新青梅市立総合病院・・+α（令和6年10月予定）　※東京都福祉保健局HP・新青梅市立総合病院HPより抜粋

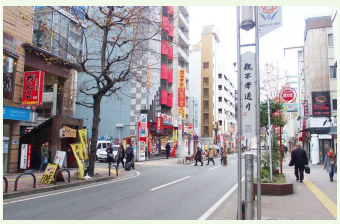
今、ここに至るまで。（前号から）

久留米の全寮制予備校で懸命に頑張ってみたが熊大医学部には届かなかった。私立医学部には2ヶ所ほど引っかかったが、入学金、授業料が高額で断念した。翌年は福岡市内の有名予備校の医学部コースに通うことにした。天神から北に15分程歩いた場所にあった。寮も天神から西鉄で5番目の駅にあり、入ることにした。ここでの受験勉強は完全に失敗だった。その理由は三つ。一つ目は通学、寮から最寄り駅まで15分、混んだ電車で20分、天神から予備校まで15分、往復で2時弱の時間が掛かった。久留米では1分で教室だった。食事も粗末で自然に外食が増えた。予備校に通う学生も若く、話ができる相手もいなかった。二つ目は喫茶店、予備校に向かう通りは新しい道で店も疎らな状態だった。気になる2軒の店があった。

勝手にしやがれ店内風景

晴れたり曇ったり

「晴れたり曇ったり」という居酒屋と「勝手にしやがれ」という喫茶店だった。飲む相手もいないので居酒屋には入らなかったが、開店して間もない喫茶店ではいつの間にか常連になっていた。この店が10年後には伝説の店になっていた。1年しか通わなかったが、学生運動家、漫画家、格闘家、作家などがマスター、嫁さん？に会いに集まっていたらしい。次第にその周辺に若者相手の店が集まり、いつか「親不孝通り」と言われるようになったらしい。今年、アマゾンで古い本を発見、その痕跡が綴られていた。三つ目は隣人、部屋の壁は薄かった。入寮してから1ヶ月もたたない頃、隣から牌を混ぜる音が聞こえてきた。最初の2日は我慢していたが、3日目には堪忍袋の緒が切れた。「うるさい、いい加減にしろ！」と怒鳴り込んだ。すると、3人が卓を囲んでいた。「すみません、ごめんなさい」を低姿勢に謝ってきた。話を聞くと1浪目の3人だった。二人は佐賀の唐津、一人は熊本の人吉の出身だった。「麻雀は雀荘で、4人で　やるもんだ」と説教すると、麻雀は始めたばかり、雀荘には行ったことがないと答えた。「じゃ、今度教えてやるよ」「兎に角、寮ではやるな」と部屋を出た。それからは一切牌を混ぜる音はしなくなった。予備校には通うが寄り道が増えた、外食も増えた、時々隣人達と駅近の雀荘で卓を囲んだ、日の当たらない暗く狭く陰気な部屋では集中もできず、予備試験は伸び悩みだった。



親不孝通り風景

当院での看取り患者数

4,386名　～2022年12月25日（累計）
（がん3,338名・非がん948名）

看取り報告（12/19～12/25）		在宅療養期間
82歳	女性・膵臓癌	113日
83歳	女性・心筋梗塞	319日
66歳	女性・膵癌	2日
49歳	男性・肺癌	178日
87歳	女性・膀胱癌	6日
88歳	男性・右肺癌	19日
50歳	女性・卵巣癌	17日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医（たましんビジネス）
木：面談担当
金：産業医

荘司 院長

月：立川市医師会理事会
火：東京都医師会オンライン診察出務／在宅医療連合学会地方組織委員会WEB会議
水：面談担当
金：面談担当／酸素ステーション会議
土：立川市役所集団接種出務

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
12月19日
Vol.39

今週のトピックス

岡田和夫教授逝く

11月末の月曜日に、麻酔科の同僚であった女医さんから知らせが来た。元帝京大学医学部麻酔科教授で恩師である岡田和夫先生の訃報だった。詳細は不明だが療養中の那須から東京に移られ亡くなった、江戸川橋近くのお寺で火曜日夕刻にお通夜、翌日水曜日昼に告別式という連絡だった。取り急ぎ弔電とお花はお寺に送った。火曜日の夕方は厳しい、水曜日の昼は予定があり、悩んだがお世話になったし、20周年記念のパーティーにも両杖で来てくれ、「教え子の井尾君が日本と名の付く全国大会を開き大変嬉しく思う…」とスピーチしていただいた。午後の予定を繰り上げ、少し先生達にお願いし通夜に参列することにした。国立から中央線快速で四谷で乗り換え江戸川橋まで出かけた。辺りは真っ暗、雨も降ってきた。スマホの地図案内を頼りに何とか寺に着いた。小さな寺だった、外のテントで受付をして、テントの横の狭いスペースでお焼香を待った。30分近く待つ間に、懐かしい顔が一人、また一人と増えた。寺の本堂は狭く、奥の祭壇にお花に囲まれた先生の写真が飾られていた。本堂で直接お顔を見れると思っていたが、本堂に上がる階段の外に焼香台が設けられていた。雨の中、焼香を済ませたが、何か寂しい気持ちになった。外のスペースで集まった元同僚と雑談をしていると、電話をくれた女医さんと分院の教授も現れた。まるで同窓会になったようだった。雨も降るし「駅前で少し飲む？」ということになり駅前の居酒屋に移動した。1時間ほど昔を懐かしみ、明日も仕事のため家路に着いた。電車の中で教授のことを思い出していた。今思えば、私がこの仕事になるターニングポイントに教授がいた。麻酔科に入局し2年半が経ち、大学院に進み学位を取ろうと思っていた。その2か月程前に「井尾君、国立王子病院に行ってくれんかね」と突然頼まれた。「まだ、自信はありません、家の者と相談してみます、大学院も…」と言いかけると「もう、OKは取ってある」と返事があった。「じゃ、頼んだよ」と一方的に決まってしまった。いつも早口でポンポンと決めてしまうが、なぜか憎めない人柄の先生だった。麻酔をかけている手術場に突然顔を出し、「井尾君、来週から治験の薬をやることになった、30例やっておいてくれ」「井尾君、明日長野の病院で脳外科の麻酔かけてきてくれ、術者は〇〇大学の脳外科の教授だ、頼んだよ」「井尾君、来週学会に講演に来るアメリカの教授とのゴルフに付き合ってくれ。」「井尾君、蘇生学会をうちでやる事になった、手伝ってやってくれ」万事この調子だった。手術場で小児麻酔の最中に点滴が取れず困っていた時教授が現れ、針を大腿部内側にサッと刺すと「昔はこれでやっていた」と出て行った。これが最初の皮下点滴だった。もう少し大きな寺で教室のメンバーが集まれたらと思った。お産は10カ月前から準備できるが、葬式は突然で自分は関われない。家族が決めたら仕方ない、やはり、ＡＣＰが大事だ、ご冥福をお祈りいたします、合掌。

道中グルメ情報

東大和食堂　東大和市向原3-2-9
自分の好きなおかずを選べることが出来るお店です。
急ぎの時は麺類が多くなってしまいますが、このスタイルだと栄養のバランスを考え、魚や野菜を中心に取るように心がけて選ぶようにしています。井尾先生のお気に入りは焼きたてで作ってくれる「卵焼き」です。

今、ここに至るまで。（前号から）

全寮制の生活は意外に楽しかった。自分が取り組む課題については皆真剣に取り組んでいた。夜と土日は20歳を過ぎた寮生は外に出た。久留米はブリヂストン、久留米大学医学部もある、美味しい物がある大きな街だった。豚骨ラーメン発祥の店、キャベツがボールー杯に出てきて、なぜか豚足（わらじ）が有名な焼鳥屋、駅前には居酒屋、焼肉屋、街中華も沢山あった。寮の門限は午後9時だったと思う、うるさい寮監が二人いた。高校卒業したばかりの寮生には厳しくしていたが、自分達に年齢の近い3浪以上の寮生には少し甘かった。その上の年齢の寮生には

もっと甘く、門限はないも同然だった。飲みに出かけるとお土産、実家に帰る土日にもお土産を忘れないからだったかな。先輩、同級生の世渡りの社会経験は伊達じゃなかった。兄弟で来ていた二人がもう一組、姉妹で来ていた一組もいた。熊本出身者で仲良くなった5人がいた。熊本市内が3人、阿蘇、天草が一人だった。天草の出身が同じ年で、改造した車を隠していた。熊本に帰る時には一緒に帰った。そのスピードは半端じゃなく、熊本市内まで1時間と少しで走った。この車を夜間に空き地で練習に使っていた、砂利道を通っていた時、すれ違う時に擦った、この時私は無免許（更新を忘れていた）だった、隣にいた同級生の友人はすぐさま降り、相手に駆け寄りポケットから札を出して渡していた。「片付いた、行こう」と戻ってきた。親分肌のそういう奴だった。５人の中で一番年下が阿蘇出身、熊本市内の有名私立出身で弟と馬が合った。弟は高校に１年長く通ったので年上だった。３人兄弟のように私とも相性がよく「あにきさん」と呼ばれていた。もう一組の兄弟は長崎出身だった。後のことになるが、弟二人と弟分は歯学部で同級生となる。二人の兄（一人は私）ともう一人の熊本人も同じ医学部となる。私は熊大を諦められず挑戦するも残念が続いた。先に歯学部へ入った弟達は学生時代も仲良くやっていたようだ。少し遅れて、3年後に結局私立医学部へ進んだ、その時の父の言葉が忘れられない、「グズグズするより、早く医者になれ、金は後で返せばいい」やっぱり、辰年、親分肌だった。先に入った兄弟の兄の方が車の踏切事故で死んだ。もう一人の熊本人から連絡が来た。二人で葬儀に長崎まで行った。有明海の見える墓地に埋葬された。２年目と３年目の話は次回にします。

当院での看取り患者数

4,379名　～2022年12月18日（累計）
（がん3,332名・非がん947名）

看取り報告（12/12～12/18）		在宅療養期間
66歳	男性・突発性間質性肺炎	186日
71歳	男性・膵頭部癌	81日
71歳	男性・胃癌	217日
71歳	女性・S状結腸癌	4日
76歳	女性・大腸癌	17日

先週の動向

井尾 理事長

水：地域ACP研修会講演
木：面談担当

荘司 院長

火：立川市医師会折衝委員会
　　小・学・公対策委員会
水：面談担当
金：面談担当

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付

- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXし てお申込みください。「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定

- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談

- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。
- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療

- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年12月11日 Vol.38

今週のトピックス

「人生会議解体新書」「おまかせうんチッチ・POOマスター養成研修」が最高！

11月23日（祝）東京ビッグサイトで開催された第18回在宅医療推進フォーラムに参加した。晴れていたら、大事なゴルフに行く予定だったが、この日は雨の予報で急遽参加することにした。参加して正解だった。私が参加するように雨になったと思われた。久しぶりの対面での講演で会いたかった方達にも挨拶できた。講演もよい企画で満載だった。中でもインパクトのある発表が二つあった。一つ目は大友宣先生（医療法人財団老蘇会清明館診療所）の「人生会議解体新書」である。

- 思えば、ここ数年いろいろあった。
- 思えば、エーシーピーがいつの間にか人生会議になっていた。
- 思えば、人生会議のポスターが突然炎上した。
- 思えば、そうかというと人生会議勝手にポスターで盛り上げた人たちがいた。
- 思えば、突如コロナ禍になり、エーシーピーとか言っている雰囲気ではなくなった。
- 思えば、施設にいる高齢者を搬送するときディエヌエーアールがないと入院できませんと言われて、そのことをエーシーピーと呼ぶ輩がいた。
- 思えば、尊厳死・安楽死することだけがエーシーピーの目標で虚弱な老人を排除する輩がいた。
- 思えば、エーシーピーを目的にしてしまい、医療の一手段であること忘れてしまっている輩がいる。
- 思えば、自分らしさ・私らしさにがんじがらめになりながら、窮屈さを感じて人生の最終段階を過ごしている人がいる。

思わず吹き出してしまった。「ACP」「人生会議」が的を射ていないと思う人が多いということだろう。二つ目は榊原千秋先生（訪問看護ステーションややのいえ統括所長）の「おまかせうんチッチ・POOマスター養成研修」である。次回を楽しみにして下さい。

市民啓発シンポジウム

映画「いのちの停車場」上映及び在宅医療談話会

日程：2023年2月4日（土）
時間：13時30分～16時30分　　定員：180名（お申込順）
会場：女性総合センター1階アイムホール
内容：① 在宅医療の現場を通じ、老々介護や終末期医療、積極的安楽死といった現在日本の医療制度の問題点やタブーに向き合う問題提示作、東映映画「いのちの停車場」の上映会
② 映画医療指導つるかめ診療所・鶴岡優子さん、在宅介護支援事業所万年青・上村久美子さん、立川市在宅医療・介護連携推進協議会会長・荘司輝昭さんによる3者対談会

申込方法：現在立川市保健福祉部高齢福祉課の方で調整中となっており、詳しい詳細は来年1月中旬頃に立川市より広報のご案内がある予定となっております。

主催：立川市福祉保健部 高齢福祉課

今、ここに至るまで。（前号から）

熊本に帰って、まず医師免許を取るため作戦を考えた。写真家を断念し、一生役に立つ技術、免許を取ることに決めた時、二つの選択肢を考えた。自分で勉強して司法試験を受け弁護士を目指す、時間はかかるが6年間の医学部に挑戦し医師を目指す、の選択だった。子供の頃いつも散髪に行く近所の床屋があった。店主は30代半ば、高校を卒業し海上保安庁に勤務していたが、家業の理髪店を継いだ。弁護士に憧れ10年程挑戦していたが苦労は報われなかった。司法試験合格は狭き門、時間はかかるが医学部を卒業すると医師国家試験は広き門と決断した。父にも恩を返せる、医師になれば世界中で仕事もできる、と考えて決断した。そうは言っても高校時代は私立文系コース、日大時代は校外学習ばかりで、受験勉強に自分を追い込むと、腹を括った。自分の位置を知るために、父の母校である熊本大学医学部を目指すことにした。受験まで数カ月あったので、過去の試験問題をすべて分析し、自分の弱点科目を勉強してみた。文系科目は何とかなるが、生物以外の理系科目は手に負えなかった。翌春の試験はまったく歯が立たなかった。やはり、一人で勉強するのは無理だと翌年は久留米にある医学部専門予備校に入った。全寮制、100人程の共同生活、教室は寮内、食事は3食付き、部屋は4畳半程、ベッド、机、洋服ダンス、洗面台、冷暖房は付いていた。トイレは共同、風呂は大浴場、広い食堂があった。ビルの1階には玄関、事務所、食堂、洗濯室などがあり、2階から上が寮になっていた。中央に50人程が授業を受ける教室があり、左右に寮生の部屋が並んでいた。2階の半分は女子の部屋だったと思う。久留米駅から筑後川方面に向かい、川の手前のグランドに面する場所にあった、高速道路の久留米インターも近かった。私が最年長だと思っていたが、年上が数人、同級生も数人いた。弟は高校を出たばかりだった、医学部受験に　失敗、同じ寮で生活することになった。寮生の90％は親が医師の子弟だった。九州各地、西日本から集まっていた。小さいときから裕福に育ち、高校はそれなり、恐れを知らない、個性的な人間が多かった。しかし、皆、目的は同じで、真剣に勉強に取り組む日々が始まった。朝は6時半に体操から始まり、朝食の後から授業が午前中2時限、午後3時限と続き、夕食、入浴と続いた。夜は自由時間、消灯は一応あった。夜のオプション講義もあった。

当院での看取り患者数

4,374名　～2022年12月11日（累計）

（がん3,328名・非がん946名）

看取り報告（12/5～12/11）		在宅療養期間
80歳	男性・肺癌	23日
68歳	女性・左肺癌	19日
85歳	男性・胆のう癌	270日
73歳	女性・膵頭部癌	8日
85歳	女性・肺癌	8日
92歳	男性・大動脈弁狭窄症	1047日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医面談（多摩信用金庫）
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市酸素ステーション打合せ
　　ワクチン集団接種執務
火：新型コロナウイルスワクチン接種委員会
　　介護認定審査会
水：面談担当
　　東京都医師会TMA会議
木：産業医
金：面談担当
土：日本在宅医療連合学会大会運営委員会
日：日本在宅医療連合学会コロナワーキンググループ

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
12月5日
Vol. 37

今週のトピックス

秋の散歩

最近、時間があれば歩くことにしている。3年前の正月にゴルフ場で膝を痛めた。寒い朝でティーグランドは凍り、ティーが地面に刺さらず、穴を開ける鉄の道具が必要だった。ティーショットが右に飛びバンカーの縁に止まった。幸い入らなかったが傾斜のラフに残った。グリーンを狙えそうだったので8番アイアンで打った。打ち終わった時、右足が滑った、地面が凍っていたようだ。その時には痛みはあまり感じなかったが、歩きだすと痛みがあり、次第に足を引きずるようにしか歩けなかった。キャディーバッグには鎮痛剤、芍薬甘草湯などが常備されているので、途中で内服して何とか1ラウンド終わった。その後、右膝内側の靱帯を痛めていることが分った。切れているわけでもないので対症療法しかない、整形外科では治らず、ある鍼灸整体院を訪ねた、そこに通い、痛みは軽減、普通に歩けるようになった。ゴルフの回数は極端に減った、そのため足の筋力は落ちていった。国立周辺、立川周辺、電車で都内まで出かけ有名な庭園、美術館、博物館などを歩くようにした。最近は少しずつゴルフの回数も増やしている。先月、ゴルフ場で左足がラフの雑草に隠れた溝に落ちた、家に帰るまで平気だったが右膝を庇ったためか、痛みが出現した。鍼灸整体院に電話して受診し、帰る時には楽になっていた。兎に角、筋力UPが必要と歩くことにしている。

11月初旬には昭和記念公園に出かけた。西立川駅まで電車で出かけ公園に入った。入場券が半額の年齢になって少し寂しい？子供連れ、ペット連れ、中国人以外のアジア人、結婚式の写真を撮るカップル、大勢の人とすれ違った。混み合う黄色に色づいた銀杏並木を抜け、紅葉が盛りの日本庭園まで歩き、大きな皆の原っぱを横切り、立川北口方面の出口を目指した。噴水と左右の銀杏並木の通りでは大勢の人が写真を撮っていた。銀杏の木の高さが切り揃えてある光景には少し違和感を覚えた。そこを通りすぎ、駐車場の横から橋を渡り、昭和天皇広場を抜け、グリーンスプリングスに建つ、ソラノホテルと新多摩信本店を正面に見ながら立川の景色も随分変わったことを感じた。この日は一万歩を超えていた。よく歩くコースは、国立駅南口から谷保駅までの往復が一番多い、左右の歩道が広く歩きやすい。春は桜が綺麗、この季節は銀杏の葉と紅葉のコントラストが素晴らしい。ただ歩くだけより景色を見ながらだと、あっと言う間に時間が流れる。余裕があれば谷保天満宮まで歩くこともある。休憩したい時には、桜通りの百恵ちゃん宅の少し先の喫茶店で休む、様々な人たちが通う知る人ぞ知る店である。居心地も良いし、様々な話が耳に入る。今日はこれから松本まで電車で向かい、散策、温泉、蕎麦屋の予定である。

昭和記念公園

昭和記念公園日本庭園

国立駅南口大学通り

今、ここに至るまで。（前号から）

日大時代はあっと言う間に過ぎ去った。麻雀、パチンコ、競馬、合コン、仲間との呑み会、たまに撮影（４年生の一年間を撮り続ける卒業制作のテーマは「石」だった。）に出かけた。麻雀は江古田駅を降りて大学まで歩く左右に雀荘が沢山あった。覗くと誰かがいた、店の小母ちゃんとも仲良くなり、徹夜明けには牌積み、サイコロの練習をして、全ての牌を磨いて帰った。パチンコも覚えた、小さい頃、母の従弟の大学生は私を背負ってパチンコをしていたと聞いた、その頃は立って打ち、自分で球を入れ、自分で弾いていた。台の裏は通路になっていて裏玉が無くなると裏で働く小母ちゃんに伝える、すると球を補充してくれた。その記憶が残っているのが不思議？大学時代は座って手動で打っていた、自動玉補充はまだ無く、店員が台を開けて補充していた。出玉が決まっており「打ち止め」の札が張られた。競馬は喫茶店のマスターが大好きだった、常連が集まり予想し、誰かが後楽園の場外馬券場まで買いに行った。時々、ジャンケンに負けて買いに行った。あの頃の後楽園には競輪場もあった。年上同級生がイベントを企画していた。近くに武蔵野音大もあり喫茶店にも女学生が出入りしていたので合コンも頻回に開催した。大学キャンパスでのフォークライブも多かった。「さなえちゃん」を歌っていた忌野清志郎のグループも呼んだ。その打ち上げ会が大変だった、順番で丼での一気飲みが流行っていた、酒は強かったがこれには参った、呑み切った後は何も覚えていなかった。石の撮影にはほとんど出かけなかった、いや行けなかった。3年の頃、ある事業を起こした、不思議なことに大成功した。それも長くは続かず、石油ショックで傾いた、調子の良い時にはいい顔していた銀行は助けてくれなかった。その時の「お父さんはお医者さんですよね、お父さんの保証があれば…」今でも腹が立つが、それが道を変える切っ掛けになった。私に与えられたテーマは「石」ではなく「医師」だったのかと気が付いた。熊本に戻り、両親に仔細を話し、事業の清算をして、写真家をあきらめ、医師を目指すことにした。沢山お世話になった人達と別れ一人で熊本に戻った。そして、3年間の浪人時代が始まった。遊びはほどほどにして勉強中心のはずだった・・・。

当院での看取り患者数

4,368名　～2022年12月4日（累計）
（がん3,323名・非がん945名）

看取り報告（11/28～12/4）		在宅療養期間
60歳	女性・平滑筋肉腫	83日
74歳	男性・肝細胞癌	88日
79歳	女性・直腸癌	13日
57歳	男性・右上葉肺腺癌	21日
43歳	女性・子宮頸癌	8日
100歳	男性・老衰	130日
58歳	男性・上行結腸癌	94日
55歳	女性・右乳癌	33日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
火：岡田和夫先生のお通夜に参列
水：産業医活動（多摩信用金庫・ｱｻﾋｹｰﾃｨｰ）
木：面談担当

荘司 院長

月：東京都福祉保健局Web会議
　　立川市医師会100周年記念準備委員会
水：面談担当
　　東京都地域医療調整会議
木：東京都地域医療構想調整会議分科会
金：面談担当
　　立川市医師会五役会
土：立川市ワクチン集団接種

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付
- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXし てお申込みください。「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定
- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談
- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。
- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療
- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
11月28日
Vol.36

今週のトピックス

「老衰」がダントツ第1位？

2020年の総死亡数は137万2755人であった。その90％以上は65歳以上、その内75歳以上が76.5％を占めている。死因ベスト10の第3位に「老衰」が入っている。脳血管疾患が第4位である。「老衰」は病名ではない、ベスト10の残り９個はすべて病名である。「老衰」とは加齢による老化に伴って個体を形成する細胞や組織の能力が低下し、多臓器不全により恒常性の維持・生命活動の維持ができなくなることが原因である。私は加齢による「慢性多臓器不全」だと解釈している。高齢者の慢性心不全、慢性呼吸不全、慢性腎不全、認知症…最期の段階に入ると経口摂取不良、倦怠感、動作時呼吸苦、傾眠、昏睡となり旅立っていく。老衰という死亡診断書は余計な医療をせず、自然に見守る在宅か施設で診ている医師の判断で出すことがほとんどである。老衰の状態で病院に入院すると、検査、加療が行われる。風邪等が増悪した第5位「肺炎」、嚥下機能低下による第6位「誤嚥性肺炎」、歩行機能が低下して起こる第７位「不慮の事故」、認知機能が低下した第９位「アルツハイマー病」第10位「血管性等の認知症」と病名が付くことになり、その病名での死亡診断書となる。「不慮の事故」は自宅での検視or病院での検案事例になる。「老衰」13万2440人、「肺炎」7万8450人「誤嚥性肺炎」4万2746人、「不慮の事故」3万8133人、「アルツハイマー病」2万852人、「血管性等の認知症」2万815人を合わせると33万3436人となる。第2位「心疾患」、第4位「脳血管疾患」第8位「腎不全」も最期の段階での搬送入院、介護困難で長期入院、施設入所している高齢者の「慢性多臓器不全」が多数を占め、その合計は「悪性新生物」をはるかに上回り「老衰」がダントツ第1位ということになる。2021年の総死亡数が最近発表された。総死亡数は143万9856人で前年より6万7101人増加している。第1位「悪性新生物」38万1505人、第２位「心疾患」21万4710人、第３位「老衰」15万2027人となっている。「老衰」だけでも10年もすれば第1位に躍り出る勢いである。

TZC-Clinic

2020年全国死因のトップ10

順　位	死　因	死亡数
1位	悪性新生物	378. 385
2位	心疾患	205. 596
3位	老　衰	132. 440
4位	脳血管疾患	102. 978
5位	肺　炎	78. 450
6位	誤嚥性肺炎	42. 746
7位	不慮の事故	38. 133
8位	腎不全	26. 948
9位	アルツハイマー病	20. 852
10位	血管性等の認知症	20. 815
	総　数	1. 372. 755

９０％は65歳以上！

Tachikawa

資料：厚生労働省「2020年人口動態統計」

TZC-Clinic

2021年全国死因のトップ10

順　位	死　因	死亡数
1位	悪性新生物	381. 505
2位	心疾患	214. 710
3位	老　衰	152. 027
4位	脳血管疾患	104. 595
5位	肺　炎	73. 194
6位	誤嚥性肺炎	49. 488
7位	不慮の事故	38. 355
8位	腎不全	28. 688
9位	アルツハイマー病	22. 960
10位	血管性等の認知症	22. 343
	総　数	1. 439. 856

９０％は65歳以上！

Tachikawa

資料：厚生労働省「2021年人口動態統計」

今、ここに至るまで。（前号から）

もう一人は先にも書いたが江古田の喫茶店で知り合った年下の男である。映画好き、ジャズ好きの男だった。能登の出身、それも島の出身だと聞いていた。最初から妙に気が合った。映画の話、田舎の話でいつも盛上った。江古田の端にある木造2階建ての古いアパートに住んでいた。あの頃のアパートは〇〇荘という名称が多かった、そこも荘が付いていた。４畳半、風呂無し、玄関、トイレは共同、流しとガスコンロが付いた小さな炊事スペースがあった。勿論、電気は裸電球、冷暖房は無し、夏は扇風機、冬は炬燵の生活だった。壁は薄いので隣の音は丸聞こえだった。同じ店で知り合った先輩の部屋は3畳、壁はベニア板、水道無し、台所無し、共同トイレ、洗面場と調理場が廊下にあった。ここで麻雀していた、隣は堪ったものではなかったと思う。池袋下宿時代、皆で文芸座にオールナイトを観に行った。なぜかゴザと一升瓶持参だった。一番前のスペースに座り、呑みながら「高倉健の唐獅子牡丹」シリーズを朝まで観た、寝てた？文芸座は名作をいつも上映していた、一人でも観に行った、この後輩とも何度か行った。映画はほとんど一人だった、2本立てが主流で時間を潰せた。入れ替えも無かった。映画館に朝から最終迄いたこともある、ブルースリーの「燃えよドラゴン」である、今も時々観る。映画には祖母の影響で子供の頃から親しんでいた、東映の時代劇、東宝の若大将、クレージーキャッツ、大映の男はつらいよ、座頭市…今も気になる映画は劇場に観に行く。この彼は映画関係の仕事をすることが夢だった。ある年の年末、帰りの旅費を使ってしまい、帰熊せず東京にいることにした。何とか正月明けまで過ごせる金は残っていた。正月の数日前、彼が珍しく訪ねてきた、「いおさん、お金ある」と聞いてきた、「どうした」と聞くとモジモジと答えなかった「田舎、帰らないのか？」と聞くと、「はい」と返事があった「俺も今年は帰らないから一緒に過ごすか？」と聞くと「いいんですか」と返事があり、正月を過ごすことになった。でも、二人分の資金はない、カメラを持って質屋に走った、2万円借りることは出来たが1万円にしておいた。あの頃は1万円あれば二人で楽に1週間は過ごせた。この出来事があり弟のように思えていた。先にも書いたがその後、映画関係裏方の仕事に就いた、石原裕次郎の「太陽に吠えろ」の舞台美術、鈴木清純監督の映画「ツィゴイネルワイゼン」の助監督、その後フジテレビ系列の舞台美術会社で活躍、唐沢寿明の「白い巨塔」では美術監督を務めていた。ある日、上司のプロデューサーから「食道癌で入院している、会いたがっている」と電話があった。首都高が窓の外に見える、大学病院の東京分院に入院していた。

【文芸座】

痛みがあった、食事も難しいようだった、痛みのコントロールするから家に帰れと伝えたが、家族にはその気がなかった。暫くして上司から「奴が死んだ」と電話があった。翌日、二人で通夜に参列した。いい奴はホントに先に逝く。

当院での看取り患者数

4,360名　～2022年11月27日（累計）
（がん3,316名・非がん944名）

看取り報告（11/21～11/27）	在宅療養期間
75歳　男性・膵癌	214日
88歳　男性・肺癌	79日
88歳　男性・肺腺癌	59日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
木：面談担当
金：産業医（ストレス面談）

荘司 院長

月：立川市ワクチン会議
火：地域包括支援センター運営協議会
　　東京都コロナオンライン診療出務
　　東京都医師会感染症担当理事会議
木：東京都医師会医療情報委員会
金：面談担当／立川市医師会理事会
　　在宅医療介護連携推進協議会
土：立川市医師会産業医研修会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
11月21日
Vol.35

今週のトピックス

死因順位第7位「不慮の事故」～「ころぶ」「つまる」「おぼれる」～

毎日の訪問診療の度に繰り返し伝えるのは「転ばないでね」、「飲み込みはゆっくりね」、「お風呂にも気を付けてね」である。この23年間で転んで大怪我、骨折、トイレで死亡も経験してきた。嚥下機能の低下、咽頭・喉頭・頭頸部の癌で誤嚥性肺炎、窒息なども経験した。お風呂で溺れて亡くなった方もいた。癌、COPD、認知症…様々な病をお持ちだったが、症状は緩和され穏やかな日常を過ごされていたので残念でならない。2020年の総死亡数は137万2648人、死因の第1位は「悪性新生物（癌）37万8358人」、第7位に「不慮の事故3万8069人」が入っている。総死亡数の約90%は65歳以上、75歳以上は76.5%を占める。「身体機能低下」の年齢、そこに癌・心臓・脳の疾患、認知症などに罹患してる。その方々のほとんどは家で暮らしている。家で不慮の事故が起きるのは当然の結果であると考える。損害保険料率算出機構の調査では2020年「不慮の事故」による死因別割合は「ころぶ」29.0%、「つまる」23.1%、「おぼれる」21.3%である。事故発生場所割合では家庭内が多く、「ころぶ」59.4%、「つまる」93.9%「おぼれる」88.1%である。この状況を打開する手立てはないが、益々増える後期高齢者・老老世帯・独居世帯、せめて地域の見守り体制、検視にならない体制が作れればと考える。

TZC-Clinic

2020年全国死因のトップ10

順　位	死　因	死亡数
1位	悪性新生物	378, 385
2位	心疾患	205, 596
3位	老　衰	132, 440
4位	脳血管疾患	102, 978
5位	肺　炎	78, 450
6位	誤嚥性肺炎	42, 746
7位	不慮の事故	38, 133
8位	腎不全	26, 948
9位	アルツハイマー病	20, 852
10位	血管性等の認知症	20, 815
	総　数	1, 372, 755

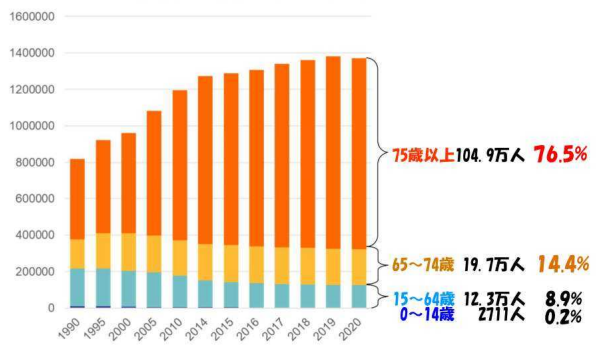
９０％は65歳以上！

Tachikawa 立川在宅ケアクリニック Home Care Clinic

資料　厚生労働省「2020年人口動態統計」

TZC-Clinic

死亡数の年次推移



資料　厚生労働省「人口動態統計2020年確定数」

Tachikawa 立川在宅ケアクリニック Home Care Clinic

道中グルメ情報

国分寺市富士本　「らぁ麺はやし田国立店」
鴨と鳥のとても上品なスープに、麺のコシとのど越しのハーモニーが魅力のらぁ麺です。さっぱりとした味わいでランチ後に胃もたれがしません。また、訪問中なので駐車場があるのも嬉しいです。
〒185-0031 東京都国分寺市富士本１丁目１-１

今、ここに至るまで。（前号から）

日大時代の出来事で今でも鮮明に覚えていることが二つある。一つはカメラを持っていない、写真をほとんど撮ったことのない同級生のことである。最初の出会いは登校初日だった。教室に集まった新入生に教官から質問があった「カメラを持っていない人、手を挙げて？」、二人が手を挙げた、ドヨメキが起こった、その一人は私の横に座っていた。休み時間に話をした。東北の人だった。写真で身を立てたいと思ってこの大学を選んだらしい。考えてみれば、医学部、法学部、経済学部…そこで学んで職業を選択するわけで、最初から医師でも弁護士でもない。この当時の芸術学部の入試は英語と現代国語だけだったと思う。私も受験勉強が嫌、写真が好き、この2科目なら楽勝と受けた一人だった。この彼は苦学生だった、バイト、バイトに日夜励んでいた。たまに大学で会うと、よく話した。時々、昼飯を奢ったり、飲みにも誘った。夏休みが終わって大学で会った時、「いおくん、部屋を追い出されたしばらく泊めてくれ」と頼まれた。その時、私も池袋の下宿を出て、板橋の地下鉄駅近くに部屋を借りたところだった。連夜の麻雀に疲れた、大家からクレーム、一人になれない、付き合いが面倒だった。「いいよ」と返事をした。翌日から転がり込んできた。バイトして中古のカメラを買い、懸命に撮り歩いていた。あの頃は直径10㎝程の缶に入ったコダックの長～いフイルムを、使い終わった36枚撮りのケースに暗い部屋で巻けるだけ巻いて使っていた。勿論、現像や焼き付け等も自分で行っていた。カメラはニコン、キャノン、ペンタックの一眼レフが三台、中古の大型のゼンザブロニカも一台持っていた。彼が転がり込んでから1ヶ月ほどして「いおくん、カメラを一台貸してくれ」と頼んできた、「何に使うの？」と聞くと、真剣な顔で「戦争を撮りに行く」と答えた。その眼差しに、「いいよ、使って、いい写真を撮れよ」と貸してあげた。その翌日、大学から帰ると彼は姿を消していた。それっきり、大学からもいなくなり、消息不明、風の便りに戦地で死んだらしい…と噂を聞いた。この回想を書いていて最も会いたい一人である。戦争カメラマンで有名な「ロバート・キャパ」の「崩れ落ちる兵士」を見た「沢田教一」はベトナムに渡り「安全への逃避」を撮った。ピューリッツアー賞を受賞し有名になるが、カンボジの取材中に何者かに撃たれて亡くなっている。この話が彼とダブって思えた。

「崩れ落ちる兵士」

「安全への逃避」

当院での看取り患者数

4,357名　～2022年11月20日（累計）
（がん3,313名・非がん944名）

看取り報告（11/14～11/20）	在宅療養期間
93歳　男性・老衰	30日
73歳　男性・尿管癌	534日
43歳　男性・悪性膵内分泌腫瘍	25日
68歳　女性・乳癌	29日
66歳　女性・食道癌	24日
77歳　女性・結腸癌	3日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：三水定期講演会（多摩信用金庫本店）
　　産業医活動（たましんビジネス）
木：面談担当／多摩在宅ケアネットワーク

荘司 院長

火：立川医師会（折衝委員会）／三師会役員会
水：岩倉高校　インフルエンザ予防接種
　　小・学・公対策委員会
木：産業医活動
金：面談担当／東京都医師会オンライン診察
　　酸素ステーション出務
　　日本在宅医療連合学会地域委員会
土：たましんワクチン接種
　　日本在宅医療連合学会理事会

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付
- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXしてお申込みください。
  「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。
  面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定
- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談
- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。
- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療
- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
11月14日
Vol.34

今週のトピックス

帰らんちゃよか

数年前、高校の同級生と立川で飲んだことがある。2次会に流れカラオケになった。その時友人の一人がこの歌「帰らんちゃよか」を歌った。どこか聞き覚えのある、熊本弁の歌だった。その時は「島津亜矢」バージョンだった？気がする。「吾亦紅」と同じく、聴いていても、歌ってみても、しんみりしてしまう歌である。その後、最初に歌ったのは「肥後にわか」の「お米ばあさん」で有名な「ばってん荒川」であることを知った。熊本出身の「島津亜矢」が歌わせて欲しいと頼み込んで「お前ならよかたい！大切に歌わなんぞ！」と許したらしい。「ばってんさん」には数回会ったことがある。父の診療所に通院していた時、父の弟と共同経営していた演芸酒場「お米」でも会ったと思う。普通の刈り上げのおじさんだった。演歌歌手としても有名で、後に刈り上げ着流しで「火の国一代」歌っているのを見たことがある。「お米ばあさん」の時は女装、演歌歌手の時は男装で活躍されていた。お婆さんの女装は「志村けん」の婆さんにそっくりである。「博多華丸」もモノマネ芸のレパートリーにしているらしい、「江頭2：50」もデビュー当時の芸名は「バッテン江頭」を名乗っていた。俳優としても映画に出ていた、一番びっくりしたのは「静かなるドン」のコミカルな親分役だった。「トラック野郎」にも出ていたらしい。「ビートたけし」などの大物芸人から東京を拠点とした活動を勧められたが「余計な仕事はしたくない」と断り、あくまでも自身の原点である九州の舞台と、福岡・熊本でのテレビやラジオにこだわり続けた。2006年10月69歳で膀胱癌により他界されている。葬儀には全国からは「ビートたけし」「たけし軍団」「北島三郎」「西川きよし」「市原悦子」「天童よしみ」…熊本出身の「水前寺清子」「八代亜紀」「石川さゆり」「原田悠里」「コロッケ」「井出らっきょ」…からお悔やみが寄せられている。「島津亜矢」が遺影の前でこの曲を熱唱している。この曲は熊本出身のシンガーソングライターの「関島秀樹」が「生きたらよか」のタイトルで1995年に作詞・作曲した。その曲を「帰らんちゃよか」にタイトルを変え1996年に自身の40周年記念ベストアルバム「生きたらよか」に収録している。熊本出身のスターは多いが、今年の新星はヤクルトの「村上宗隆」選手である。

歌詞「帰らんちゃよか」作詞・作曲　関島秀樹

そらぁときどきゃ　俺たちも
淋しか夜ば過ごすこつも　あるばってん
二人きりの　暮らしも長うなって
これがあたりまえのごつ　思うよ
どこかの誰かれが　結婚したとか
かわいか孫のできたて聞くとも、もう慣れた
ぜいたくば言うたら　きりんなか
元気でおるだけで　幸せと思わんなら
それでどうかい　うまくいきよっとかい
自分のやりたかこつば
少しはしよっとかい
心配せんでよか　心配せんでよか
けっこう二人で
けんかばしながら暮らしとる
帰らんちゃよか　帰らんちゃよか
母ちゃんもお前のこつは　わかっとるけん

そらぁときどきゃ　帰ってきたり
ちょこちょこ電話ばかけてくるとは　うれしかよ
それにしたって　近頃やさしゅなったね
なんか弱気になっとっとじゃ　なかつかい
田舎があるけん　だめなら戻るけん
逃げ道にしとるだけなら　悲しかよ
親のためとか　年のせいとか
そぎゃんこつば　言訳にすんなよ
それでどうかい　都会は楽しかかい
今頃後悔しとっとじゃ　なかっかい
心配せんでよか　心配せんでよか
父ちゃんたちゃ
二人でなんとか暮らしてゆけるけん
帰らんちゃよか　帰らんちゃよか
今度みかんばいっぱい　送るけん

心配せんでよか　心配せんでよか
親のために　おまえの生き方かえんでよか
どうせおれたちゃ　先に逝くとやけん
おまえの思うたとおりに　生きたらよか

今、ここに至るまで。（前号から）

もう一つの夏の帰熊の思い出では、父のツケで友人を連れ飲み歩いていたことである。一番か通ったのは同級生の店だった。小中高は違ったが最初の夏に知りあった。熊本女子大前に喫茶店があった。熊本に帰るとここが連絡先だった。マスターとママの人柄が良く、近くに熊本商科大学もあり学生が多く出入りしていた。行く度に会うのがこの友人だった、浪人していた、話を聞くと同じ年、共通の友人も多くいた。翌春に帰った時、「いお、頼みがあっとたい」「なんね」「商大の合格発表ば見てきてほしかったい」と店に入ると頼んできた。
自分で行くのが怖かったらしい。見に行った、合格していた、大喜びで走って行った。その後、数回帰る度に会ったが、数年熊本に帰らない時期があり、ご無沙汰していた。卒業したらしいと風の便りに聞いていた。ある時マジックが有名なカウンターバーに寄った時、そこに彼がいた。その店の本店もマジックで有名、両親も常連だった、彼のことも知っていた。その後、自分の店を繁華街の古いビルの奥に出した。一人で切り盛り、ボトルのキープは置かず、1杯売り、つまみは乾き物だけ、人気の店になっていた。ここは現金で皆割り勘で払った。父には弟が3人いた。次男は蒲鉾屋を継がず,「肥後にわか」のスターお米婆さんこと「ばってん荒川」と演芸酒場やスナックを数件経営していた。この弟の店ではツケで飲みまわった、父のいきつけの店、「すばる」の息子の経営する店でもツケで飲んで歩いた。あの頃の熊本の夜の繁華街は平日でも歩くと肩が触れるほどの賑わいがあった。〆は必ずタクシー乗り場前の熊本ラーメン屋、夜中まで繁盛していた。夜も終わり東京に戻っていると、溜まり場の喫茶店に電話で伝言があり、折り返し電話すると母が「なんね！この請求書は！こぎゃん、飲んだっね！」と怒りの声が返ってきた。電話口で平謝りに謝り、「しょん、なかたい、今度だけばい、次は知らんけんね！」と許してくれた。少々？かなり？羽目を外したかな…。

当院での看取り患者数

4,351名　～2022年11月13日（累計）
（がん3,408名・非がん943名）

看取り報告（11/7～11/13）		在宅療養期間
90歳	女性・盲腸癌	62日
82歳	女性・特発性間質性肺炎	26日
76歳	男性・寝老	126日
55歳	女性・左乳癌	6日
86歳	男性・膵頭部癌	14日
98歳	女性・寝老	25日
75歳	男性・直腸癌	60日
54歳	男性・胃癌	6日

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
水：産業医活動　幹福祉会
木：面談担当

荘司 院長
火：介護認定審査会
　　新型コロナウイルスワクチン接種委員会
水：面談担当
　　東京都TMA会議
金：面談担当
　　東京都医師会
土：多摩信用金庫コロナワクチン職域接種

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年
11月7日
Vol.33

今週のトピックス

日本在宅ホスピス協会ニュースレターに荘司輝昭院長の寄稿が掲載されました。院長の心からの想いが伝わる文章です。長文ですがそのまま掲載します。来年、当院は生まれ変わります、真の在宅緩和ケアの普及に精進致します。お読みいただければ幸いです。 井尾和雄

私の在宅医療への想い
～コロナ禍は地域包括ケアシステムの究極の実験場～

今回HHA事務局よりご依頼を受け寄稿させていただきます、立川在宅ケアクリニック院長の荘司輝昭と申します。おそらく在宅医療界の随一の強面かと自負しております。

当院は東京の多摩地区の立川市にあり24時間365日対応の在宅緩和ケア専門のクリニックです。現在の理事長である井尾和雄先生が、2000年2月22日に立川市に在宅緩和ケア専門のクリニックを開業したのが始まりで、開業当時は「在宅専門？それで食べられるの？」と周囲から言われていたそうですが、22年後の現在、開院当初からの当院の理念でもある「在宅で全ての疾患に緩和ケアを提供し看取る」ことが、まさに国の方針と一致。2000年の開業以来、がん患者、非がん患者を合わせてこれまで4306人を看取ってきました。これだけの数の看取りを行い、24時間365日体制でそれを維持するのは大変なのではとよく聞かれますが、日中の定時訪問診療時に、ご家族に「こういうことが起きたら、この薬を使ってください」という対処方法や、「今後、こういう症状が出る可能性があります」といった今後の見通しをしっかり説明しておけば、夜間に呼び出されることはほとんどなく、呼ばれるのはお看取りの時だけということが多いです。先日ある雑誌の調査で、2020年7月から2021年6月における在宅看取り件数が283件で、都内で1位ということが発表されるました。それまで当クリニックが都内で1位であることは全然知りませんでしたし、気にしたこともなかったのですが年間300件近くの看取りがあるので、だいたい1日1回はお看取りしていることになり多いほうだと言う認識はありました。

時々、「看取りばかりしている」と言われることもありますが、がん終末期の患者さんが多いこともあり、ある意味、そういう面もあるかもしれません。しかし、それ以上に、井尾理事長がここに在宅緩和ケアに特化したクリニックを開業して20年以上経ち、患者さんご家族や地域の医療機関から信頼されていることが大きいのではないかと思います。特に最近、地域の訪問看護師やケアマネジャーから「患者さんをお願いできませんか」と言われることも多く、地域から信頼を得られていることは、私たちとしてもとてもうれしいですし、誇りでもあります。特に広告を出しての宣伝や営業をどんどんかけているわけでもなく、定期的な訪問のほかに、24時間365日対応し、患者さんとご家族を最期まで支援するという、身の丈に合ったことを淡々と行ってきた結果だと思います。経営的なことを考えれば、もっと訪問件数を増やすとか、患者さんの数を増やす方がいいのですが、忙しすぎるとどうしてもスタッフは疲弊してきます。当クリニックの患者さんは現在、平均して150人前後です。これは在宅の患者さんだけで、ここ10年は老人ホームや特別養護老人ホームなどの施設とは契約していません。当スタッフの人数で患者さんの背景まで把握して診るには、このぐらいの人数がちょうどいいと思っています。そのため経営としては、いつもギリギリです。

もう一つの「身の丈」は、できることはやるし、無理なことは無理とお断りをすることです。私たち医療者側が頑張りすぎてしまうと、ご家族が疲れてしまいます。私の考えでは在宅医療というのは、医療・介護者の力は数

パーセントで、ほとんどは家族の力だと思います。いかに家族を疲れさせないか、それが在宅医療を継続できるポイントだと考えています。
例えばがんの終末期であれば、ご家族にはある程度のゴールを示し、「今後、こういうことが起きてきます」と説明し、認識してもらうことで、ご家族もそこまでなら頑張れると思えるのではないでしょうか。認知症や寝たきりの高齢者ですと、在宅での療養期間は長くなりますが、そういう場合はショートステイを利用したり、レスパイト入院を使いながら、ご家族に少し休んでいただきながら、ご家族と一緒に患者さんをケアしています。
当院の診療エリアは立川市を中心に近隣の昭島市、福生市、武蔵村山市、東大和市、小平市、国分寺市、国立市、東村山市、羽村市、あきる野市など、原則として半径16キロメートル、車で片道約30分圏内です。医師は、理事長、院長、副院長を含め常勤が5人、非常勤が3人、訪問診療は医師が一人で行っています。看護師の常勤は4人で看護師はクリニック近隣のガン末期患者の訪問看護とクリニックでの面談を担当、ほかの地域の訪問看護はその地域の訪問看護ステーションと連携していますのでそのジョイント部分も補ってくれています。
診療対象は、がんの終末期の方が多いのですが、がん治療継続中の方でも在宅緩和ケアを希望する方や、ALS、パーキンソンなどの難病の患者さん、脳卒中後遺症などで自宅療養中の患者さん、様々な障害で通院困難な患者さんまで幅広いです。また、医療としては疼痛緩和を含む全ての症状緩和、高カロリー輸液管理、人工呼吸管理、気管チューブ管理、経管栄養・胃ろう管理などを行っています。
私は在宅医療と言っても、手術やMRI、CT等の大きな検査以外、血液・尿検査や超音波検査なども含め、またドレナージ処置など病院のベッドサイドと同じ医療が提供できると思っています。また、看護については訪問看護師が、薬については訪問薬剤師が、リハビリについては訪問理学療法士が行い、入浴は訪問入浴もあり、日常生活の援助はヘルパーが、いろいろな医療機器や福祉用具はレンタルサービス提供会社もあります。そして病院にはいないケアマネージャーというトータルにサポートを支えてくれる方もいて今や在宅医療と言っても、ほとんど病院にいるのと同じいやそれ以上の手厚い医療・介護サービスが受けられています。このように患者さんが住み慣れた自宅（場所）で、最大限何ができるか、何が必要かということに対して、きちんとした医療を提供しているのが、当クリニックの特長であると言えますが、HHA会員の皆様方も同様だと思います。
ここで少し私自身の紹介をさせていただきます。まず在宅医療との出会いは私が研修医の時に、母親を大学病院で看取っています。母親は入院中によく「自宅に帰りたい」と言っていたのですが、父親が産婦人科で開業していて忙しかったこともあり、母親の希望を叶えることができず、その言葉がずっと頭に残っていました。また、父親もその後、独り身となって、孤独死をさせてしまった後悔もあります。　一方、外科医として20年以上働いてきて、その後のキャリアで悩んでいました。私が外科医になった当時は、検査して手術して、抗がん剤治療をして看取りまで行っていましたが、次第に検査は内科が、手術は外科で、抗がん剤は腫瘍内科、看取りは緩和ケアといった感じで、どんどん専門性というか、分業制になってきていました。そうすると一人の患者さんに関わるのは、外科医は手術の時だけで、継続した関わりができません。もっと最初から最期まできちんと関わることができないかと思うようになりました。そんな時、ちょうど多摩地区で緩和ケアについての井尾理事長の講演会がありました。そこで「私は救急搬送時の病院外心肺停止の方の検死を行っていますが、先生のところでは救急の時にどうしているんですか」と質問したところ、井尾先生は「うちは救急車を呼ぶなと言っている」と答えました。そういう在宅医療もあるのだと思い、井尾先生のところで在宅医療を勉強したいと思ったのが、在宅医療と関わるきっかけでした。
当初はここのクリニックで3年間だけ研修をして、自分で開業しようと思っていました。しかし、井尾先生は人たらしなものですから、うまく丸め込まれて、気がついたら院長になっていました。騙されたんですね。開業当時から井尾先生と一緒に働いている副院長も呑むとそういっていますよ（笑）。ただし井尾先生の在宅医療に対する考えや、実践していることがぶれないことで、そして一緒に働くスタッフたちがみんな同じ方向を向いているので、自分のやっていることもぶれずに、ここを継承できたのだと思います。それがなければ開業していたと思います。特に井尾先生がよく言うのは、「救急車を呼ばないこと」、「痛みは我慢しないこと」など、いろいろありますが、その中でも私の心に響いたのが、「在宅看取りには三つの覚悟が必要だ」というものです。

その三つとは、第一は「本人の覚悟」、第二は「家族の覚悟」、第三は「医師の覚悟」で、一番重要なのが第三の「医師の覚悟」だと言うのです。医師が死亡確認をするまで24時間365日体制で見守る体制と覚悟を持つことができなければ、全てが最後に無駄になると言っています。私も、医師にしっかり覚悟ができていないと、この仕事はできないと常々思っていましたので。こうした理事長の考えがぶれないところが、私がここで働き続けている理由でもあります。

これはコロナ禍でも同様でした。第5波の時に発熱外来しか行わず、その後のフォローがない医療機関があったり、PCR検査キットだけ送りつけて、陽性であれば発生届を保健所に提出して、診察もしないところがあったことで、コロナ禍で「医師の覚悟」がないがために患者さんは医療から見放されたようにとても不安になり、保健所に電話して、結局、私たちが往診請け負うことが多かったです。この頃は患者さんも不安で大変だったと思いますが、保健所も対応に追われ崩壊寸前という状態でした。そこで立川市医師会の先生たちと多摩立川保健所、立川市が協力して、コロナ対応における「立川スタイル」という独自の体制をつくり、第6波に備えました。例えば発生届が保健所に出された時点で立川市医師会にもその情報を送り、医師会を通じて立川市にも送ります。そうすると、通常は東京都を通すことで、自治体に情報が届くまでに2日ほどかかっていたのが、その日のうちに情報が届くことによりオンタイムで自宅療養者に食料品・生活物品などを届けられます。

また、この立川スタイルのポイントは、それまで保健所が行っていた健康観察を第5波以降は発生届を提出した医療機関が行うということが基本でしたが、対応件数が増えて行えない場合には、保健所も健康観察ができなくなる状況であったので保健所から立川市医師会に依頼してそれを訪問看護師が代行して行うことでした。元来訪問看護師は電話での聞き取りや情報収集のスキルにたけており、発生届の情報はその日のうちに訪問看護師に提供されるので、健康観察もその日から行えます。そして、訪問看護師から往診の依頼があれば、私たちが往診するという流れが確立され第7波でも当初からうまく機能させることができました。その体制がスムーズにできたのは、普段から、われわれ地域の医師や病院はお互いに顔の見える、腹の探り合える関係性で、地域で入院調整、退院調整フォロー、在宅でのサポート、地域での支え合い、自治体との連携ができていたからこそだと思います。

さらに、今のコロナ禍は、2025年もしくは2040年を見据えた「地域包括ケアシステムの究極の実験場」とも考えられます。我が国は超高齢多死社会に突入して高齢者の絶対数が増え、基礎疾患を持つ高齢者が何らかの引き金で、今回のコロナ感染もそうでしたが状態が悪化するケースが増加してくるでしょう。その時に、どう対応するのかという問題です。すぐに救急搬送するのか、在宅あるいは高齢者施設で診るのか――。地域によって今後の医療ニーズや医療提供体制は異なります。各地域で関係者が話し合うことが必要だということです。一つは行政など対策本部がバイアスのかかった現場の声を吸い上げて対応すると間違った方向に進んでしまうということ。現場でいったい何が不足しているのか、何がボトルネックになっているのか、どう対応すればいいのかを的確に見極めていただきたいと思います。コロナ禍でも自宅療養中の患者に対する往診体制を構築しても、いい加減な対応をされてしまったら、かえって手間が増えるだけなのです。

もう一つは、現場できちんと考えて判断できる人間に、権限と責任を持たせるべきということです。コロナ禍の状況変化は動きが早く、次の週にはフェーズが変わってしまうことも多々あります。現場の判断で新たな対応が必要と判断した場合、対策本部の正式な文書を待っていたら、1、2週間は遅れてしまい、有効な対策を講じることはできません。保健所管区くらいのエリアであれば、誰がキーパーソンか、誰が一番、物が見えているか、どこがどんな医療を提供しているのかなどはお互いに分かります。その関係性の中で、適切な判断をして、医療の在り方を考えていけばいいわけで、その意味でも「地域包括ケアシステムの究極の実験場」と考えるわけです。

今後ますます在宅医療のニーズは高まっていくことは皆さん充分周知されていると思います。ただそれを維持して今後に活用していくためにHHA会員の皆さん自身が中心となり地域を動かしていくことを期待してこの寄稿を終わりたいと思います。

最後にこのような機会を与えていただきました小笠原先生に感謝したいと思います。

今、ここに至るまで。（前号から）

日大時代に帰熊した時、忘れられない思い出が二つある。一つは社交ダンス、父と母の出会いはダンスホールだったらしい、戦後の日本の娯楽だったようだ。出会ったダンスホールがまだ残っていた。その名を「すばる」、父母を知る女性が経営していた。ある日母がボーっと過ごす私を見て「ダンスば、お覚えて、きなっせ、紹介するけん！」と言った。すぐに電話を掛け頼んでいた。「あしたん昼から来いてたい、場所は上通、昼に先生が教えてくれるてたい」とあっさり決まった。翌日昼過ぎにホールに出かけた。上通の本屋の先に路地があり、その前に看板が出ていた。路地を入るとガラス小窓の受付、その上には料金表が張ってあり、入場券を売っていた。

経営者の小母ちゃんに声をかけると、「井尾先生の息子さんね？」と声が返ってきた、頷くと「はいんなっせ」とドアを開けてくれた。中は四方に腰掛けのある30～40畳ほどの板張りのホールになっていた。ホールではワンピースにダンスシューズの小柄な女性がステップを踏んでいた。「こんにちわ、あんたが井尾君ね、お母さんからレッスンば頼まれとるとよ、一日に一つダンスステップ教えるけん、頑張なっせ」と声が掛かった。「よろしくお願いします」と頭を下げて挨拶した。その日からマンボ、ジルバ、ブルース、ワルツ、タンゴ…のステップとの戦いが始まった。昼間はステップを教わり、自己練習を繰り返し、夕方からはお客が入ると控室でダンス音楽を掛けるレコード番をやった。これが教わる代わりのバイトだった？と思う。ダンスの上手な数人の男性が出入りしていた。レコードの順番やダンスを教えてくれた。彼らは一人で踊りに来る女性の相手をして踊るのが仕事のようだった。2週間ほどすると、「井尾君も踊ってみなっせ」とフロアに出してくれた。しかし、なんとか踊れたのはマンボ、ジルバだけだった。ワルツ、タンゴは到底無理だった。後から男性陣は競技ダンスを目指し、ここで先生にレッスンを受け、上手い女性と実践を積んでいたことが分かった。夏のダンス大会が開かれ、見学に行った。女性は華やかなドレス、男性は黒や銀などのタキシード姿、真剣な表情でホールを縦横無尽に踊りまわる。社交ダンスを嘗めていた。先生に欧米では舞踏会が開かれ着飾った男女が普通にワルツ、タンゴなどを踊っている、踊りをマスターすることは社交界の常識と言われた。この1ヶ月で自信を持って踊れるようになったのはジルバとブルースだけ、本格的ダンスは時間もやる気も無く上達していない。今も踊れるのはこの2つだけかな？

当院での看取り患者数

4,343名　～2022年11月6日（累計）
（がん3,403名・非がん940名）

看取り報告（10/31～11/6）	在宅療養期間
67歳　女性・子宮頸癌	233日
73歳　男性・細菌性肺炎	8日
65歳　女性・腎癌	19日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：アサヒケーティー　インフルエンザ予防接種
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市医師会　胃部内視鏡研修会
火：第22回立川病院医療連携懇話会
水：面談担当
立川市役所 第3回在宅医療介護連携推進協議会 事前相談
金：面談担当
立川市医師会　五役会
土：第96回多摩医学会講演会

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付
- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXしてお申込みください。
「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。
面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定
- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談
- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。
- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療
- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
10月31日
Vol.32

今週のトピックス

久々の京都

10月下旬の土日、京都で開催された「日本在宅医療連合学会第4回地域フォーラム」に出かけた。当院の訪問看護師が症例発表を行うため、応援団として出かけた。発表は日曜日、土曜日は到着して、ホテルに荷物を預けタクシー観光に出かけた。予約時間までホテルの並びにある、市内を一望できる「京都タワー」に出かけた。修学旅行で登った気がするが、何度も京都を訪れた後に来てみると、見下ろす景色が思い出を呼び覚ました。観光前の腹ごしらえのため、すぐ裏手の焼肉屋に入った。大人5人は全員ビールを注文、昼から皆で飲めるのは学会の時ぐらいしかない。大学時代には、学会の昼食、夕食は製薬会社の接待で豪華な食事が待っていた。最終日にはタクシーで数時間の現地観光をしたなぁ~。今はそのような事は一切ない、時代は変わった。開業してからは自腹で皆を連れて行く。食事が終わると駅の反対口のタクシー乗り場に向かった。ワンボックスの車

が待っていた。その日は中心部で「時代祭り」が開催され渋滞とのこと、郊外のお寺から回り嵐山方面を目指すことになった。まず向かったのは世界遺産の「金閣寺」、以前来た時には工事中だったが、今日は池に映る黄金の建物は見事だった。以前とは違い中国語が全く聞こえなかった、白人とタイ、ベトナム系の観光客が多かった。次に「龍安寺」に向かった。石庭が有名な寺だが、私が驚いたのは「龍の襖絵」だった。更に驚いたのは作者が細川護熙元首相だったことである。政界引退後、陶芸家として活動されていることは知っていたが、この絵にはびっくりだった。この寺を室町時代に細川勝元が創建し縁があったらしい、熊本の殿様を改めて見直した。嵐山へ向かう途中、「仁和寺」を通った。丁度今日、第35期竜王戦が開かれていると運転手から聞いた。藤井聡太竜王と広瀬章人八段の対局である、初戦は負けたがこの一戦は勝利した。しばらく走って「天龍寺」に着いた、1339年に後醍醐天皇の菩提を弔うために足利尊氏が建立した寺である。ここは天井の「雲龍図」が有名で、どの位置から見上げても龍と目が合う、「八方睨み」の龍というらしい。この寺の裏手の竹林が有名で足を延ばそうとしたが、若者や外国人観光客でごった返しており断念した。「渡月橋」を車で通りたい、とのリクエストに橋を渡り周辺を走ってホテルへ戻った。夕食はホテルの和食の店、後に着いた3人も合流し静かな宴会となった。明日もあるので早目に部屋へ戻った。翌朝は近くの寺まで散歩、散歩のついでに銭湯に寄る者もいた。午前9時に学会会場へ出発、郊外の静かな建物だった。大学の教室として使われている部屋が会場だった。知り合いに挨拶して、我々応援団は前、後ろに陣取り席に着いた。2番目の発表だった、緊張していたようだが無事に終了、質問には院長が答えていた。記念写真を撮り、地下鉄で河原町方面へ出て「錦市場」で昼食、「八坂神社」周辺を散策してタクシーでホテルへ荷物を取りに戻った。京都駅で各自お土産を買うために人込みの中奔走した。私にとっての学会は【出席と観光】、人に会う・縁を作る・知らない土地を訪ねることが目的である。収穫は一つで良い、今回は褥瘡のテープ止め、かな。

今、ここに至るまで。（前号から）

熊本に戻り、同級生に会うために連絡をすると、予備校近くの喫茶店にいるとのことであった。自宅に戻り、祖母、母に会い、小遣いを貰いバスで繁華街へ向かった。実家は水前寺公園方面、近くに熊本競輪場があり、競輪場通りと呼ばれている中央付近にあった。バスの便は良く、JR水前寺公園駅前を通り、電車通りを暫らく走り、白川を渡ると電車道の先に熊本城が見えてくる。左手に鶴屋デパート、右手に熊本日日新聞社があるバス停で降りる。左側のアーケード街が下通り、電車道を渡り右側のアーケード街が上通りである。この辺りが熊本市の繁華街で一番人の出るエリアである。上通りをどんどん進んで行くと、いつも通っていた本屋（ここにしか医学書がなく、父が本を購入していた、そのため私も付けで参考書？を買っていた。）を通り過ぎると、左手に「こむらさき」という熊本ラーメンの名店があり、いつもここまで来て食べていた。更に進むとアーケードが途切れ、車道と左右の歩道の古い商店街に変化する。商店街と抜けると左手は予備校方面、右手が藤崎宮（一番大きな神社）方面となる。

こむらさき本店

右手に進み、数件目に目指す喫茶店があった。ドアを開け見渡したが友人はいない、店の人に「〇〇君は来とらんですか？」と訪ねると「さっきまで、おらした、ばってん…たぶん、そん先のパチンコ屋じゃなかね、行ってみなっせ」と返事が返ってきた。頭を下げて来た道を引き返した。アーケード付近まで戻るとパチンコ屋が数件並んでいた。1軒目に入ると騒音と煙草の煙で咽るほどだった、友人を探したが居なかった。2軒目の店で懸命に台に向かう姿を見つけ肩を叩いた。振り返ると「オーオー井尾じゃなかや！帰ってきたとや！」頷くと「負けとったい、ちょっと待っといて、茶店わかるや、行っといて」、肩を叩いてOKサインを出して店を出た。再び先程の喫茶店に戻り、コーヒーを注文、漫画を読みながら1時間以上待った。夕方になり、疲れた顔で「けっきょく、負けたたい、くやしか！」と友人が現れた。春から夏までの話を1時間近くして、「待たせたけん、ラーメンば奢るたい」と先程の名店に向かった。あの頃の熊本ラーメンは「味千」「桂花」「こむらさき」が有名だった。私の一番は実家近くにあった「喜楽」、二番は夜更けに回ってくる屋台のラーメンだった。

当院での看取り患者数

4,339名　～2022年10月30日（累計）

（がん3,400名・非がん939名）

看取り報告（10/24～10/30）		在宅療養期間
49歳	男性・胃癌	54日
76歳	男性・十二指腸癌	198日
74歳	男性・胃癌	8日
101歳	女性・老衰	451日
71歳	女性・左肺癌	9日
68歳	女性・右乳癌	156日
71歳	男性・肛門癌	86日
83歳	男性・胃噴門部癌	368日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医（多摩信用金庫・アサヒケーティー）
木：面談担当
　町田市民病院 緩和ケア病棟地域研修会講師

荘司 院長

火：取材協力（中日新聞社）
　新型コロナウイルスワクチン接種委員会
水：面談担当
　昭和第一学園 インフルエンザ予防接種
　立川市高齢者住宅連絡会
金：面談担当
　立川市医師会理事会
日：災害医療センター 緩和ケア研修会講師

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

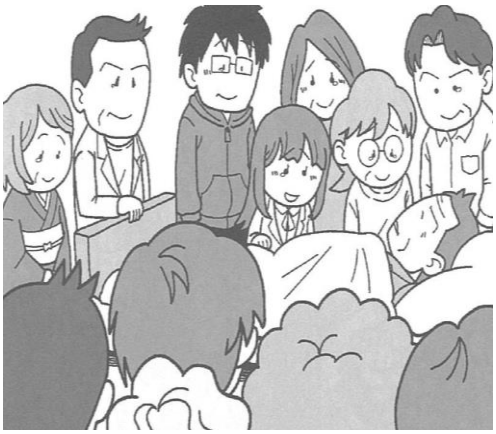
2022年
10月24日
Vol.31

シクラメン

今週のトピックス

おうだん

今月中旬の同日に癌が進行し在宅で診ていた男性が2人亡くなった。その日にドリフターズの仲本工事氏が道路を横断中に車に撥ねられた。黄疸で亡くなった二人は苦しむことも無く穏やかな顔だった。撥ねられた中本氏は出血していたらしい、搬送先の病院で手術されたが亡くなった。ご冥福をお祈り申し上げます。



黄疸のお一人は大腸癌、肝・肺・脳転移の闘病生活3年5ヶ月であった。奥さんは元看護師さん、私が良く知る緩和ケア病棟で働いた経験をお持ちだった。診断時には肺・肝転移を認める進行癌であったが化学療法を開始、8か月後に肺・肝転移部を部分切除できている。その後も化学療法を継続されたが、今年に入り脳転移出現、痙攣発作認められ通院困難となっている。在宅緩和ケア希望され、当院紹介され8月末から訪問診療、訪問看護開始されていた。大きな痙攣発作は認めなかったが、日に日に経口摂取減少、衰弱進行、黄染が増強していった。傾眠、肝性昏睡となったが肝性脳症の不穏も少なく、最期まで妻は冷静に対応され、妻・息子が見守る中静かに逝かれた。黄疸で亡くなったもう一人は十二指腸癌の患者さんで、今年2月に診断されている。肝転移を認める進行癌のため切除困難、4月に胃空腸バイパス術のみ施行、化学療法の希望はなく経過観察されていた。最近になり黄疸出現、終末期との判断で当院に紹介されている。妻の母を私が看取っており当院の話が出て大変喜ばれていたとのことである。病院医は余命年内と告知したが、面談時の話を聞き妻に週単位とお伝えした。退院日から訪問診療、訪問看護を開始している。疼痛、呼吸苦は特に認めなかったが経口摂取減少、黄疸が日に日に増強していった。介護ベットに褥瘡予防マットを入れようとした時に呼吸に変化出現し、暫らくして呼吸停止した、とのことである。訪問診療が終了し、診療所で書類をまとめていた時に連絡が入り、緊急訪問し死亡確認した。こちらも妻、息子で看取られ、最期まで落ち着いておられた。本人のお顔も非常に穏やかだった。お二人の病院主治医は同じ、介護も妻・息子と同じ、黄疸日々増強も同じ、そして自宅で穏やかに亡くなった。この方で当院の看取り数は4328人となった。最近、私や当院に縁が深い方が増えている。地域に根付いてきた？

※イラストは井尾和雄著「最後まで自宅で過ごせる死に方のトリセツ」より

道中グルメ情報

イオンモールむさし村山店内「いきなりステーキ」
厚切りの高級ステーキをリーズナブルに提供。炭火で香り付けした厚切りステーキをレアでお召し上がりいただきます。
訪問で疲れた体にパワーをつけ、次の訪問も元気に行けるように食事に行きます。次の訪問があるのでにんにくは控えていますが・・・
イオンモール武蔵村山店　武蔵村山市榎1-1-3

今、ここに至るまで。（前号から）

夏休みに入る前に立教の先輩からの誘いがあった。先輩の実家は石川県金沢市の駅前で老舗旅館を営んでいた。将来、旅館を継ぐために立教の観光学科に学んでいた。麻雀、飲み食いの時の話で上高地の有名ホテルや実家の旅館でのエピソードを面白可笑しく話すのを聞いていた。夏休みになったら実家の旅館にアルバイトに来い、と言う誘いだった。金沢、アルバイト、その後の旅行…立教の1年生と二人で手伝いに行くことになった。あの頃は直通の新幹線もなく東海道本線を米原まで行き、北陸本線で金沢まで行った。旅館の朝は早い、玄関周囲の掃除、前夜の広間の片付、朝食の準備の手伝い、配膳、客が食事中に布団の片付…続く。客が帰ると、部屋の掃除、風呂の掃除…昼過ぎまで大忙しである。急いでお昼を食べ、暫く休憩、夕方から客が到着すると、案内、夕食準備、配膳、布団敷き、宴会を始めた客の注文聞き…遅くまで続く。貴重な体験は次のバイト学生が来るまで1週間ほど続いた。時間に空きがあった時、先輩が料亭街の店に連れて行ってくれた。そこで、木の桶に泳ぐ甘海老をご馳走してくれた。甘海老を初めて見た、泳いでいる海老も初めて見た、その後も見ていない。バイトが終わり、客として来ていたホテルのシェフ2人と輪島まで同行することになった。先輩がホテルで研修している時仲良くなったらしい。立教の1年生も一緒だった。

「現在の金沢駅風景」

2日ほど珍道中が続いた、貧乏学生を連れ歩き、行き当たりばったりで安い旅館に泊まり、輪島迄足を延ばし、全てご馳走になった。料理人は高給取りだと感心した。帰りは米原まで一緒だったが、そこからは一人で熊本へ向かった。あの当時は東京ー熊本間を夜行寝台特急列車が走っていた。その名を「寝台特急みずほ」と言った。東京ー熊本間1315㎞を走っていた。一番安価な3段ベットの一番上に毎回乗って帰った。この列車の一番の思い出は大晦日に乗り熊本まで帰った時のことである。小さいラジオで紅白歌合戦を聞きながら、ベット周辺客が集まり宴会が始まり、新年を迎えた。朝早く熊本に着いた。

3段ベッド

当院での看取り患者数

4,331名 ～2022年10月23日（累計）
（がん3,393名・非がん938名）

看取り報告（10/17～10/23）		在宅療養期間
66歳	男性・S状結腸癌	49日
88歳	男性・心不全	85日
81歳	男性・十二指腸癌	20日
79歳	女性・膵尾部癌	15日
86歳	女性・頸部食道癌	100日
79歳	男性・肝癌	47日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医活動（2事業所訪問）
木：面談担当

荘司 院長

火：折衝委員会
水：面談担当/小・学・公対策委員会
木：産業医活動
金：面談担当/東京都医師会感染症対策理事会議/酸素ステーション当直執務

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付
- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXしてお申込みください。
「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。
面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定
- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談
- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。
- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療
- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年
10月17日
Vol.30

今週のトピックス

在宅緩和ケアから見た、緩和ケアの比較、緩和ケアの先駆者

緩和ケアとは（A）症状緩和（B）ターミナルケア（C）看取りまで行うケアであると思っている。

現在の緩和ケアには　①緩和ケア病棟②在宅緩和ケア③緩和ケアチームがある、それぞれを比較してみたい。

①緩和ケア病棟は（A）（B）（C）すべてを行う病棟で最後の砦だと思っている。癌の終末期で余命が短いと告知された場合には、自宅で最期まで過ごしたいと希望する患者が約7割、6割は症状緩和を希望している。緩和ケア病棟が増えていることは事実であるが、すべての癌終末期を受け入れる数ではない。私の患者で緩和ケア病棟に入院する数は毎年5％前後である。その理由は1）本人の希望（家族に迷惑をかけたくない）2）家族の介護困難3）独居である。緩和ケア病棟の歴史を見てみよう。日本初の緩和ケア病棟は**1981年**に開設された聖隷三方ヶ原病院「聖隷ホスピス」である。緩和ケア病棟の先駆者として名高いのは1984年に淀川キリスト教病院にホスピス開設された柏木哲夫先生である。**1991年**に**「第1回全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会」**を開催、全国への緩和ケア病棟普及に尽力されてきた。**2004年**には**「日本ホスピス緩和ケア協会」**へ改称、その時の設立代表者は「病院で死ぬということ」で高名な山﨑章郎先生であった。先生方の努力で全国に施設が増え2021年時点で457施設、ベット数は9464床になっている。

②在宅緩和ケアは（A）（B）（C）すべてを患者宅にて訪問診療、訪問看護、訪問薬剤、ケアマネ、訪問介護等がチームを組み24時間体制で最期まで支える在宅ケアである。日本は高齢多死社会に突入し、国も**「地域包括ケアシステム」**を導入、地域で最期まで過ごせる地域作りに懸命になっている。英国、米国の緩和ケアも訪問看護が中心の在宅緩和ケアが主流である。在宅医療の先駆者として現在の型を作られたのは佐藤智先生である。**1980年**ライフケアシステムを設立され、24時間ケア・訪問看護を開始されている。**1999年**には**「日本在宅医学会」**を設立され、初代会長を務められている。ライフケアシステム参加メンバーには川越厚先生、秋山正子先生が名を連ねている。聖路加病院の日野原重明先生、辻哲夫先生（元厚労省事務次官）も応援団であった。日野原先生は戦後、日本医療の全てを変えられたと言っても過言ではない。佐藤先生と辻先生との出会いが**「地域包括ケアシステム」**に繋がることになる。在宅緩和ケアの先駆者として忘れてならないのは鈴木荘一先生である。**1977年**に有志で英国シシリー・ソンダース医師訪問され、日本に緩和ケアに持ち帰られ鈴木医院で在宅緩和ケアに取り組まれた。現在はご子息の鈴木央先生が活躍されている。もう二人忘れていけないのは川越厚・博美先生である。**1995年「在宅ホスピス協会」**設立され、全国に在宅緩和ケアの普及を促進されてきた。私も第1回研修会に参加した一人である。現在は岐阜の小笠原文雄先生が会長としてご活躍されている。在宅緩和ケアの要は訪問看護師である。訪問看護師・暮らしの保健室で名高く、訪問看護の普及に尽力されている秋山正子先生を忘れてはならない。川越博美先生と秋山正子先生は聖路加看護大学の出身である。ホームホスピスの先駆者として名高いのは市原美穂氏である。**2000年**宮崎に「かあさんの家」を開設、民家を借り上げ家と同じような環境で周囲の在宅医・訪問看護師・ケアマネ等の力を借り看取りまでを行われている。ここでも応援団の筆頭は**日野原重明**先生であった、この施設も全国に広がっている。ご夫婦とも熊本出身、ご主人は熊本高校の先輩で医師である。

③緩和ケアチームは病院での（A）が中心だと思っている。緩和ケアチームは**「がん診療拠点病院」**の要件として設置が義務付けられ、**2002年**診療報酬に「緩和ケア診療加算」が設定されると普及が加速してきた。残念ながら早期からの緩和ケア、入院中の緩和ケアには重要な存在であるが、退院後、終末期、看取りについては活躍できていない。

今まさに医療大変革の真っただ中である。まだまだ紹介しきれないほど沢山のレジェンドが全国に存在し、活躍されているが、私がここまで来るために実際にお会いした、参考にした先生方をご紹介した、また、機会があればご紹介していきたいと思う。

早期からの緩和ケアには緩和ケアチーム、治療中・治療困難時からの緩和ケケには在宅緩和ケア、病院希望・介護困難には緩和ケア病棟が関わる。このような体制が地域に出来ることが理想である。

今、ここに至るまで。（前号から）

部屋に入ってきたのは立教の４年生でこの下宿で一番古参の先輩だった。「少し打てますけど…」と小声で答えた。「それは、いい、これからどうだ！」「この部屋は代々麻雀部屋だったんだ、面子を後で連れてくる、炬燵もあるし…牌は持ってくる。」暫くして、先輩が2人を連れてきた。一人は立教の1年生で同じ年、もう一人は東洋の3年生で先輩、挨拶を交わした。長年ここで使われてきた牌を卓に広げ皆でジャラジャラかき混ぜ、手際よく積んで半荘が始まった。少しは賭けるのが風習のようで1000点が5円、負けても数百円の勝負だった。それでも昭和46年当時の大学生には一日分の食費だった。翌日のこと、近所迷惑も考え半荘を2～3回、10時ごろには終わった。当時はテレビや携帯も無く、有ってもラジオぐらいで夜は暇で退屈だった。それから毎日のように卓を囲む日々だった。半分以上は勝ち、負けても少しだけだった。なんせ、小学校から実家で鍛えられてきたから大学生の麻雀に負けることはなかった。清算は月1で仕送りのある日だった。しかし、結局は勝った奴の驕りで飲んだり食べたり、足りないと先輩が出していた。大学の授業は実習以外は退屈な日々が続いた。見つけていた喫茶店に思い切って入ってみた。ドアを入ると右手にL字のカウンター、左手に4人掛けが2席、奥の左がトイレ、右から厨房へ入れた。三十代後半のマスターと奥さんが切り盛りしていた。カウンターの右端に座り、手に持っていたカメラを置きコーヒーを注文した。その時、左手に座っていた二人から「日芸の学生？写真？」と声が掛かった。「はい」と答えると「俺たちも」と返事があった。テーブル席に移り話をした。一人は長野出身3歳年上で同じ写真科の１年生、もう一人は宇都宮出身2歳年上で同じく1年生だった。夕方まで話が弾み、今後ともよろしくと挨拶してその日は別れた。それから毎日のように帰りに寄って一緒に遊ぶようになった。あの頃は携帯も無く、親からの連絡は下宿の黒電話、友達からの連絡、伝言はこの店のピンク電話になった。この店でナポリタンスパゲティーを始めて食べた。２軒ほど先に大衆食堂があり安くて重宝した、懐に余裕がある時には商店街の大きな鉄板で焼く生姜焼き、手で丁寧に捏ねるハンバーグも美味しかった。時々、熊本ラーメンが食べたくなり新宿の桂花まで出かけた。そこのバイトは全員熊本の学生、客も同郷の人が多かった。そんな日々が続き、あっと言う間に夏休みになった。

当院での看取り患者数

4,325名　～2022年10月16日（累計）
（がん3,388名・非がん937名）

看取り報告（10/10～10/16）		在宅療養期間
74歳	男性・左肺小細胞癌	10日
65歳	男性・肺癌	16日
84歳	男性・肺癌	221日
52歳	男性・左上葉肺腺癌	31日
81歳	男性・原因不明癌	32日
70歳	女性・下行結腸癌	27日

先週の動向

井尾 理事長

木：面談担当

荘司 院長

水：面談担当
　立川市介護認定審査会/酸素ステーション会議
金：面談担当
　立川市医師会地域保険医集団講習会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
10月10日
Vol.29

ダリア

どうする

どうする地球人口爆発
どうする地球温暖化
どうするウイルス大戦争
どうする北のミサイル発射
どうする攻めよる中国
どうする攻めよるロシア
どうするウクライナ
どうする韓国
どうするエネルギー自給率
どうする食料自給率
どうする人減り
どうする金減り
どうする日本の多死時代
どうする独居・孤立死
生き残れるか？どうする日本
今、できることは？
自分は、どうする！何をする！

道中グルメ情報

立川駅南口にある『**宝華らぁめん**』秘伝のタレに麺をからめ、サッパリ仕上げた油そばです。東小金井「宝華」さんの暖簾分けで井尾先生が昔からのお気に入りの店です。トッピングの彩もよく美味しさ倍増です。是非一度食事に行かれてみて下さい。くせになると思います。

東京都立川市柴崎町３-７-４　☎ 042-521-2339

今、ここに至るまで。（前号から）

昭和46年春、日大芸術学部写真学科に合格し東京に向かった。母と一緒に住む場所を探した。食事のことを考えて池袋の下宿屋に決めた。池袋駅東口から10分以内、大学生が10人ほど住む朝夕食付きの民家だった。東口には西武百貨店、西口に東武百貨店があった。目白方面にあるビックリガード（東口と西口を結ぶ）横には丸井があった。駅前の通りを目白方面に進み、丸井のある交差点を左に折れ、暫らく歩き路地を右折した閑静な住宅地にあった。東大、東洋、拓殖、立教、日大の学生が住んでいた。洗面所、トイレは共同で風呂はなく近くの銭湯に通った。新入生は私と立教の学生だった。私の部屋は角にあり2面に窓がある4畳半、隣に面する場所に押し入れ、静かで日当たりが良かった。池袋は熊本の繁華街とは比べ物にならない都会だった。デパート、映画館、飲食店、パチンコ屋、麻雀屋…西口右手の一角には危ない店のネオンも輝いていた。左手方向に進むと立教大学があった。日大芸術学部のキャンパスは西武池袋線の江古田にあった。進行方向右手の階段を右に降りると日大方面、左に降りると武蔵野音大方面だった。進行方向左手に出ると武蔵大学方面に出た。日大方面に降り、店が立ち並ぶ路地を200mほど進むと日大の入口に着いた。入学試験の時の高い塀は跡形も無かった。登校初日、新入生に説明があった。日大附属高校からの入学数と試験での入学数は同じと聞いた。あの当時の週刊誌報道では日芸写真の競争率は100倍といわれた？100人程の学生に教官から質問があった、「カメラを持っていない人？」、二人が手を挙げた、ドヨメキが起こった。その内の一人が後後友人となる。その日は、江古田の街を散策し、駅前の雀荘、食堂、喫茶店を見て廻った。特に音大方面を丁寧に見て廻り、音大も覗いてみた。駅から音大方面に進み、右折した左手に、居心地の良さそうな喫茶店を見つけた。その名を「トレビアン」、ここが人生の波乱の起点となった。下宿に帰り夕食を済ませ部屋に戻ると、扉がいきなり開いた、「井尾！麻雀出来るか！」それが最初の出会いだった。

当院での看取り患者数

4,319名　～2022年10月09日（累計）
（がん3,382名・非がん937名）

看取り報告（10/03～10/09）		在宅療養期間
62歳	女性・筋萎縮性側索硬化症	500日
52歳	女性・子宮頸癌	90日
67歳	男性・肝癌	151日
47歳	女性・右乳癌	25日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市医師会会議
水：面談担当
　東京都医師会　TMA
木：東京都医師会　医療情報委員会
金：面談担当
　立川市医師会　五役会

当院の訪問診療開始までの流れ

① 面談受付

- 予約制です。電話または「面談申込書」をFAXしてお申込みください。
「面談申込書」は当クリニックのホームページよりダウンロードできます。
面談時には「診療情報提供書」が必ず必要です。

② 面談日の設定

- 当クリニックより家族に電話連絡し、面談にお越し頂く日時を決めます。
- 独居の方は、本人・親族・ケアマネージャー・行政担当者等が面談にお越し下さい。

③ 面談

- 以下の面談担当医スケジュールにて行います。

面　談	月	火	水	木	金
9:30～10:30	井 尾	小 島	荘 司	井 尾	荘 司
10:30～11:30					
11:30～12:30	×	×		×	×

- 面談は1時間を予定しておりますが内容により時間を要する場合があります。

④ 初回訪問診療

- ご自宅にいらっしゃる方へは面談当日より訪問診療を開始します。
- ご入院中の場合は退院日より訪問診療を開始します。

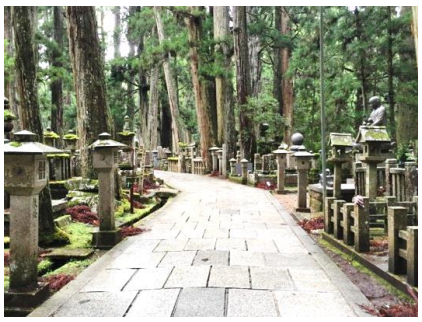
在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年
10月3日
Vol.28
キク

今週のトピックス

高野山を訪ねて②

奥之院口で下車、霊的雰囲気に包まれた石畳の参道を奥へ進んだ。私の大好きな戦国武将の武田信玄、上杉謙信、薩摩島津家、石田三成、明智光秀…の供養塔が並んでいた。ここでも細川ガラシャの因縁を感じた。（光秀の3女、三成が人質にと襲撃し死す、墓のある公園で写真を撮った）更に進むと豊臣家、織田信長、浅野内匠頭・四十七士と続いた、信長の墓は危く見過ごす程小さかった。やっと「弘法大師御廟」に着いたと同時に事件②ゲリラ豪雨、と大雷鳴が1時間以上続いた。御廟内で線香と蠟燭を祀り、お賽銭を納め「患者さん達が穏やかに着陸できること、診療所の安寧」をお祈りした。いつでも、どこでも同じお願いだが今回は二人の患者さんから頼まれていた。外の縁側で雨宿り、屋根の排水口から轟轟と流れる雨水は溢れ縁側の下まで溜まってきた。寺の人がモップで懸命に30分以上も水を掃いてくれた。小雨になった？のでバス停に向かったがバスは無かった。タクシーに電話すると5時で終了、幸い2件目の会社が来てくれて宿坊に何とか到着した。6時半から精進料理の夕食、風呂は10時まで、朝風呂は無し、消灯は9時、翌朝6時半にお勤めがあります、との説明だった。急いで濡れた服を浴衣に着替え風呂に入り、夕食会場の部屋へ、ワインは飲めるようで良かった。料理には満足、ワインも美味しく宿坊とは思えなかったが、9時の消灯、畳部屋、煎餅布団、高い枕には参った、疲れて早く寝たが夜間に何度も目覚めた。朝6時前に目が覚めたが髪も髭もボサボサ、6時半からのお勤めは遠慮することにした。7時15分から朝食と聞き会場に入ったが誰もいなかった。住職の話が長くなったらしい。朝食は胃に優しい精進料理だった。片付と荷造りをして帳場に降り、ソファーのある座敷で待っていた。仏教の本屋、高野山の本などが並んでいた。額に入った感謝状が目に留まった。事件③その内容に縁を感じた、2013年6月に横浜パシフィコで開催された日本緩和医療学会からだった。女将さんに話を聞くと住職が日野原重明先生と「いきいきと生きるために」というテーマで鼎談された時の感謝状とのことだった。私も参加していた。挨拶をして、隣にある総本山金剛峯寺に向かった。荘厳で威厳のある佇まいで背筋が伸びた。次に1200年間の国宝、重要文化財など1万点が収蔵さている高野山霊宝館に向かった。迫力のある快慶作の四天王立像が迎えてくれたが、出張中で人数が足りなかった。照明が不十分で表情が今一つ分らなかった。昼食を洒落たカフェで摂り、バスで高野山駅へ、すぐに乗れるケーブルカーで極楽橋、各駅停車で橋本駅、急行で難波へ戻り、地下鉄で新大阪駅、新幹線を1時間弱早めて乗りこんだ。大忙しいの旅だったが、不思議なことがいくつも起きた。



今、ここに至るまで。（前号から）

校舎は古い木造２階建てだったが敷地は広く、運動場は観覧席付400mトラック、体育館、剣道場、弓道場、相撲土俵、テニスコート、50mプール…設備は多かった。柔道or剣道が必修で剣道を選択、道場での正座、防具の臭さ、暑すぎて隣のプールに飛び込んだ思い出が少しある。50mプールは確か湧き水で水球が出来るほど深かった。熊本市の水道は阿蘇の伏流水を利用した天然水でブラタモリでも紹介されていた。熊本の実家には、水道と井戸があった。井戸水の方が美味だった。水泳大会で無呼吸で50mを潜水した記憶もある。小さいときから天草の海、江津湖、プールで泳いでいたから息は続いた。度々、自転車でSL撮影に出かけた、1泊では帰れない九州の撮影ポイントを目指した。帰れないこともしばしばあり、母が気を利かせて病欠の連絡をしてくれていた。今思えば、携帯もない時代、へき地で公衆電話も少ない、所持金もほとんど持たない放浪みたいな撮影旅だった、心配させたなと後悔している。

写真部の連中とモデル撮影会にも参加した。一番覚えているのは、女優の山本陽子（山本山の海苔のＣＭで有名だった。）の撮影会、熊本城内で開かれ、和服姿が綺麗だった。しかし、興味は白黒写真、メリハリのあるコントラスト、蒸気機関車、静物、人物がやはり好きだだった。3年生は私立文系のクラスを選択した。父からは私立医学部が新設されるので誘いがあることを聞いていたが、目指すは日大芸術学部写真学科の一本だけだった。理系の科目は1年生の時から避けてきたので苦手だった。担任が数学の先生だった。あまりにも酷い成績に先生宅での夜間特別講義に通わされた？通った。夜道を自転車で通った覚えがある。何とか卒業できそうで、日大芸術学部の入学試験に東京に出かけた。大学は池袋から西武線に乗り３駅目の江古田にあった。キャンパスは大学紛争の名残りなのか高い塀で囲われていた。試験が終わり熊本に戻ってみると校舎が跡形もなかった。1971年（昭和46年）2月19日第3棟（普通教室、食道、文化部室）が火災で焼失したのである。生徒の放火だったと言われている。卒業式に出た記憶は残っていない。最後の蒸気機関車撮影旅行に出かけたようである。

当院での看取り患者数

4,315名　～2022年10月2日（累計）
（がん3,379名・非がん936名）

看取り報告（9/26～10/2）	在宅療養期間
65歳　女性・膵臓癌	7日
89歳　女性・胃癌	81日
68歳　女性・膵体尾部癌	94日
57歳　女性・膵頭部癌	12日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医活動2事業所
木：面談担当

荘司 院長

月：酸素ステーション ミーティング
火：地域包括支援センター運営協議会
　　立川市医師会ワクチン接種会議
　　東京都医師会感染症対策理事会
　　東京都コロナオンライン診療
水：面談担当
金：面談担当
　　立川市医師会理事会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
9月26日
Vol.27

キンモクセイ

今週のトピックス

高野山を訪ねて①

9月上旬に高野山を訪ねた。これまで日本仏教三大霊山の内、比叡山延暦寺（京都から近い）、身延山久遠寺（両親の永代供養の寺）は何度か訪ねたが、最後に残された高野山を訪ねることができた。高野山は1200年以上前の弘仁7年（816）に、唐で密教を学び帰国した弘法大師・空海が嵯峨天皇に高野山の下賜を願い出て、許可され根本道場を開いた真言密教の聖地である。2004年には世界遺産にも登録されている。何度も計画したが学会、講演会、コロナに阻まれた。8月に古希を迎え、今だと思い決行した。金曜日夕方の新幹線で大阪に向け出発、午後9時頃到着、難波のホテルで一泊した。翌朝早くの特急こうや号に乗り、終点の極楽橋からケーブルカーで高野山まで一気に登った。乗車する時に事件①転倒が起こった、雨で濡れた登りの低い階段で躓いた、重いリュックを背負っていてバランスが取れず、前へ前へ駆け上るようにして左手を着いて止まった。乗車して気が付くと左人差指の爪から出血、中指と薬指を突き指したようで痛みが走った。幸い、骨折は無い様だった、顔面の打撲も無く、足は大丈夫だった。駅でハンカチを濡らし冷やしながら、バスで宿泊する宿坊のある総寺院に向かった。寺に荷物を預け、その周辺から散策を始めた。寺の前の道を少し上り脇道から入ると、「壇上伽藍」の中で目の前に根本大塔が迫った、三鈷の松、金堂、中門とゆっくり見て回り、歩いて大門へ向かった。昼食は店が混雑しており、コンビニのお握りで済ませ、西南院という寺のカフェで休憩、アイスコーヒーの氷で指を冷やしながら大門に着いた。そこからバスで今回の旅のメインである奥之院に向かった。

壇 上 伽 藍

総 寺 院

極楽橋駅とケーブルカー

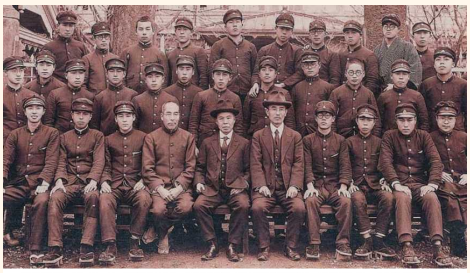
道中グルメ情報

多摩都市モノレール線上北台駅　徒歩13分
武蔵村山市学園にある「京都北白川ラーメン魁力屋」さんです。定食もお手頃な値段です。スープも一口飲んでみると‥‥どんどん進んでしまう、とても美味しいスープです。是非一度食事に行かれてみてください。ちなみに、都内には15店舗。その内、武蔵村山市には2件あります。
〒208-0011 東京都武蔵村山市学園3-35-1

今、ここに至るまで。（前号から）

熊本高校は1900年（明治33年）4月に熊本県中学済々黌より分離開校した熊本県中学第二済々黌を前身として創立された。その年の12月「熊本県熊本中学校」と改称されている。戦後1948年（昭和23年）学制改革により「熊本県立熊本高等学校」（男子校）と改称されている。翌年の1949年（昭和24年）に男女共学となり、女子生徒8名が入学している。2020年（令和2年）に創立

120周年を迎えた。略称は「熊高」（正式にはクマコウ一般には熊工こと熊本工業高校との区別のためクマタカと呼ばれる）建学の精神・校風は「士君子」たるの修養を目標とし、徳性、智能、体力ともにすぐれた人物の養成を図る。「士君子」とは、熊中末期の戦時中には、“士＝さむらい”と解されていたが、現在は、「深い自己理解のもと、個性を生かし、社会に積極的に関わっていく、自立した個人」と明示している。男子の制服は一般的な黒の詰襟学生服で、両袖口に1本の白線を織り込んだ黒地の蛇腹織リボンが縫い付けてある。（この白線は少々誇らしかった）女子の制服は、上下とも紺色のセパレートタイプのブレザーで、スカートには


熊高のシンボルの一つ、門柱前にて。（前列左から５番目が初代校長　野田寛先生：大正末年頃の撮影）
現在の制服の袖にある白線は、昭和２年頃第３代福田源蔵校長によりつけられた。

同校の校章を模した、バックルを有するベルトが付属する。校章は1903年（明治36年）に制定。三つ葉銀杏を背景に、旧制中学校時代は「中」の文字を、新制高等学校になってからは「高」の文字を置く。銀杏をモチーフに用いたのは、初代校長の野田寛が、大和魂を象徴する桜に対して銀杏を「肥後魂」の象徴としたことに由来する。同窓会の名称は「江原会（コウゲンカイ）」と呼ばれる。東京江原会の同窓会も年1で開催され、毎年大学生から後期高齢者まで数百人の同窓生が集まる。ホテルの一番広い会場、司会はＮＨＫアナウンサー、くまもんも登場する。

くまもん

校章

当院での看取り患者数

4,311名　～2022年9月25日（累計）
（がん3,375名・非がん936名）

看取り報告（9/19～9/25）		在宅療養期間
83歳	男性・左原発性肺癌	105日
82歳	女性・胃癌	21日
82歳	男性・膀胱癌	15日
52歳	女性・食道癌	11日
81歳	男性・結腸癌	2日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医（幹福祉会・たましんビジネス）
木：面談担当
土：多摩グリーンツーリズムクラブ講演会

荘司 院長

火：折衝小委員会
水：面談担当、小・学・公対策委員会
　　日医総研ヒアリング

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
9月19日
Vol.26

今週のトピックス

倉本聰氏寄稿「そしてコージは死んだ」

尊厳死協会の広報誌に倉本聰氏の寄稿文が掲載されていた。本人も会員とのこと、私も会員である。尊厳死協会主催の講演会で講演したこともある。その時のゲストは俳優の近藤正臣氏だった、シンポジウムでお話もした。この大物脚本家の話は医療者には耳が痛い。短くまとめると以下の内容である。

【富良野塾の創設期からの40年の付き合いの友人。2年半前肺癌末期余命2年の診断、自分で建てている家で死にたい、病院は絶対に嫌だと報告に来た。旭川大学病院を紹介し、尊厳死協会への入会も勧めた。富良野は人口2万2千人、小さい総合病院があるだけ。在宅で抗がん剤治療していた。2年目に苦痛の激しさから自殺を計った。首を2ヶ所切り、死にきれず電動ドリルで心臓に穴をあけようした、血みどろの状態で発見され救急搬送、一命をとりとめた。緩和ケアの医師を通して十分な緩和をと内科医師に伝えてもらったが、答えは「新薬が出るかもしれない最後まで希望を捨てないよう」だった。その後骨転移、癌も進行、呼吸苦増悪、SPO2低下、富良野協会病院に救急搬送された。症状は更に増悪、ベッドの上でのたうち回っていた、夜勤の看護師だけで対応困難、見ていられない状態が続いた。その状態が翌日昼過ぎまで続きやっと息を引き取った。『胃カメラを飲むという検査の時ですら、今病院では点滴によって意識のレベルを下げてくれ、全く苦痛なく挿管してくれる。今の医学はそこまでできる。できる筈なのに死を前にして彼はここまでのたうちまわっている。彼の意識はしっかり生きている。生きて苦痛の極限にいる。医学は人命を救うことを究極の目的としているというが、今目の前にくり拡げられていることは、人道的と果たして言えるのだろうか。楽にできるのにしてやらないこと。これは拷問であり、明らかに非人道的行為である。こんなむごいことが許されていいのだろうか！』医学にその技術がないなら仕方ない。しかし、あるのに使ってもらえない。意識のレベルを下げることができるのに延命のためにそれを用いない。そういう延命はごめん蒙りたい。苦しさから解放され、一気に死にたい。そのために僕は、尊厳死協会に入会している。コージもまたそのために入会していた。】

先日、私も胃内視鏡検査しましたが、注射で終わるまでわかりませでした。
皆さん、どう思いますか？

道中グルメ情報

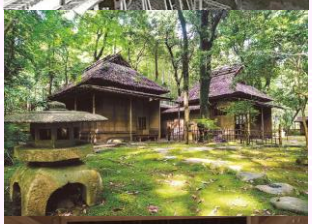
JR立川駅南口　徒歩10分　JR西国立駅　徒歩7分
立川市錦町にある「錦寿司」さんです。元首相が来店されたことがある地元ではとても有名なお寿司屋。新鮮な江戸前寿司が召し上がれます。中でもトロ、アナゴは絶品です。近隣にコインパーキング有

錦寿司　東京都 立川市 錦町 1-19-17☎042-522-6363

今、ここに至るまで。（前号から）

高校時代の記憶に残る思い出は少ない、3年間の記憶がバラバラに飛んでいる。熊高では高校生活の1年間を記録した「江原(こうげん)」という雑誌が毎年発行されていた。誰から誘われたか覚えていないが気が付いたら編集員になっていた。1年間の行事の写真担当だったと思う。写真部には所属しなかったが部員とは親しくしていた。特に部長とは親しかった。文化祭には畳1畳程の蒸気機関車の写真を自分で焼いて展示したと思う。

筆者の撮影写真



立田自然公園風景

ガラシャの墓

鉄道研究会にもよく顔出し先輩から情報を貰っていた。鉄道写真を撮るために、どこで、いつ撮影するかの作戦を立てる、そのための鉄道運航ダイアグラムを先輩から入手したように思う。

「江原」の編集室は図書館の2階にあった。古いが木造の瀟洒な建物だった。他の運動部や文化部とは違い、1年間の記録という責任もあり？部室は広く、居心地が良かった。校舎は木造2階建ての歩くとギシギシ音のする古い物だった。2年生の頃事件が起こった、天井が崩落したのである。

伝統儀式？の結果であった。男子クラスでは代々、漫画やエロ本の回し読みが何年、何十年も続いていた、読み終わると隅の穴から投げ入れていたため、天井が湾曲していた。重みに耐えきれなくなり昔の本…が落ちてきた。相変わらず、自転車でSL撮影は続いていたが、自然写真、人物写真も撮りだしていた。よく通ったのは立田山にある細川藩縁の公園だった。ボーっとして、自然に溶け込みシャッターを切った。細川ガラシャの墓の周囲の風景が今も目に浮かぶ。ガラシャは明智光秀の三女で明智珠（子）として育ち、織田信長の命により細川忠興に嫁いでいる。父、光秀が信長を本能寺の変で討ち、直ぐに山崎の戦いで没したため、忠興は離縁せず京都の丹後国に幽閉した。その後羽柴秀吉の取り成しで珠は細川家大阪屋敷に戻っている。夫の忠興は数々の武勲を挙げ豊臣秀吉、徳川家康に仕え出世していく。関ヶ原の戦いでは徳川方の東軍に付くことをいち早く表明した。珠子を人質に取ろうとして西軍の石田三成は細川屋敷を襲撃した。その際、珠子（ガラシャ）は夫の命通りに自ら死を選び、遺体が残らぬように家来たちが屋敷を灰にしている。ガラシャの辞世の句「散りぬべき　時知りてこそ　世の中の　花も花なれ　人も人なれ」が残っている。この公園には家のすぐ近くの水前寺公園より四季折々出かけた。ガラシャの血縁は脈々と続き、今の今上陛下につながっている。

当院での看取り患者数

4,306名　～2022年9月18日（累計）
（がん3,370名・非がん936名）

看取り報告（9/12～9/18）	在宅療養期間
69歳　男性・悪性リンパ腫	3日
72歳　男性・胃癌	126日
89歳　男性・肝癌	31日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：たましん経営者研究会
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市高齢福祉課　多職種研修・予算会議
火：酸素ステーションMT
　　ワクチン会議
水：面談担当　立川市介護認定審査会
木：産業医
金：面談担当
　　東京都医師会シンポジスト

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年
9月12日
Vol.25

今週のトピックス

「吾亦紅(ワレモコウ)」と「われもこう」

猛暑の夏、いかがお過ごしでしたか？8月の猛暑の夕方、車の音楽をランダム設定しており、数年ぶりに「吾亦紅」が流れてきました。すぎもとまさとの歌う曲です。この歌を始めて聞いた時、死んだ母の顔が浮かび、涙が溢れたことを思い出しました。その後も聞く度に涙が出そうになり、必死で堪えます。一時カラオケで歌ったこともありますが、いつも最後まで歌えません。その歌詞の一番です。今、この原稿を書いている日は丁度お盆休みです。

マッチを擦れば　おろしが吹いて
線香がやけに　つき難（にく）い
さらさら揺れる　吾亦紅
ふと　あなたの　吐息のようで…
盆の休みに　帰れなかった
俺の杜撰（ずさん）さ　嘆いているか
あなたに　あなたに　謝りたくて
仕事に名を借りた　ご無沙汰
あなたに　あなたに　謝りたくて
山裾の秋　ひとり逢いに来た
ただ　あなたに　謝りたくて

ホームホスピス「われもこう」

もう一つは熊本にあるホームホスピス「われもこう」です。宮崎市に市原美穂さんが日本で最初に開設されたホームホスピス「かあさんの家」があります。それに続き、看護師であり熊本保健科学大学の教授でもある竹熊千明さんが開設された施設です。ネーミングは「吾もこうありたい」という願いから命名されたそうです。普通の民家を借り、少人数を預かり、自分の家に近い、生活感の溢れる施設がホームホスピスです。このような施設の存在を知り、立川にもと思い、宮崎、熊本を見学、全国の集まりにも参加しました。市原さんご夫婦は熊本出身、ご主人は私の高校の先輩で医師でした。勿論、竹熊さんは熊本出身、務める大学の学長に私の高校の同級生の医師が就任しています。検討、熟慮しましたが、東京での施設開設は困難です。患者・家族・医師・看護師なども幼い頃から過ごし、方言を話し、祖父母、父母の代から縁の深い地方だから成り立ち、縁の非常に薄い都会では困難であるとの結論に至りました。今は、都会でも自分の家で最期まで過ごすことを支える「在宅ホスピス」を進化させたいと考えています。

吾亦紅（ワレモコウ）は夏から秋にかけて咲く、バラ科の植物で花はつけませんが、高原に小さな赤紫の彩りを加え、吾亦紅を求めて高原を訪れる写真愛好家など、根強いファンを誇る山野草です。中秋の季語としても有名です。

何ともな　芒（すすき）がもとの　吾亦紅　（正岡子規）
吾亦紅　さし出て花の　つもりかな（小林一茶）
吾も亦（われもまた）　紅なりと　ひそやかに（高浜虚子）

吾亦紅（ワレモコウ）

今、ここに至るまで。（前号から）

中学に入ると二代目の男の家庭教師になった。熊大工学部の2年生だ。大学のある黒髪町から黒い重い自転車で来ていた。勉強を見て貰った記憶は一切ない。大学生活、日本の政治、自分の夢、哲学など他愛のない話をしたように思う。覚えているのは、時間が終わる頃、祖母がアベックラーメン、1杯のご飯、コップ1杯の酒を運んできてくれたことである。美味しそうに食べると笑顔で挨拶をして自転車を漕いで帰って行った。一度だけ大学の寮を訪ねたことがある、入口、廊下、部屋などボロボロで一部屋に4人が住んでいた。ここに人が住めるのか思えるほど大変な寮だった。畳はボロボロ、万年床に本の山、七輪にアルマイト洗面器で鍋を作って食べていた。一緒に食べたかな？寮からの帰りに大学構内を案内してもらった。印象にあるのは木々の多い、雰囲気のある構内、夏目漱石の銅像もあったことかな。大学卒業まで家庭教師は続き、成績優秀で卒業、大阪の一部上場会社に就職された。後に一度訪ねたことがある、大阪の十三に住んでいた、ご馳走になったことを覚えている。まだ、二人とも存命かな？妙に懐かしく思う、歳を取ったのかな？帯山中学校を卒業し県立熊本高校に進んだ。県内一の進学校である。まったく進む気はなかった。熊本商科大学付属高校に進み、勉強より写真を撮って3年間過ごす気でいた。その話を父親に切り出すと頭から反対された。私も頑固で数日部屋に籠って話もしなかった。そして「頼むから、熊高（くまたか）だけには行ってくれ」と頭を下げてきた。父は熊本高校前身である旧制熊本中学を誇りに思っていたからだと、今は思える。熊本市の中学校では沢山の学生が受験するが、他市・郡部の中学校では成績が1.2番しか受験できない高校である。競争率は殆ど零の高校だった。帯山中学校は1クラス50人以上が16クラスもあるマンモス校であった。成績100番ぐらいまでは合格圏内、私もその辺にいたようで、受けさせもらえ、なんとか合格出来た。勉強はまったくやる気はなく、宿題は中学の同級生、クラスメートの丸写しだった。学校までは歩いて通った。小中学校までの距離と変わらず、家から1回右折、途中で水前寺公園駅横の踏み切りを渡り、1回左折するだけで到着した。

当院での看取り患者数

4,303名　～2022年9月11日（累計）
（がん3,367名・非がん936名）

看取り報告（9/5～9/11）		在宅療養期間
75歳	女性・乳癌	72日
74歳	男性・肝門部胆管癌	92日
82歳	男性・左肺腺癌	31日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長

月：胃部内視鏡健診運営委員会
水：面談担当
　TMA近未来医療会議 第3ｸｰﾙ第1回作業部会
木：東京都医療情報担当者理事会
金：面談担当
　日本医学会総会　取材協力

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
9月5日
Vol. 24

今週のトピックス

古 希

私は昭和27年8月21日生まれ、今年で70歳の古希を迎えました。古希とは中国の杜甫の漢詩の一節「人生七十古来希」が由来です。母は67歳、父は68歳で古希を迎えず他界しました。私もその頃が寿命かなと思って突っ走って生きてきました。還暦を祝ってもらって、あっと言う間の10年でした。長寿の祝いは還暦（かんれき）60歳、古希（こき）70歳、喜寿（きじゅ）77歳、傘寿（さんじゅ）80歳、米寿（べいじゅ） 88歳、卒寿（そつじゅ）90歳、白寿（はくじゅ）99歳、百寿（ももじゅ）100歳と続きます。まだまだ、在宅緩和ケアの普及充実は道半ばです。次の目標は75歳の後期高齢者の仲間入り、その次に目指すは77歳の喜寿です。その先はまったく自信がありません。

唐の詩人・杜甫の詩『曲江』『朝回日日典春衣、毎日江頭尽酔帰、酒債尋常行処有、人生七十古来稀、穿花蛺蝶深深見、点水蜻蜓款款飛、伝語風光共流転、暫時相賞莫相違』

（通釈）『朝廷から帰ると、毎日のように春着を質に入れ、いつも曲江のほとりで酔っぱらって帰るのである。酒代の借金は当たり前のように行く先々にあるが、人生七十まで生きられるのは滅多にない。だから、今のうちに飲んで楽しんでおきたいのだ。花の間を見えかくれして飛ぶアゲハ蝶が奥の方に見え、水面に尾を叩くトンボがゆるやかに飛んでいる。私はこの自然にことづてしたい。私もこの風光も共に流れていくのだから、しばらくの間で良い、お互いにその美しさを賞（め）でて楽しみ、そむくことのないようにしようではないか。』お気楽な人だったようです。

2021年10月の70歳の人口は178.4万人でした。総人口は1億2522万人で前年から51万人減少、65歳以上の人口は3640万人、前年から22万人増加し過去最多、総人口の29.1％になっています。男性が1583万人（男性人口の26.0%）、女性は2057万人（女性人口の32.0%）と女性が474万人多くなっています。2021年の出生数は81万1,604人で、過去最少となり前年の84万835人からさらに2万9,231人減少しています。30年前から少子高齢化は周知の事実でした。経済、経済と叫ぶ政治家、国民ばかりで本気で対策を応じる政治家は現れず、今もいません。これからの日本を背負う若い政治家に期待するしかありません。今、私に出来ることは「在宅緩和ケア」「在宅看取り」の提供、更なるクリニックの成長の準備だけです。特に増え続ける独居、孤独死対策に重点をおきたいと思います。

セミナー「終末医療の実情と備え」

日　　時 ： 9 月 24日（土）　13：30～15：30　　参 加 費 ： 500 円
開催場所 ： 立川市女性総合センターアイム　第３学習室　　定　　員 ： 30 名
お問合せ ： E-mail ： tgtccom@gmail.com　Tel ： 090-1814-3968 （ 磯崎 雅樹 ）
主　　催 ：多摩グリーンツーリズムクラブ　　後　　援： 立川市社会福祉協議会

今、ここに至るまで。（前号から）

小中学時代の勉強の記憶は殆どない。当時、学習塾などはなく大学受験に失敗した浪人が通う予備校では壺溪塾が有名だった。あまりに遊んでばかりの我子を心配したのか小学校高学年には家庭教師が週1で夕方から訪れた。初代は熊本県立女子大の学生で大分の人だったと思う。大学は現在もうない、復習を中心に2時間ほど教えてくれたかな？夏休みに先生の下宿に遊びに行った、木造2階建ての6畳ほどの和室だった？質素で小奇麗な暮らしに見えた。先生の卒業と私の小学校卒業が重なり終わりになった。女子大は1980年に新築移転、1994年には熊本県立大学に名称が変更され男女共学となっている。跡地には1983年に熊本県立劇場が建てられている。歴代館長は当時の細川護熙県知事に招聘されNKHアナウンサーを退職した鈴木健二氏であった。現在の館長は熊本市出身の政治学者で東大名誉教授の姜尚中氏が務めている。姜氏は濟々黌高校から早稲田大学に進学されている。私の2歳年上、弟の先輩でもある。鈴木健二氏は私の尊敬する映画監督である鈴木清順氏の弟である。監督の下で日芸時代の友人が修行を積んだ。その友人が新宿のテントで上映された原田芳雄主演「ツィゴイネルワイゼン」に招待してくれた。その映像美に感動した。その後も松田優作主演「陽炎座」、沢田研二主演「夢二」が「大正浪漫三部作」として話題になった。その友人はテレビ業界の裏方に職を得て、石原裕次郎主演「太陽に吠えろ」の美術を担当していた頃に撮影現場を案内してくれた。最後はフジテレビの唐沢泰明主演「白い巨塔」の美術監督として名前が出ていた。監督の時、小道具のCT写真、顕微鏡等の調達に困ると夜中でも電話が鳴った。「いおさん、遅くにごめん、顕微鏡貸して、今…」いつも無理難題だった。その時、たまたま大学勤務の医者と飲んでいて、医局に内緒で借り、朝には返した。それから暫くして上司のプロデューサーから食道癌で入院していると電話があった。都内の大学病院の分院に入院していた。見舞いに行くと、食べれない、声が出ない、痛いと訴えた。「俺が診るから、家に帰れ」と伝えたが、家族は大学病院から帰すことはなかった。そして、訃報が届き、その上司と通夜に参列した。

当院での看取り患者数

4,301名　～2022年9月4日（累計）
（がん3,365名・非がん936名）

看取り報告（8/8～9/4）		在宅療養期間
73歳	男性・左上葉肺癌	67日
82歳	男性・残胃癌癌	26日
60歳	男性・食道癌	56日
75歳	女性・胆管癌	104日
75歳	男性・胃癌	37日
51歳	女性・乳癌	341日
72歳	女性・膵頭部癌	44日
89歳	女性・直腸癌	132日
70歳	男性・肝肺症候群	428日
63歳	女性・膵癌	91日
82歳	男性・肝内胆管癌	17日
84歳	女性・左尿管癌	68日
81歳	男性・十二指腸乳頭部癌	7日
86歳	女性・肺癌	323日
72歳	男性・膵癌	72日
78歳	男性・膵頭部癌	7日
73歳	男性・膵臓癌	32日
89歳	男性・慢性閉塞性肺疾患	156日
84歳	男性・胆のう癌	13日
98歳	女性・膀胱癌	446日
81歳	男性・大腸癌	75日
76歳	男性・胃癌	53日
62歳	男性・膵癌	2日
89歳	女性・乳癌	329日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：日本ホスピス緩和ケア協会幹事会
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市ワクチン接種委員会
火：東京都オンライン診療
水：面談担当
　　酸素ステーション会議
木：東京都医師会医療情報検討委員会
金：面談担当
　　立川医師会五役会

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
8月8日
Vol.23

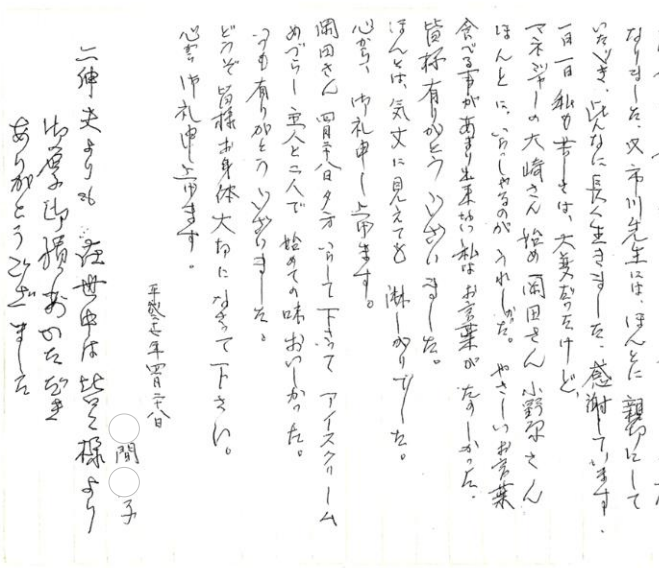
ユリ

今週のトピックス

患者さんの形見

在宅緩和ケアを始めて23年、患者さんの形見、家族からの手紙や御礼など数えたら切りがない。現在診ている患者さんから自分が死ぬ前にゴルフの会員権を貰ってくれと懇願された。訪問の度にゴルフ、カラオケ、写真…の話で盛り上がり、特にゴルフはハンデ3の腕前で死ぬ前にもう一度コースに出ることを願われていた。これは流石に難しく丁寧にお断りした。これまで多くの患者さんから形見を頂いたのでご紹介したい。最初の形見は焼き物だった、この仕事を始めたばかりの頃の患者であった。痛みや呼吸苦は取れていたが癌は進行し、食が少なくなっていた、どうしても死ぬ前に美味しい蕎麦を食べたいと希望された。私が懇意にしていた蕎麦屋の主人に話したら、蕎麦を啜ることは難しいようなので、私がお宅で蕎麦掻を作りましょうと言ってくれた。目の前で作られる蕎麦掻を懸命に見つめ、美味しそうに食べられた様子が今も記憶にある。そして、数日後に亡くなったが、暫らくして奥さんが本人からの遺言で大事にしていた焼き物を私と蕎麦屋の主人に届けに来てくれた。

天国からの手紙



立川在宅ケアクリニック様
院長先生始め先生方には大変お世話様になりまして、又、市川先生には、ほんとに親切にしていただき、こんなに長く生きまして、感謝しております。
一日一日私の寿命は、大変なのだけど、マネージャーの大崎さん始め、岡田さん、小野寺さんほんとに、いらっしゃるのがうれしかった。やさしいお言葉、食べる事があまり出来ない私はお言葉がたのしかった。
皆様有りがとうございました。
ほんとは、気丈に見えても淋しかったです。
心から、ゆ礼申し上げます。
岡田さん 四月七日夕方 いらして下さって アイスクリームありがとう。主人と二人で 始めての味おいしかった。
つね有りがとうございました。
どうぞ皆様お身体大切になさって下さい。
心から ゆ礼申上げます。
平成七年四月六日
○閑○子
二伸 主人 亡くなりました。在世中は皆様より ゆ厚き御援助 ありがとうございました

蕎麦掻を美味しく食べた患者さん

コースに出れない、先生使ってくれ

自作の白黒版画

自作の南国のヤシの木

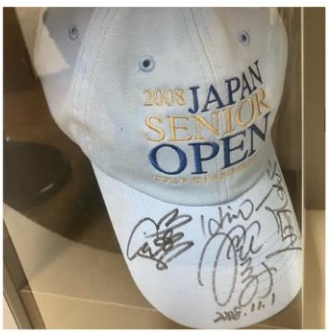
コレクションの風景画

自分で撮影した
白黒の富士山

自作のステンド
グラスのランプ

バイク模型が壁いっぱい、
俺が死んだら好きに選んで・・・

「何でも鑑定団」にも
出た患者さんコレクション



ゴルフ日本オープンの
サイン入りキャップ

今、ここに至るまで。（前号から）

小中時代の記憶に残る夏の思い出はキャンプである。中でも阿蘇湯の谷、南阿蘇久木野、天草の小島が鮮明に残る。阿蘇観光ホテルという赤い屋根のホテルがあった。そのすぐ横の低い斜面にキャンプ場が広がっていた。飯ゴウでご飯を炊き、缶詰、カレー、豚汁などを大鍋で造りワイワイ食べた。朝はご飯と味噌汁、佃煮、海苔…、昼はソーメンやお握りが多かった。2泊、3泊の時には献立を考えてなるべく荷物が重くならないように買い揃えた。あの頃はカップ麺もレトルトカレーもなく、缶詰も缶切りが必要だった。米が一番重かった、帰りのリュックは軽かった。ホテルの前の坂を下るとプールがあった。山の湧き水を使ったプールで超冷たかた。飛び板の飛び込み台があって面白かったが、2mほどのさがあった。昼はプール、阿蘇山の草千里までのハイキング夜はキャンプファイヤー、星も綺麗だった。朝は早くから採集、夜も大きな白い布を広げ、後ろから懐中電灯を数本照らと虫が集まった。草千里までのハイキングは夏目漱石が熊本居た時代に登ったとされる道だと思う。その道の途中には煙立ち上り硫黄の臭いがする岩場があった。その頃は立派なホテルには泊まったことはないが、両親はこのホテルの温泉と事が好きでよく来ていたらしい。大人になって一度両親と来記憶もある。最近このホテルの話が出ないので調べてみた。昭和14年7月政府資金融資を受けて本格な洋式ホテルとして開業した。戦後は米軍の保養施設として利用されたらしくゴルフ場やビリヤード・プールやクレー射撃場も造られた。（それで、ゴルフ場や深いプールがあったんだ。）昭和32には昭和天皇が熊本行幸の際に阿蘇に立ち寄られ、泊まられている。大変に気いられ、その後２度熊本を訪問された時も泊まられている。昭和39年には火災で本館3500平米が全焼したが、1年後に復旧し営業再開している。しかし、その後の営業不振で平成12年2月に60年の歴史に幕が下ろされた。跡地には本館（洋館）が当時のまま残され廃墟となっている。平成17年にはその廃墟で映画「輪廻」のロケが行われた。今では心霊スポットとして有名らしい。

写真:廃墟写真ブログ -Ruin's Cat-

南阿蘇久木野のキャンプ場は白川水源（サントリーの天然水で有名）の近くにあり、綺麗な小川の畔にあり、その水で米を炊いた。夜は蛍が舞い、星も綺麗だった。天草の小島でのキャンプは無人島のため港から船で渡してもらった。自治体の施設があり、井戸だけはあった。砂浜でのテント設営には苦労した。食料が不足し対岸までの２００m程を泳いで渡った、怖かった。

当院での看取り患者数

4,276名　～2022年8月7日（累計）
（がん3,342名・非がん934名）

看取り・入院報告（8/1～8/7）

86歳	女性・胆管癌	在宅療養期間	６日
81歳	男性・骨髄異形成症候群	在宅療養期間	３日
81歳	男性・腎盂癌	在宅療養期間	１４０日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長

火：東京コロナ診療（オンライン）当番
水：面談担当
　　TMA未来医療会議検討委員会
金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

お知らせ

以降の8月は夏休みで休刊します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
8月1日
Vol.22

今週のトピックス

YAYOI KUSAMA MUSEUMを訪ねて

7月23•24日の土日は神戸で開催されている日本在宅医療連合学会に参加予定だった。常勤医と家族も連れての参加の予定で、往復の新幹線、ホテル、会食の店も予約していた。コロナ感染症の爆発的増加、周辺にも感染者が増え、団体での参加を中止することにした。国の油断、自治体の油断、医療者の油断、国民一人一人の油断が大きいと思う。国は経済活動を止める気はないようであったが、それならなぜ、ワクチン接種を強く勧めなかったのか？医療介護従事者への優先的ワクチン接種もなかったのが残念に思う。経済活動止めない、感染者が激増する、国民全員が危機感を抱くまで待っていたようなシナリオ、誰も反対しない濃厚接触者の基準の見直しに見える。ここまで増えたら自分の身は自分で守り、異常気象、戦争余波の物価上昇にも耐え、嵐が過ぎるまで待てということでしょうか？現在の世界的危機は収まらない予感が日に日に強くなる毎日です。私だけしょうか？

この2年ぐらいは土日の予定が無いときには散策しながら歩くことにしている。（本当はゴルフ場を歩きたいが、膝痛、暑い、一人は寂しい）国立近辺、中央線駅周辺、都内の庭園•博物館•美術館を訪ね歩くと、知らない事に出会い、新しい興味も芽生えて一石二鳥である。5月の連休には目白周辺、椿山荘、東京カテドラルマリア大聖堂（丹下健三氏設計）、細川庭園を歩き、早稲田の夏目漱石が最後の9年間を過ごした漱石山房記念館へ向かった、小説のファン、熊本にも関係ある（第五高等学校、現熊本大学で英語教師を務めた）作家のためどうしても訪ねたかった。歩いて数分の所に草間彌生美術館があると知ったが、事前予約制で断念した。そのリベンジに予約をして23日に出かけた。誰もが知る水玉の女王、黄色いカボチャの前衛芸術家である。昭和4年3月22日（現在93歳）松本の種苗業を営む裕福な家に生まれたが、幼い頃から統合失調症を病み、幻覚や幻聴から逃れるため、描き始めたとのことである。同じ文様、水玉をモチーフにした作品が多いのは、耳なし芳一が幽霊から身を守るために全身を経で埋め尽くしたように、幻覚や幻聴の恐怖から身を守るため作品全体を水玉（ドット）で埋め尽くす儀式でもあったとされる。1階からスタートし階段で5階の屋上までが展示スペースになっていた。目玉にも見える、細胞にも見える文様の絵画、赤い軍手が長く繋がる奇妙な作品、多数の黄色い水玉のサボテンが立ち並ぶ作品、赤い水玉が部屋全体を覆いつくす映像作品、屋上には青空に映える色鮮やかなサボテン作品が並んでいた。順路は長い階段を登り、屋上からはEVで降りるのには、高齢者には不向きで少々参った。お目当ての黄色いカボチャは無かったが土産のお菓子の缶に描かれていた。自分の思いを一生貫く、執念の芸術家であると思った。凄い。

緊急報告

長年私を支えてくれた千本木稔博君が退職しました。娘が卓球でオリンピックを目指し長野の高校へ行きたい、それを支援するという理由です。夢を追いかける親子を応援していきたいと思います。

今、ここに至るまで。（前号から）

別府に杉乃井ホテルというがホテルがあった。今は有名になり日本でも有数な温泉ホテルになっている。そこの女将と母親が懇意にしていたらしく、夏休みに兄弟で滞在したこと（させられた？）があった。そこでの思い出はプールだけが記憶にある。行き帰りは母親の運転する車だったと思う。水前寺から阿蘇（標高1592m：ひごくに）まで走り、その先は阿蘇の外輪山（ここから見る阿蘇はお釈迦様が寝ている姿で有名）から九州山脈の平らな部分を九重まで続く、やまなみハイウェイを走る、その先は久住高原の道路を由布岳まで走り抜け、そこからは別府まで下りとなる。景色は最高の道路である。（途中の阿蘇の草原には春に山菜を採りに何度も行った記憶が今も鮮明に残る。朝早くお弁当持参で出発し昼前に到着、大きなビニール袋一杯になるまで採った。お昼は草原の日陰を捜し、持ってきたお握り、お重に入ったおかずを広げて皆で食べた。終わると暫くお昼寝をして、袋一杯になるまで再び採った。3時頃には帰路につき、時間に余裕がある時には温泉に寄って帰った。）このホテルには長く居たが食事、温泉、部屋の様子の記憶はまったく無い。覚えているのはプールで一日中泳いでいたことである。夕方になると隅から隅まで潜って底にある落とし物（指輪、コイン、鍵、ネックレス…）すべて取るまで止めなかった。帰路の途中でいつも湯布院にある遊園地に寄った。日本初の巨大な木製コースターが有名だった。長―い周回道路のゴーカートも楽しみだった。夏休みに勉強していた記憶はまったく残っていない、多分嫌々片付けていたと思う。

当院での看取り患者数

4,273名　～2022年7月31日（累計）
（がん3,339名・非がん934名）

看取り・入院報告（7/25～7/31）

62歳　女性・乳癌
68歳　男性・胃癌
59歳　男性・膵臓癌
84歳　女性・膵頭部癌
80歳　男性・膵癌

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医活動
木：面談担当

荘司 院長

月：立川市ワクチン接種委員会
火：東京都オンライン診療執務
水：面談担当
金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

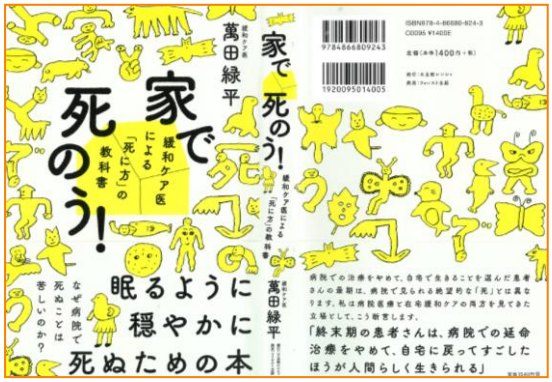
TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
7月25日
Vol.21

今週のトピックス

「家で死のう！」萬田緑平著



萬田先生は私の尊敬する小笠原一夫先生の「緩和ケア診療所・いっぽ」で経験を積まれた先生です。今は自分で診療所を開業され、お一人で奮闘されています。先日百貨店の本屋を覗いた時に目に留まり、即、購入しました。在宅緩和ケアに従事する医師、看護師は殆ど同じ境地に達します。冒頭の部分をニュースレターで紹介したいと思い、お電話しました。快く承諾いただきましたのでご紹介したいと思います。

“ 私は病院医療と在宅緩和ケアの両方を見てきた立場として、こう断言します。「終末期の患者さんは、病院での延命治療をやめて、自宅に戻ってすごしたほうが人間らしく生きられる」と。病院の医師は、人間の死がこんなにも穏やかなものだとは知りません。病院が当たり前に行なっている治療をやめて、上手に支援すれば、多くの人が苦痛から解放されて、最期のときまで穏やかに生き抜くことができるのです。人は誰もが死にます。だんだん元気がなくなり、だんだん食事がとれなくなり、だんだん歩けなくなり、寝ている時間が長くなります。そのうち水も飲まなくなり、トイレにも行かなくなります。そして、深い眠りに入って意識がなくなると、ついには呼吸が弱くなり、とうとう呼吸が止まります。それと同時に、心臓が止まる。これが、人が死ぬということです。その人の病状や残された体力によって、この経過が1日でくる人もいれば、数年かけて訪れる人もいます。基本的には、そこに悶え苦しむような体の苦痛はありません。以前の私もそうでしたが、病院の医師はこのことを知りません。病院には治療の末に亡くなる患者さんしかいないからです。病院では死なないように懸命に治療した結果、患者さんは必ず亡くなっていきます。だから、治療するほうも治療されるほうも、精神的にもつらい。穏やかな死とは、飛行機がゆっくりとソフトランディングしていくようなイメージです。経年劣化によってエンジンや翼はボロボロになってしまったけれど（歳をとって体中病気だらけだけど）、無理して燃料を詰め込まず（無理して食事や水分をとらず）、機体が骨組みだけになっても（ガリガリに痩せても）、死という運命に抗わずに、ゆったりと自分のペースで飛び続け、いつのまにか着陸している。そんなイメージです。低空飛行となってゆっくりと着陸すれば、死は決してつらくありません。そして、このような穏やかな死を迎える場として、自宅ほどふさわしい場所はありません。今の日本において、病院で穏やかに死ぬことは簡単ではないからです。” 時期が来たら、立川での講演をお願いしました。

道中グルメ情報

クリニックの最寄り駅、多摩都市モノレール玉川上水駅北口から徒歩3分。東大和市桜が丘にある「木曾路東大和店」です。日本料理と和牛しゃぶしゃぶ、すきやきの専門店。駐車場も完備しています。プチ贅沢な気分に浸れるランチがおすすめの店です。

木曾路東大和店　東京都東大和市桜が丘2丁目247-1 ☎042-567-6081　　木曽(きそ)　1500円

今、ここに至るまで。（前号から）

富岡は天草下島の北西の突端に角のように張り出している。内海と外海に面している、内海は有明海の入り口、沖には島原半島が見え、今この一帯は雲仙天草国立公園になっている。有明海と同じに潮が1㎞程引き、広大な干潟は子供にとっての絶好な遊び場となった。干潮の間は毎日遊びのメニューが違った。穴が無数に開いている海藻がある砂地の場所では、二人で組になり蝦蛄（ｼｬｺ）を獲った。一人が踵で穴を勢いよく押すと少し離れた穴から海水が吹きあがる。それを続け蝦蛄が穴から出てくるところを素早く獲るという作戦だった。綺麗な砂地の場所には鎌と塩を用意して出かけ、砂地を鎌で切るように平らにすると、小さな穴が出てくる、そこに塩を一つまみ落とす、するとマテ貝が一瞬顔を出す。それを指で捕らえて穴から出す作戦だった。慣れるまで微妙なタイミングが難しかった。外海は東シナ海に面し荒海でいきなり深くなる。海水浴には不向きな場所だった。天草の西側沿岸は夕陽の名所でもあり、数多くのスポットがあることでも有名になっている。ここは昔からふか狩りの盛んな場所で、外海の海岸にふかの頭が100以上並んだ光景を見ていた。今はその光景は見られないが、まだ風習は続いているようである。少し離れた岩場の浅瀬には、ムラサキウニがそこら中に無数にいた。少し潜るとサザエやアワビが子供にも獲れた。岩場の隙間にはタコも隠れていた。獲った獲物はすべて夕飯のおかずになった。もう一つの遊び場は寺の境内だった。夏の午後にはクマゼミの大合唱が聞こえていた。竹竿を切り出し、2本を結んで長くし、先端に取り餅をつけ、木に登り、大物を狙って数を競った。日が暮れるまで漁師の子供たちと一緒に遊んだ。夜は家の前や、海岸で花火をやったり、盆踊りの稽古に参加した。大行事にも参加した、内海の湾一周の遠泳である。海パンの上に赤いさらしの長いふんどしを巻き（サメ避け）、海岸から一斉に海に飛び込む。近くの水産学校の生徒がカッターを漕いで見守ってくれ、疲れたり、溺れそうになると船に引き上げてくれた。熊本に戻った時には漁師の子供以上に真っ黒だった。

当院での看取り患者数

4,251名　～2022年7月24日（累計）
（がん3,306名・非がん945名）

看取り・入院報告（7/19～7/24）
51歳男性・膵尾部癌
89歳男性・前立腺癌
67歳男性・胸腺原発進行大細胞神経内分泌癌
67歳男性・膵癌
92歳男性・悪性リンパ腫
86歳女性・進行胃癌

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医活動
木：面談担当
土・日：第4回日本在宅医療連合学会大会(Zoom)

荘司 院長

火：立川市医師会折衝小委員会
　　立川酸素ステーション・定例ミーティング
水：面談担当
　　小・学・公対策委員会
木：地域ケア・リハビリ部会
金：面談担当
土・日：第4回日本在宅医療連合学会大会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年7月19日 Vol.20

今週のトピックス

在宅緩和ケアでの「せん妄」対応

【考え方】

せん妄に対する考え方には病院と在宅では違いがある。病院はせん妄を疾患として診るが、在宅では自然現象「お迎え現象」と解釈している実践者も多い。「終末期せん妄」は終末期の死亡直前におこる患者の意識変容Near Death Awarenessのことであり、文化的には世界各国では病気ではなく、亡くなる過程の正常な生理的現象「あの世にむかっている現象」とも解釈されている。日本では在宅ホスピスケアを実践していた岡部健先生（故人）が、この現象に関して大規模な調査を行い「お迎え」体験として報告している。在宅では「治療抵抗性せん妄」は少ないが知識・対処法は必要である。

【代表的な症状】

1）ぼんやりしていたり、もうろうとしている。 2）言うことのつじつまが合わず、おかしなことを訴える。 3）物忘れがひどく、ぼけたように見える。 4）夜眠らずに興奮したり、昼夜逆転になっている。 5）症状が変動しやすく、夜間に不安定になることが多い。 6）点滴やチューブを自分で抜いてしまったり安静が保てない

【状態の把握・アセスメント】

せん妄の評価にはConfusion Assessment Method（CAM）が推奨されている。
① 急性発症で変化する経過 ② 注意力散漫 ③ 支離滅裂な思考 ④ 意識レベルの変化の4項目で構成され、
① ②を必須としかつ ③または ④を満たせばせん妄と診断する。

【治療の実際】

一手目：（夜間不穏時服用）リスパダール液0.5㎎1包 or セレネース0.75㎎錠1錠 or セロクエル25㎎錠1錠（糖尿病には禁忌）or ジプレキサ2.5㎎錠1錠（糖尿病には禁忌）を夜間不穏時服用する。1時間後に評価し徐々に初期投与量の4倍程度まで増量する。パーキンソン症候群、アカシジア、悪性症候群に注意が必要である。

二手目：（眠前定時内服）リスパダール液0.5～2㎎1包 or セレネース0.75～3㎎1錠 or セロクエル25㎎～100㎎1錠（糖尿病には禁忌）or ジプレキサ2.5㎎～10㎎1錠（糖尿病には禁忌）を眠前定時内服する。

三手目：（コントロール不良の場合に追加使用）セニラン坐薬3㎎1個 or ダイアップ坐薬6㎎1個 or ワコビタール坐薬100㎎1個を追加使用する。

四手目：（内服困難や坐薬困難の場合）ドルミカム0.5～1㎎/時で持続皮下投与または静脈内投与を開始する。苦痛緩和を評価、不十分の場合は持続投与量を30～50%程度増量する。

五手目：（治療抵抗性の非常に強いせん妄）ドルミカム3～5㎎/時で持続皮下投与または静脈内投与を開始する。効果不十分の場合は持続投与量を30～50%程度増量する。深い鎮静を指標としてコミュニケーションが取れなくなっても、苦痛を確実に取り除くことが患者の利益になる。
ちなみに、当院での在宅看取り4241人で五手目の経験は1例も無い。

【主たる介護者への助言】

事前説明、死が近づいた時期の再説明が最も重要である。「病気や入院による環境の変化などで 脳がうまく働かなくなり、興奮して、話す言葉やふるまいに一時的に混乱が見られる状態です」「人の区別がつかなかったり、無いものが見えたり、無い音が聞えたりすることがあります」「ぼんやりしているかと思うと急に感情を高ぶらせることもあります」「一時的な強い寝ぼけのようなもの」と説明し遭遇しても慌てないように伝えておく。

今、ここに至るまで。（前号から）

顧問の先生がボーイスカウトや自衛隊のキャンプにも連れて行ってくれた。キャンプの帰り、阿蘇外輪山の峰の砂利道を走っていた時トラックとすれ違った、避けすぎて道脇の草叢から転落、幸い2m程下に段差があり、そこも草叢だったので助かった。阿蘇山には何度も全てのルートから自転車で登った。下山の時にはブレーキのゴムが毎回焼けてその後が大変だった。夏休みの思い出では、父母とも忙しく、長期で天草・別府・阿蘇など過ごしたことも覚えている。小学生の夏には天草の富岡で1ヵ月近く何度も過ごした。祖母の実家があった、大きな家だった、元は網元だったと聞いた。あの頃はまだ天草の島々に橋が架かっていなかった。その後、五つの島に橋が架かり天草五橋と有名になった。富岡までは一日がかり、朝早く熊本駅まで市電に乗り、熊本駅から鹿児島本線経由で宇土半島を走る三角線で終点まで汽車に乗る。三角港から船に乗り換え1時間半ほど揺られ、天草下島の本渡港に着く頃にはお昼を過ぎていた。そこからは陸路をボンネットバスに乗り、舗装されていない山道の峠をいくつも超えて、終点の富岡バス停に到着する時には、すでに夕方になっていた。親戚の家は漁師町の中央、突き当たりには大きな寺があった。裏手は石垣になっており外の階段を降りると砂地の海岸だった。土間から続く石垣の手前に井戸があった、釣瓶で汲む井戸と手漕ぎポンプの二つあった。左手に木造の小屋があり、そこには大きな五右衛門風呂があった。炊事をやっていた様子を覚えていないが、土間には薪で炊く釜戸が複数あった気がする。もちろん五右衛門風呂は薪で沸かしていた。夜は広い畳部屋に布団を敷き、大きな蚊帳を張って蚊取り線香まで焚いて寝た。この場面は大人になっても脳裏に焼き付いている。漁師町の朝は早い、6時前には起こされ石垣の階段を降り、砂地の海岸でアサリを採るのが子供たちの仕事だった。それが面白いほど沢山、直ぐに採れた。

当院での看取り患者数

4,245名　～2022年7月18日（累計）
（がん3,300名・非がん945名）

看取り・入院報告（7/11～7/18）

90歳男性・左大腿悪性軟部腫瘍
60歳女性・乳癌：誕生日、孫と共にお祝い。
78歳男性・間質性肺炎：介護勉強中の孫が大活躍
90歳女性・胃癌

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
　日本ホスピス緩和ケア協会 幹事会
木：面談担当
土：日本ホスピス緩和ケア協会 総会
日：日本在宅ケア・サミット2022

荘司 院長

日：日本在宅医療連合学会 専門医試験面接官
火：日本在宅医療連合学会 Web会議
　日本在宅医療連合学会 都支部会会議
水：面談担当
金：面談担当・オンコール対応

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター
Tachikawa Zaitakucare Clinic
2022年7月11日 Vol.19

今週のトピックス

在宅緩和ケアにおける鎮静

在宅での「持続的深い鎮静」の場面は病院に比べ少ない。その理由は、病院は非日常の場、ストレスの多い空間であるが、在宅は日常の場、ストレスの少ない空間である、と思う在宅医が多い。しかし、遭遇することは少ないものの「持続的深い鎮静」の知識は重要である。

「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き2018年版」で鎮静の考え方が大きく変わった。**「持続的深い鎮静」**と**「安楽死」**との違いに議論が多くあったからである。

定義も変わり、**「鎮静」とは「治療抵抗性の苦痛を緩和することを目的として、鎮静薬を投与すること」と定義**され**「鎮静薬」とは、「一般的には中枢神経系に作用し興奮を鎮静する薬物」と定義され、「日本の実臨床で使用されている頻度の高い薬剤」を鎮静薬と定義**された。具体的にはベンゾジアゼピン系麻酔導入薬：ドルミカム。ベンゾジアゼピン系睡眠薬：サイレース・ダイアップ・セニラン。 バルビツール系睡眠薬：フェノバール・ワコビタールである。オピオイドと抗精神病薬は鎮静薬には含めないとされた。

鎮静薬の投与方法により**「間欠的鎮静」**と**「持続的鎮静」**に大きく分けられ、持続的鎮静はさらに**「調節的鎮静」**と**「持続的深い鎮静」**に区別された。

【間欠的鎮静】目的は、一定期間の患者の意識の低下による**就眠**、対象はせん妄や呼吸困難、痛み（間欠的に苦痛が強い場合）である。

一手目：セニラン坐薬1.5～3㎎1個orダイアップ坐薬4～6㎎1個orワコビタール坐薬50～200㎎1個を頓用で使用する。

二手目：ドルミカムを0.5～1㎎/時で持続皮下 or 静脈内投与する。

【調節型鎮静】目的は、耐えられる程度になるまでの苦痛の緩和で、対象はせん妄や呼吸困難、痛み（持続的に苦痛が強い場合）である。

一手目：ドルミカムを0.5～1㎎/時で持続皮下or静脈内投与を開始する。

【持続的深い鎮静】目的はこの鎮静でなければ患者が十分に緩和されない場合だけである。対象は、致死性の消化管穿孔・肝出血など鎮痛剤が無効な非常に強い痛み、窒息・気道出血など非常に強い呼吸困難、すでに間欠的鎮静や調節型鎮静が試みられたが十分に緩和しないまたは緩和しないことが予想される**非常に強いせん妄・呼吸困難**などである。

一手目：ドルミカムを3～5㎎/時で持続皮下または静脈内投与を開始し、評価・調整する。

ちなみに、ドルミカム3～5㎎/時とは72～120mg/日であり、当院の在宅看取り4241人中に持続的深い鎮静は1例も無い。全て間欠的鎮静と調節的鎮静で対応できている。

【制度面の知識】「終末期患者の治療抵抗性の苦痛に対して継続した評価を行いながら鎮静薬を投与することは、苦痛緩和を目的として、医学的に相当な手段で患者の意思を反映して実施された場合、仮に生命予後の短縮を引き起こすことが想定されたとしても、刑法上、自殺幇助罪や殺人罪として違法であると評価されることはないと考えられる。」問題が生じるとすれば、精神的苦痛に対する持続的で深い鎮静などで、死期がまだ迫っていないと考えられる場合である。

今、ここに至るまで。（前号から）

私のこれまでの人生を振り返ると、熊本で幼児期、小児期、思春期を過ごした時代、熊本を離れてからの日大時代、浪人時代、医学部時代、麻酔医時代、在宅緩和医時代に分けられる。小学校高学年の頃から高校卒業するまでを振り返ってみたい。決定的に変わったのは、小５の頃に赤いドロップハンドル10段ギアの自転車を買って貰った時からである。行動範囲が九州全域になった。目的はサイクリング・キャンプ・ＳＬ写真ツーリングだった。今考えると無謀な行動が多かったかもしれない。最初の頃は近くを走り廻っていたが、次第に熊本市内全域、郊外にも出かけていた。同級生の新聞配達の手伝い、自転車に磁石を結び砂利道を走り廻ると砂鉄が付いてきた、水前寺公園から続く川の石壁の隙間に居る鰻取り、水前寺公園の池で餌の小海老を取り下流の江津湖まで走って手長海老釣りの思い出が蘇る。強烈な思い出は江津湖で釣りをしていた時パンパンに膨らんだ土座衛門を発見したことである。その頃、その周辺はゴミ捨て場が近くにあり臭かったので、異臭で気が付かなかった。手長海老の釣りは10数本の竹に餌をつけ1～2m間隔で葦をかき分けて並べて置く、友人と二人広範囲で仕掛けている時に発見した。大急ぎで近くの民家で電話を借りて110番に連絡、現場に戻り、暫くするとサイレンが聞こえてきた。その後のことは全く覚えていない。

中学生になるとサイクリングと写真に夢中になったサイクリング楽しむ団体に加入。毎週のように日帰りで阿蘇・天草・菊池渓谷など目的地を決めて集団で隊列を組んで走った。それだけではもの足らず夏休みには友人とキャンプ道具を積んで泊りで出かけた。私はボーイスカウトには所属していなかったが中学に入ると友人とレクレーション部という楽しく遊ぶ同好会を立ち上げた、顧問に技術工作の先生がなってくれた。この人がボーイスカウトの指導者で様々なことを教えてくれた。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,241名　～2022年7月10日（累計）
（がん3,297名・非がん944名）

看取り・入院報告（7/4～7/10）

70歳男性・肝癌：ホスピス入院前日に自宅で看取り
78歳男性・食道癌：婿が準備したTｼｬﾂﾞﾎﾞﾝで旅立つ
87歳男性：間質性肺炎：訪問開始時、不安もあったが
妻・息子で最期まで自宅で看取る
85歳女性：S状結腸癌・最期は自宅で多くの親族・
友人と会えた。感謝。
66歳女性：乳癌・お気に入りのｸﾞﾘｰﾝﾜﾝﾋﾟｰｽで旅立つ
95歳女性：心不全：娘・息子最期まで看取るも
「限界だった」

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長

月：酸素ｽﾃｰｼｮﾝ打合せ
水：面談担当
東京都医師会会議
木：東京都医師会会議
金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

阿蘇山 米塚

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

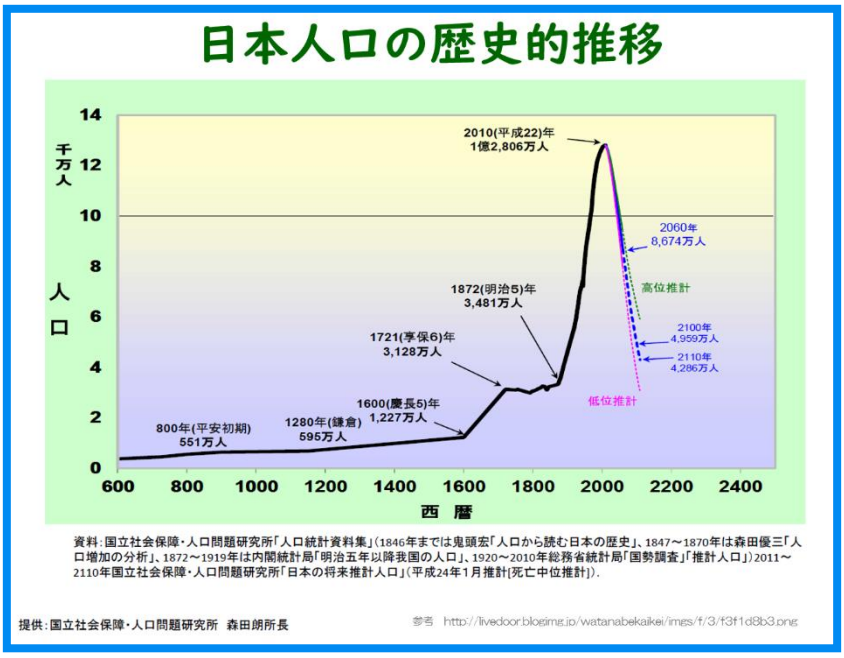
Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
7月4日
Vol.18

今週のトピックス

櫻井よしこ氏講演会～激動する世界と日本の進路～

2022年6月22日たましん経営者研究会主催の櫻井よしこ氏講演会が開催された。相変わらずストレートで辛口の話だったが、知識と行動に裏打ちされた話で得る事も多かった。まず、冒頭で現在の日本は有事の真っ只中だと言われた。私もそう思っているが、現実的な脅威が迫っているロシア・中国の話だった。これには納得した。私の祖父母・母は満州から、終戦したにも関わらず攻め込んできたソ連に追われて引き上げてきたからである。ロシア大使との対談では、すべて嘘を並べて話すことに反論し数時間のバトルだったと苦笑いされていた。ウクライナ大使との対談では、ロシアは中国の大きな倉庫になると冷静に話されていた、ロシアには産業がない、有るのは世界一の資源だけ、この戦争で原油を買ってくれる国が無く、中国が40%を安値で買っている、戦争後には中国の大きな倉庫になると分析されていたらしい。ポーランド大使との対談では、ポーランドの人口は約3700万人だが300万人を超えるウクライナ難民を受け入れている。施設は造っていない、全て国民が自分の家に受け入れている、政府はＩＤを発行し、医療・教育・食費・交通は無料、衣服は供給している。我々がここまで行うのは、どれだけロシアに酷い目にあってきたからであり、歴史を見れば分る。同じ状況にあるのが日本、核を保有するロシア・中国・北朝鮮と対峙している。米国は遠い、極超音速ミサイル（マッハ5以上で飛翔し、変則軌道、レーダー探知不能で迎撃困難）を持つのはロシア・中国・北朝鮮、米国は開発に出遅れ、日本は蚊帳の外の状態にある。日本の継戦能力（有事の際、組織的な戦いを継続できる能力であり、特に侵略を独力排除することが困難な場合には、米軍の来援まで持久しなければならない、わが国には極めて重要である）は元幕僚長との対談で数日と聞いていると話されていた。唯々、驚くばかりであった。私の考える有事は、今の仕事もあるが、多死時代が続くと人口が減り続け2100年には5000万人を切ることである。最大の地球規模の有事は温暖化である。地球にとっての最大の敵は人類である。自然淘汰が始まっているのかもしれない。100年後の日本はあるのか？ 今、我々は何をすべきなのか？「ボーっと生きてんじゃねーよ！」という声が聞こえてくる。



今、ここに至るまで。（前号から）

１階の一番奥には広い２０畳以上の板張りの居間、父母の寝室、自宅の玄関があった。居間では月末から月初めにかけて、家族、従業員総出の保険請求の整理が仕事の後に行われた。その頃のカルテ、受付記録、毎日の会計、調剤記録などはすべて手書き、父のドイツ語の小さな文字の病名と点数を照合し確認し保険請求の用紙に書き込んでいく作業である。父の字はホントに小さくギッシリと書き込まれていた、慣れないと解読できなかった。長いテーブルに6～8人の流れ作業で進んでいった。最終日には皆で打ち上げの食事会をやった。母は幼い頃から運動神経が秀でていた、満州時代はスピードスケートのチャンピオン、水泳は天草の富岡で沖にみえる島まで泳いで往復した、ママさんバレーでも活躍していた、ボーリングはシニアの熊本代表だった。その母が日本舞踊に目覚め、3年程で藤間流の名取になり、藤間流の九州師範が熊本に教えに来る時の稽古場になった。麻雀の場にもなり夜な夜な何処からかメンバーが集まっていた、最初の頃は炬燵の台の裏で座って打っていたが、暫くすると椅子に座る麻雀台になり更には電動麻雀台に進化していった。新年会 暑気払い 忘年会など様々な宴会に使った。いつも20人近くが集まった、決まって振る舞われるのはすき焼だった、父がこの時ばかりと仕切っていた。あの頃は大らかで、父が小学校のＰＴＡの会長をしていた時には役員や先生が宴会をしていた、私の担任も居た時には吃驚した。一番奥の外には小さい車庫があり最初の車はトヨタのパブリカ、2台目は日野コンテッサ、前がトランク？3台目は日産ブルーバードだったと思う。そこから中庭に出ることが出来た。ここに私の愛車、赤いドロップハンドルの10変速自転車を停めていた。この自転車が人生を大きく変えることになる。２階の病室の前に階段があり、屋根に造った6畳ほどの物干し台があり昼は洗濯物が棚引いていた。夏の夜は花火を、冬の夜は星を楽しんだ。考え抜かれた間取りだと思う。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,235名　～2022年7月3日（累計）
（がん3,293名・非がん942名）

看取り・入院報告（6/27～7/3）

76歳男性・咽頭癌：ホスピス間に合わなかったが
最期まで自宅で看れて良かった（妻）
74歳女性・胃癌：診療日数3日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
火：在宅緩和ｹｱ委員（Zoom）
水：産業医活動　2ヶ所
木：面談担当

荘司 院長

月：ｺﾛﾅｳｸﾁﾝ外来接種
火：ｺﾛﾅｳｸﾁﾝ外来接種
水：面談担当
　　ｺﾛﾅｳｸﾁﾝ外来接種
金：面談担当
　　ｺﾛﾅｳｸﾁﾝ外来接種

道中グルメ情報

桐生庵

最近、井尾先生が発見した蕎麦屋店主こだわりの北海道・茨木・福島産のそば粉を使用。「今まで食べた中でもレベル高い」（井尾）
あきる野市油平125-10
圏央道あきる野インター近く

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

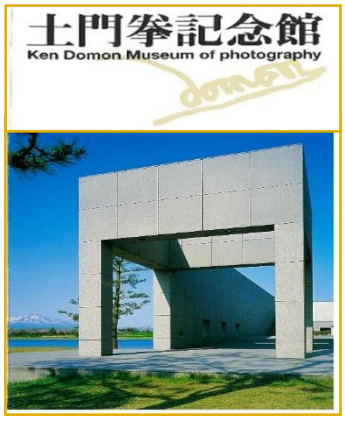
Tachikawa Zaitakucare Clinic

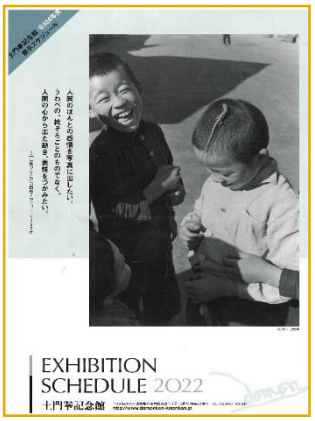
2022年
6月27日
Vol.17

今週のトピックス

衝撃を受けた二人の写真家～ユージン・スミス＆土門拳～

先日 山形の酒田にある土門拳記念館を訪ねた。私が熊本で過ごし写真を撮り始め、九州中のＳＬを追いかけ、自転車で旅していた時、この二人の写真に衝撃を受け、日大芸術学部写真学科に進む決心をした。一人目は ユージン・スミス 母親が水俣病に侵された娘を風呂に入れる場面の写真に衝撃を受けた。その後、この写真は封印され世に出なかった。昨年、ジョニーデップ主演の映画「MINAMATA」で再び脚光を浴びた。私は熊本出身、水俣をよく知っている、父も医師会を通じて関わったと聞いていた。もう一度観てみたい。と先日DVDを購入した。もう一人は日本の戦後を白黒写真で切り取ってきた、酒田出身の写真家 土門拳 である。日常の風景、著名人、女優、ひろしま、寺社、仏像などを撮りまくった作家である。二人とも白黒のコントラストが巧みで衝撃的である。幼かった私には到底出せない焼である。（芸術学部に入って写真への情熱を失い、今があるのは、良い？悪い？）数年前から死ぬ前にどうしても行きたい場所、何度も計画したが、多忙で行けなかった。以前からご指導いただいていて、今は庄内保健所長として活躍されている、蘆野吉和先生にもお会いした。土門拳記念館、加茂クラゲ水族館、鳥海山、日本海に沈む夕日も最高でした。飛行機の大揺れは久しぶりでした。





鳥海山

日本海夕景

今、ここに至るまで。（前号から）

ご飯はガス炊飯器で1升は炊いていたと思う、味噌汁も特大の鍋で作り、熊本独特の麦味噌で濃い目の祖母の味だった、ちなみに熊本（九州？）の醤油は甘めの濃い味で東京に来た時、その薄さに驚いた。正月のお屠蘇も甘めの赤酒で味醂？みたいな酒だった。子供も飲んで美味しかった。朝はテーブルの上に卵がボールに盛られ、漬物、海苔、ご飯の友（ふりかけ）が取り放題だった。炊事は祖母、住み込みのお手伝いさんが中心で行っていた台所の側面は両壁いっぱいに食器棚が造られていた、家族、従業員、入院患者の食器もすべて陶器だった、母が年に2度ほど有田の陶器市に出かけ買い込んでいた、何度か付いて行った記憶がある。流しの横には路地へ出る勝手口があり、兄弟の出入りはここだった、夜もこっそり出入りしていた。病室に上がる階段の下には倉庫があり、食料品、日用品など、あらゆる物がそこに保存されていた。奥には庭に出る小さな扉があり、外にも物置があった。階段の踊り場に部屋を増設し住み込みのお手伝いさんが住んでいた。少し足が不自由だったが働き者の女性だった。踊り場の横に階段があり、上には祖母の畳部屋。初めて自分の部屋を持った、小奇麗に片付いていた、テレビはなく台所の壁に置かれた小型のテレビで夜はいつも時代劇を観ていた、大好きな水戸黄門、大岡越前が多かった。兄弟の部屋は中央を本棚、洋服ダンス、物入で仕切り、机とベットがあった、中央にエアコン、私は奥で窓が2面あった、本は好きだった、最初は父の持つ文学全集を読破し、新しい本も沢山読んだ、一番はまったのは五木寛之、推理小説、ＳＦ、伝記、哲学書も並んでいた。父も母も本を買う、参考書を買うと言うと買ってくれた、自分たちが同じ年頃のとき読めなかったからだと思う。4畳半には検査技師の男性が住んでいた多湖輝の「頭の体操」をよくやった。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,233名　～2022年6月26日（累計）

（がん3,291名・非がん942名）

看取り・入院報告（6/20～6/26）

78歳女性・咽頭癌：最期まで息子の献身的な介護

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当

水：産業医活動
　　経営者研究会
　　定期総会

木：面談担当
　　青梅市立病院
　　Webセミナー

金：癌性疼痛Webｾﾐﾅｰ

荘司 院長

火：酸素ｽﾃｰｼｮﾝ打ち合わせ

水：面談担当
　　都医師会Web会議
　　酸素ｽﾃｰｼｮﾝ打ち合わせ
　　市 介護認定審査会

金：面談担当
　　市医師会理事会

土：酸素ステーション執務

日：酸素ステーション執務

道中グルメ情報

STEAK MAN（ステーキマン）瑞穂店

店名通り 王道アメリカンステーキの店。医師は身体が資本。胃も丈夫でなければ、やっていけません。井尾先生ステーキ300ｇ軽く平らげます。

西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷807-6
新青梅街道沿い ｼﾞｮｲﾌﾙﾎﾝﾀﾞ 近く

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
6月20日
Vol.16

今週のトピックス「せん妄」「お迎え体験」について考える（その一）

「せん妄」

在宅緩和ケアを始めて23年、「せん妄」で苦労した経験は少ない。患者、家族に予め説明する、特に家族には死が近づく場面で再度伝える。「せん妄」という言葉は使わない。そもそも「せん妄」の機序は曖昧で、病院では薬物治療の対象だが、在宅では死が近づいた時の自然現象「お迎え体験」と考えている在宅医も多い。「せん妄」を漢字で書くと「譫妄」と書く、「譫」は“たわ言やうわ（譫）言のようにしゃべる言葉のこと”「妄」は“われを忘れたふるまいをする様子”と説明されている。つまり「譫妄」は“われを忘れて意味不明のことを言い出すこと”を意味する。

説明の時には「病気や入院による環境の変化などで 脳がうまく働かなくなり、興奮して、話す言葉やふるまいに一時的に混乱が見られる状態です」「人の区別が付かなかったり、無いものが見えたり、無い音が聞えたりすることがあります。また、ぼんやりしているかと思うと急に感情を高ぶらせることもあります」と伝える。「一時的な強い寝ぼけのようなもの」と説明する医師もいる。

せん妄（譫 妄）

『譫』
「たわ言やうわ（譫）言のようにとりとめもなくしゃべる言葉」のことです。

『妄』
「われを忘れたふるまいをする様子」のことです。

『譫 妄』
「われを忘れて意味不明のことを言い出すこと」を意味します。

出典：mojinavi.com

「お迎え」体験 ～人は死の直前に何を見るのか～

故岡部健医師は1978年に東北大学医学部を卒業、呼吸器外科医として20年近く活躍されていた。宮城県立がんセンター時代に一人の患者さんが「治らないのなら、家に帰りたい」と訴えた。その意を汲んで自宅に戻したところ、病院では見られない人間的な豊かさの中で患者さんが息を引き取っていきました。手ごたえを得た先生は、自分が担当する約20人の肺がん末期すべて自宅に戻しました。病院に戻ったのは疼痛コントロールがうまくできなかった1割だったそうです。その中に初めて「お迎え」を意識された患者さんがいました。脳転移で視力を失った幼い子供を抱える若い女性でした。往診に来た先生に「おじいさんがお迎えに来ました。でも子供がまだ小さいから嫌です。って追い返しました」と話したそうです。それを単なる幻覚として片づけることはできなかったと言われています。「在宅でのケアを本格的に手掛けるまでに、私は医師として20年近く死を看取ってきたはずであった。しかしその間、私はこのような「お迎え」とそれをめぐる事象を見逃してきた。そこで反省させられたのは、専門的に医療をやってきたことによって、一種の視野狭窄に陥っていたのではないか、ということであった。医師として専門性をもつ必要があるのはいうまでもない。しかし、私は医療の視点でしか死をみておらず、視野狭窄をきたしていたのだと考えられた。つまり、患者や死というものをしっかり観察していたのか、という問いを突き付けられた思いであった。その後、大規模な調査が行われています。（次回続く）

今、ここに至るまで。（前号から）

新しい家での思い出

診療所玄関右側の受付は調剤室も兼ねていた。この頃調剤薬局は存在せず、医療機関で調剤し渡していた。薬が入ったガラス瓶が棚に並んでいた、粉薬が多かった、天秤式の片方に薬、片方に重りを乗せて測った、私も調剤された薬を三角に包む手伝いをした。診察室の父のデスクには両耳まで直接繋がった象牙の聴診器,折り畳み式でマンシェットを巻き、圧を上げる水銀目盛りの血圧計などがあった。中庭に面したコーナーには保管棚、煮沸消毒器などの機材があった、当時はガラス注射器、針を消毒し金属の箱に並べた、春,夏,冬休みの時には煮沸消毒の手伝いをしていた。検査室があり、最初は2階4畳半に住み込みの男性、次には通いの女性の検査技師が務めていた。入院患者に食事のお膳を運ぶ手伝いもしていた。仲良くなり入院部屋で花札トランプ、碁並べで遊んだ。中庭に置かれた卓球台でもピンポンした。色んな患者が入院していた。一番覚えているのは刺青のある患者で、煙草は吸う、抜け出してラーメン食べに行く、常習犯だった、ある夜、父の大声が聞こえた、「今すぐ、出て行かんか！」窓から布団と荷物を投げ出していた。一番奥の個室2室には癌終末期や重症が入院していた、近寄るのが怖かった、臭い、だったと思う、あの頃病院は異臭が漂っていた気がする。階段下の暗室では写真の現像、焼き付け、乾燥など、夜は私が籠る時間が次第に長くなった。母は犬が好きだった、室内にはマルチーズ、ポメラニアンがいた、中庭ではダックスフントを飼っていた、家の中に入りたくて、尻尾をパタパタと地面に打ち付け、毛が無くなり、可哀そうだった。住み込みの看護師は医師会の夜間の看護学校へ通っていた。トイレは水洗になり、風呂場は広くなったが順番はやはり父が最初だった。3人が並べる洗面所があり、その奥に台所、家族、従業員で食事できる8人は座れる大きなテーブルがあり、朝・昼・夕を3食ここで摂った、患者への配膳の準備もこのテーブルだった。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,232名　～2022年6月19日（累計）

（がん3,290名・非がん942名）

看取り・入院報告（6/13～6/19）

85歳女性・大腸癌：紹介元病院に転院
81歳男性・胆管癌：ホスピス転院
85歳女性・大腸癌：前週誕生日美味しそうにｹｰｷ食べる
73歳女性・肺癌：前日まで夫の食事作る
75歳男性・前立腺癌：前日まで食事摂れていた
59歳女性・子宮頸癌：夫息子たち3人で看取る
71歳男性・肺癌：最後に入浴大満足

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：三水市民講演会
　多摩信用金庫
　　府中支店
　産業医活動1事業所
木：面談担当
土：山形庄内保健所所長
　蘆野吉和先生訪問

荘司 院長

月：市医師会ﾜｸﾁﾝ接種委員会
火：市医師会三師会役員会
　　折衝委員会
水：面談担当
　市医師会公衆衛生委員会
木：産業医活動
金：面談担当
　地区医師会連絡協議会
日：都医師会ﾌﾚｲﾙｻﾎﾟｰﾄ研修

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年6月13日 Vol.15

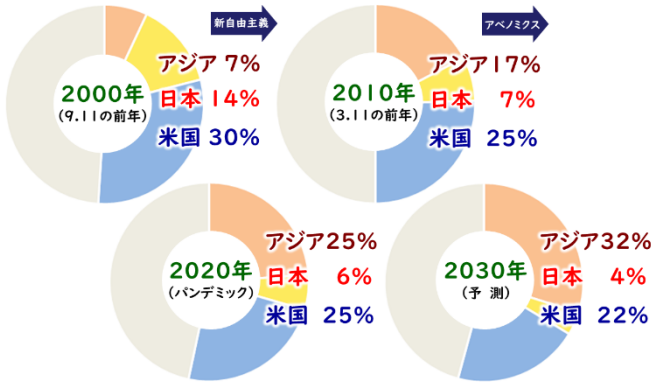
今週のトピックス

どぎゃんすっとね！

2022年5月に寺島実郎氏（経済学者、多摩大学学長、日本総合研究所会長、サンデーモーニングでお馴染）の講演会がたましん新社屋2周年記念として開催された。会場は立川ステージガーデン，内容に興味があった，このホールを見たかった，私はたましんの産業医，ZOOMに飽きたので参加しました。数字で裏打ちされた話で、いくつか収穫がありました。自分でも気になることを調べてみました。日本のGDPは下がり続け、アジアが増え、米国を追い越しました。2019年度の国内食料自給率（カロリーベース）では北海道が216%で3年連続の首位、東京都は0%となったそうです。「G7の食料自給率」でも7国中7位の37%、減っているのはイタリアと日本だけです。「日本の人口推移」の表からは高齢多死社会の先には少人口高齢社会が待っています。「一次エネルギー自給率の他国との比較」でも情けない数字です。「人物金」すべて駄目、これからどぎゃんすっとね！食料とエネルギーの自給率を上げること、人口減少を食い止めること、の政策が2060年頃までに必須です。人口は減りますが、自国で衣（医）食住が賄えれば生き残れるかもしれません。2100年日本の人口は5,972万人、地球温暖化も更に進み、陸地が減っているかもしれません？あの時、アル・ゴアが大統領だったらと悔やまれます。

進む日本の埋没と「アジアの世紀」の現実化

世界のGDPシェアの推移



出典：「寺島実郎の時代認識 資料集」2022年初夏号、IMF、財務省「貿易統計」

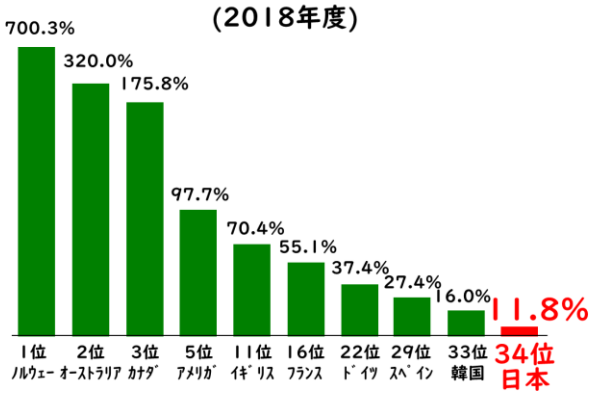
G7の食料自給率の推移

	1965年	1980年	2018年
アメリカ	117%	151%	132%
カナダ	152%	156%	266%
ドイツ	66%	76%	86%
フランス	109%	131%	125%
イタリア	88%	80%	60%
イギリス	45%	65%	65%
日 本	73%	53%	37%

出典：「寺島実郎の時代認識 資料集」2022年初夏号、農林水産省試算等

一次エネルギー自給率の他国との比較

(2018年度)



出典 IEA「World Energy Balances 2019」の2018年推計値、日本のみ資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2018年度確報値。※表内の順位はOECD35カ国中の順位

世界及び日本の総人口の推移

2030年以降は予測

年	1900	1966	2000	2020	2030	2050	2060	2100
世 界	16億	34億	61億	78億	85億	97億	102億	109億
日 本	4385万	1億	1.27億	1.25億	1.19億	1.02億	9284万	5972万
(65歳以上)		6.3%	17.5%	29.0%	31.2%	37.7%	38.1%	41.1%

出典：国連、厚生労働省等の推計
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」
参考：日本の人口が4959万人前後だったのは1911年
3.11による急減：1億2665万人/2012年3月末（▲26.4万人 3年連続減少）
人口推計（2021年10月1日現在）：1億2550万人（前年比▲64.4万人）

今、ここに至るまで。（前号から）

診療所新築

歯科医院跡の診療所には数年居た。小学３年生の頃、バス通りを少し上がった右手、路地との角地の100坪弱の土地が空いた。父はそこに診療所を建てた。玄関を入ると目の前に10人程度が座れる待合室、右側に受付と調剤室、その先の右が診察室のドア、奥の右窓際に父のデスク、横に診察台、中央にも処置台があった。その横の中庭に面した部分に保管棚、煮沸消毒などの機材があった。奥の左側にレントゲン室、右側に検査室があった。今思うと、父一人が機能的に動けるように工夫した配置だ。待合室左側の階段を上がると病室がバス通りと路地に面してＬ字に並んでいた。４人部屋が1室、2人部屋3室、個室2室だったと思う。あの時代のベットは畳が敷いてあり、布団は持ち込みだった。病室奥の個室前に台所に繋がる階段があった1階の待合室左奥にトイレその前にピンクの公衆電話,階段下のスペースは地下を広げ暗室になっていた。右奥のドアを開けると自宅部分に繋がる廊下があり、右側は中庭になっていた。左側には住み込みの看護師の部屋、トイレ、風呂場、洗面所が並んでいた。その奥に台所、家族、従業員で食事できる大きなテーブルがあった。流しの横には路地へ出る勝手口があった。病室に上がる階段の下には倉庫があり、奥には庭に出る小さな扉があった。階段の踊り場に部屋を増設し住み込みのお手伝いさんが住んでいた。踊り場の横に階段があり、上には祖母の部屋、兄弟の部屋、４畳半の部屋があった。１階の一番奥には広い２０畳ほどの板張りの部屋、父母の寝室、自宅の玄関があった。一番奥の外には小さい車庫があった。そこから中庭に出ることが出来た。２階の個室の前に階段があり、屋根に造った６畳ほどの物干し台があった。考え抜かれた間取りだと思う。

この家で高校を卒業し日大芸術学部へ進むまでを過ごした。

当院での看取り患者数

4,227名　～2022年6月12日（累計）

（がん3,285名・非がん942名）

看取り・入院報告（6/6～6/12）

82歳女性・悪性リンパ腫：夫の献身的な介護
「夫に面倒かけたくない・最高に幸せ」

71歳女性・結腸癌：多くの子供孫に囲まれ旅立つ

85歳男性・直腸癌：年は越せないと言われたが桜も見れた

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当

木：面談担当

荘司 院長

月：市医師会五役会

火：市医師会ﾜｸﾁﾝ接種委員会

水：面談担当

金：面談担当

土：都医師会 学校産業医研修会

道中グルメ情報

石臼挽手打蕎麦 伊久佐（いぐさ）

おススメは十割そばと軍鶏丼の親子丼セット。お昼時は混雑します。お早めに。

あきる野市雨間673-4　☎042-558-8590

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞ また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所

立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ

☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
6月6日
Vol.14

今週のトピックス

増え続ける独居世帯、検案数、孤独死！どうするの？

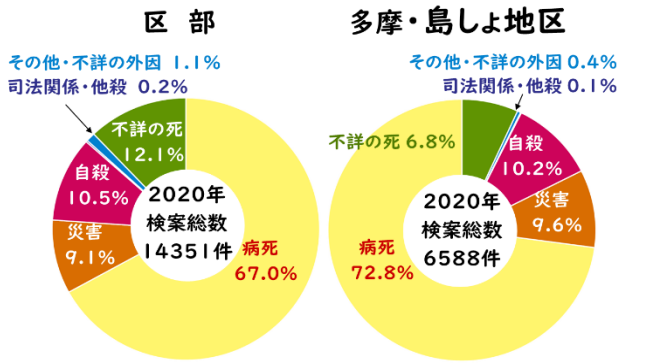
東京は65歳以上の高齢者が増え、独居世帯も増えています。問題は検案数も増えていることです。2020年の東京都全体の検案数2万939件、内訳は区部（23区）1万4351件、多摩・島しょ区6588件です。更なる問題は区部65歳以上独居の検案数5262件の内4238件（80.5%）が自宅死だということです。多摩・島しょ区のデータは出ていません。立川市の自宅死亡の現状は当院で独自調査しました。2014年は自宅死亡288件その内155件（54%）が検案、その内72件が独居でした。2015年は自宅死亡318件その内153件（48%）が検案、その内98件が独居でした。このままでは看取り難民、孤独死が増え続けます。衆院選挙、参院選挙、都議選挙、市議選挙、都知事選挙、区市長選挙、未だにこの問題に取り組む政治家は見当たりません。当院は政治家、医師、弁護士、作家…多くの人を看取りましたが普通の老人です。この問題の実態の把握はできています。問題解決のためには、地域自治体・地域医師会がこの事実を認識し、本腰を入れて、65歳以上の高齢者へのACPの普及を急ぐこと、「地域看取り」のシステムを構築することが求められます。

東京都、多摩、立川市の独居世帯数

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
東京都	総数	3,390,409	3,514,064	3,585,523	3,648,263	3,697,375
	65歳以上	878,629	920,538	966,248	1,036,849	1,129,400
多摩	総数	775,824	797,349	807,274	807,685	798,348
	65歳以上	240,440	256,910	271,521	286,963	303,765
立川	総数	39,170	40,766	41,997	42,790	42,978
	65歳以上	13,017	13,841	14,727	15,704	16,989

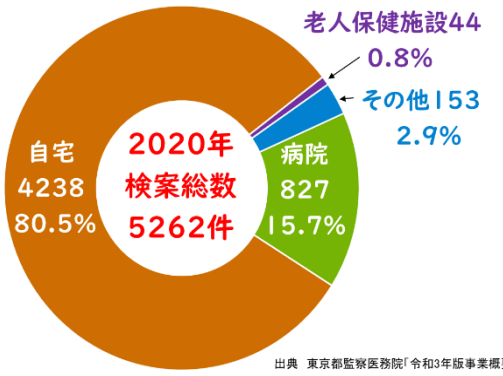
出典　東京都総務局統計部「東京都世帯数の予測」

死因の種類別の割合及び主要死因



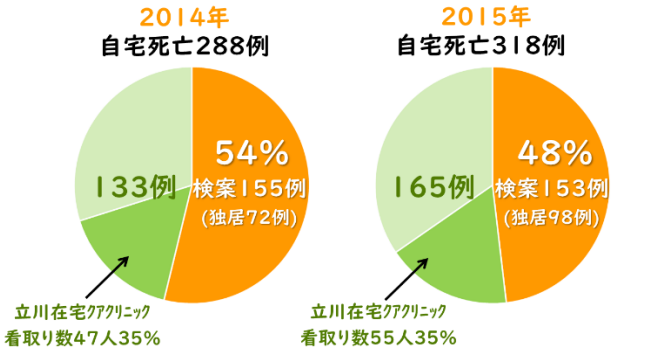
出典　東京都監察医務院「令和3年版統計表及び統計図表」

区部65歳以上の一人暮らしの死亡場所



出典　東京都監察医務院「令和3年版事業概要」

立川市の自宅死亡の現状



出典　厚生労働省人口動態統計、東京都福祉保健局のデータより立川在宅ケアクリニック統計

三水市民講演会（市民講演会）が開催されます。

日　　時：　6月15日（水）13:00～14:30
講　　師：　井尾 和雄　先生
タイトル：「自宅で最期まで過ごす心得」

会　　場：　多摩信用金庫 府中支店（定員40名）
問い合わせ：　立川在宅ケアクリニック
☎　042-537-7066（受付10時～16時）

今、ここに至るまで。（前号から）

登校は近所の同級生と一緒に行った。下校はクラスが違うので一人が多かった。畑の中の道を歩いた。カラカラの土、風が吹くと土地埃で行く手は見えなかった畑の土を蹴飛ばすと矢尻が出てきた、昔の名残？その頃は気に留めなかった、今思えば集めれば良かった？家に帰ると近所の友達と遊んだ、草ボウボウの空き地が沢山あった。今でも思い出すのは秘密基地作りだ。身長より高い草叢で草を結んでトンネルを作り、2～3m奥に子供４人程が座れるスペースを作り遊んだ。銀玉鉄砲、ニービー弾、パチンコ、傘の柄を改良した鉄砲、火薬を巻いた小さな球を投げると爆発した、日が暮れるまで遊んだ。近所の友達が多かった、隣の食品店の子は1歳上、正面の自転車屋の子は3歳上、右斜め前のクリーニング屋の子は同級生、皆男の子だった。自転車屋の右にはお菓子屋があった、シュークリームが美味しかった。その右横には薬局があり、その横にはお婆さんが営む小さなお菓子屋、初めてコカ・コーラを飲んだと思う。その横には路地があり、ずーっと行くと突き当りは幼稚園、弟が通った。路地のすぐ右を入ると右手に公民館、町内会の集まり、剣道の練習をした、左手に床屋があり司法試験を受け続ける店主が頭を刈ってくれた。バス通りを少し上がった左手に貸本屋があった、少年マガジン、少年サンデー、単行マンガ…、兄弟は常連だった、おばさんが最初に貸してくれた。右手には歯科医院、その少し先には外科医院があった。そこで盲腸の手術をした、荒っぽい先生だった（多分軍医だった？）、背髄麻酔が効いて手術が始まり、暫くすると、看護師に「頭をあげてやれ」と指示「かずお！見えるか！これが盲腸だ！」と摘まんで見せてくれた？あとは覚えていない、気が付いたら夜、病室だった、腹が減った、家に帰った、食べたかどうかは覚えていないが、気が付いたらまた病室に寝ていた、痛かった。盲腸にはマクワウリの種があったと母から聞いた。それ以来種は出している。

（次号へ）

当院での看取り患者数

4,227名　～2022年6月5日（累計）
（がん3,285名・非がん942名）

看取り・入院報告（5/30～6/5）

87歳女性・膵癌：夫息子でｴﾝｾﾞﾙｹｱ旅立ちの服を選ぶ
82歳男性・膵癌：長女がﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ白いﾜｲｼｬﾂで旅立つ
81歳男性・肺癌：娘孫ｲﾝﾄﾞﾈｼｱから帰国当日看取り

先週の動向

井尾 理事長

月：癌ドック受診
木：面談担当
金：在宅医療推進のための会
日：ブーゲンビリア主催講演会

荘司 院長

月：面談担当
　日本在宅医療連合学会 地域医療会議
水：面談担当　都医師会 近未来医療会議
木：都医師会 医療情報委員会
金：面談担当　立川市医師会会議

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞ また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

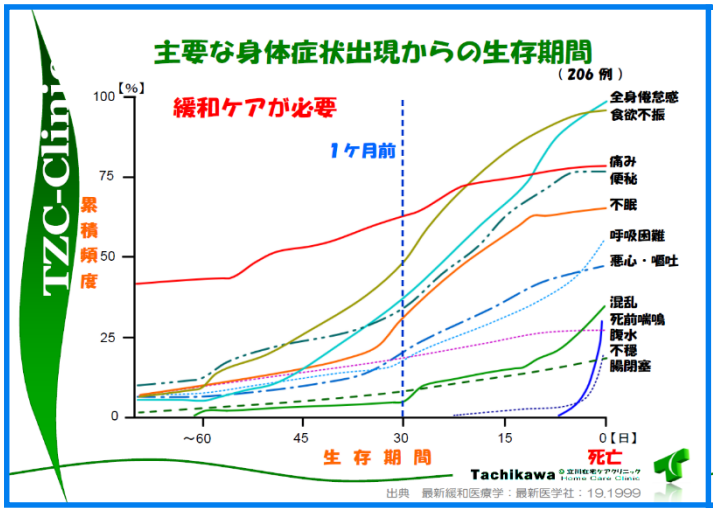
2022年5月30日 Vol.13

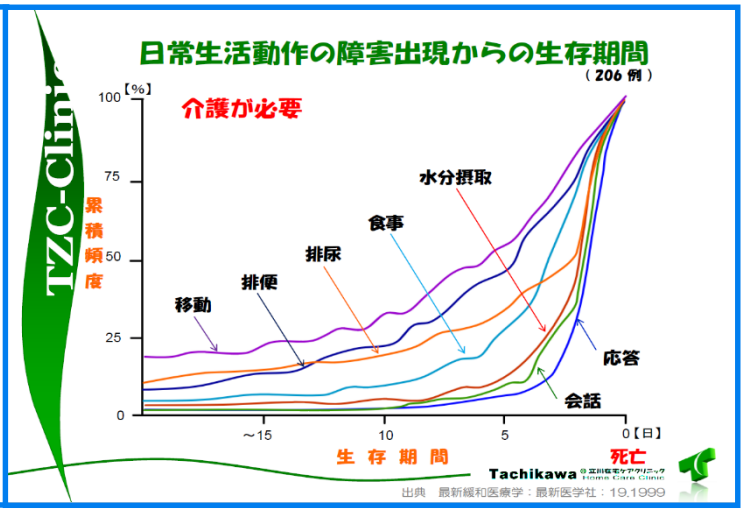
今週のトピックス

現状確認ツールIMADOKO

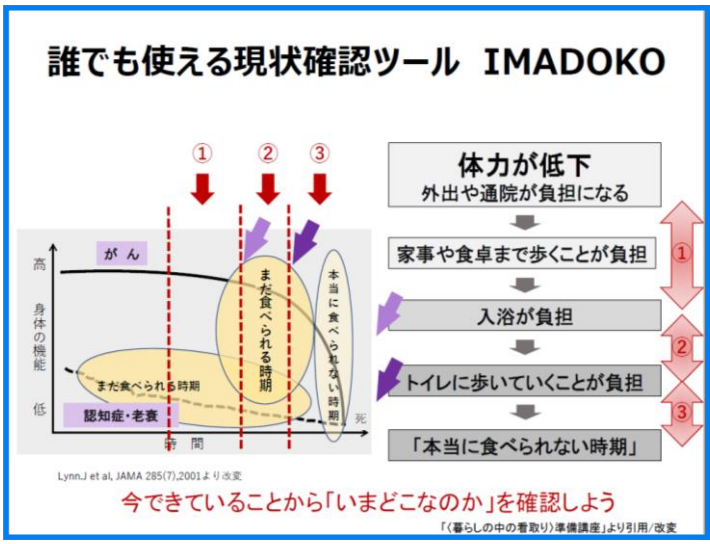
2022年5月18日（木）当院主催の在宅医療多職種連携勉強会「多摩在宅ケアネットワーク」で聖ヨハネ会桜町病院在宅診療部長の大井裕子先生に「現状確認ツールIMADOKO」のご講演をお願いしました。先生の学会発表をYouTubeで見て患者・家族・チーム等にも分かりやすいと、直ぐに先生に電話でお願いし開催に結び付いた次第です。当院でも訪問診療開始前の面談で「最期まで自宅で過ごす心得」を用いて最期の段階で起こる症状をお伝えしています。

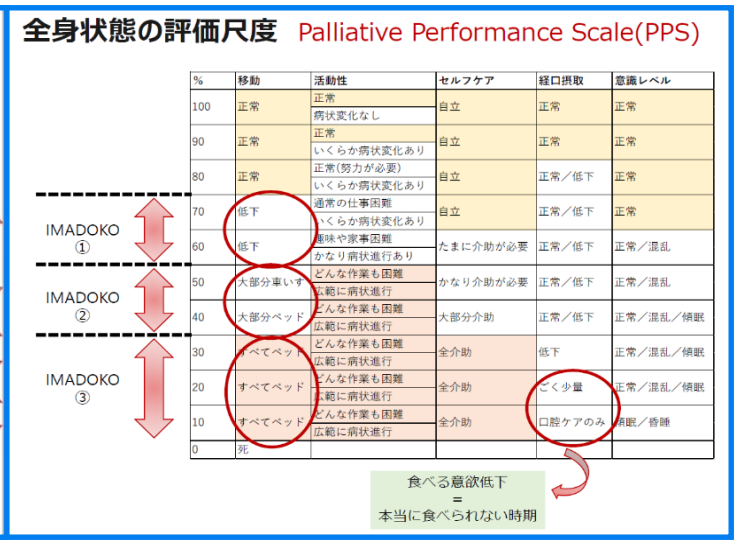
最期まで自宅で過ごす心得（立川在宅ケアクリニック）





誰でも使える現状認識ツール　IMADOKO





%	移動	活動性	セルフケア	経口摂取	意識レベル
100	正常	正常 病状変化なし	自立	正常	正常
90	正常	正常 いくらか病状変化あり	自立	正常	正常
80	正常	正常(努力が必要) いくらか病状変化あり	自立	正常／低下	正常
70	低下	通常の仕事困難 いくらか病状変化あり	自立	正常／低下	正常
60	低下	趣味や家事困難 かなり病状進行あり	たまに介助が必要	正常／低下	正常／混乱
50	大部分車いす	どんな作業も困難 広範に病状進行	かなり介助が必要	正常／低下	正常／混乱
40	大部分ベッド	どんな作業も困難 広範に病状進行	大部分介助	正常／低下	正常／混乱／傾眠
30	すべてベッド	どんな作業も困難 広範に病状進行	全介助	低下	正常／混乱／傾眠
20	すべてベッド	どんな作業も困難 広範に病状進行	全介助	ごく少量	正常／混乱／傾眠
10	すべてベッド	どんな作業も困難 広範に病状進行	全介助	口腔ケアのみ	傾眠／昏睡
0	死				

症状緩和は十分行いますが、人間の最期の段階（動けない・食べられない・眠る）は死の前に起こる自然現象です。受け入れるしかありません。事前に知ることは心に余裕が持てます。在宅緩和ケアチームだけでなく、病院の医療チーム、施設の看護介護チームへも「IMADOKO」を普及させたいものです。今、当院では死期が近くなった患者に緑・赤でマークをしています。今後「今①」「今②」「今③」にしようと思います。

今、ここに至るまで。（前号から）

詳しい間取り記憶は定かではないが、家は中央で二つに分かれ、渡り廊下があった。道路側の1階が診療室2階が数部屋の入院室、裏は台所、風呂場、畳部屋が3室、広めの居間だったと思う。畳部屋の一角の押入れを改良して兄弟の寝床があり上が私、下が弟だった。住居の玄関左側から狭い通路が裏まで続いていた。通路に面にする部屋には廊下があり雨戸があったと思う。便所は廊下の一番奥にあった。この頃は汲み取り式だった、トイレではなく、まさに“便所”だった。定期的にバキュームカーが廻ってきた。便器は大の方は跨ぐタイプ、小の方は丸い朝顔だったと思う。便器の右に箱に入ったチリ紙が置いてあった。手洗いは小さなタイルの桶で下から栓を捻ると水が出た。裏隣とは板塀で仕切られ、隙間から池と芝生が見えた。風呂は外から薪で沸かしていたと思う。風呂の順番は最初が父、次は長男の私だった。生活スペースは貸家だった頃より狭く（祖父母が増えた）祖父母、父母、兄弟の6人がそこで数年暮らした。狭い台所で祖母と母が家族、入院患者、看護師2人？の食事を作っていた。拾った雑種の小犬を飼った。街中に野良犬が多くいた。その頃の餌は決まって残飯だった。最初の犬は裏家の池で溺れて死んだ、泣きじゃくった。その次にはスピッツを母がどこからか貰ってきた。鳴き声がうるさく近所迷惑だった。学校には歩いて通った。今思えば2㎞ほどはあったと思う。診療所の前は舗装されていたバス通りだった。緩い坂を右手に300m程上ると競輪場があった。左手に下ると五差路があり、真っすぐ行くと電車通りだった。五差路を左に500m程行くと水前寺公園の裏手に出た。いつも裏から園内に入った。その左手に当時は動物園があった。その頃の公園はタダ動物園は入場料が掛かった。ガキ共の動物園の入口は更に裏手の破れた鉄の網だった。学校へは競輪場までは舗装道路、左折すると砂利道だった。更に進むと家は疎らになり畑が続いた。畑の向こうに学校が見え、その手前に一本榎が立っていた（次号へ）

当院での看取り患者数

4,224名　～2022年5月29日（累計）
（がん3,282名・非がん942名）

看取り・入院報告（5/23～5/29）

94歳女性・老衰：施設での看取り
68歳男性・胃癌：施設での看取り
67歳男性・肺癌：診療日数6日
85歳女性・心不全：最期に子供5人孫多数に会えた
70歳男性・脳腫瘍：実母に看取られる
86歳女性・肺癌：長女夫婦・孫夫婦・ひ孫で看取る
67歳女性・肺癌：姉と選んだお気に入りの服で旅立つ
79歳男性・膀胱癌：左右腎瘻留置
93歳女性・乳癌：施設での看取り

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
水：産業医活動
　　2事業所
木：面談担当

荘司 院長

火：Covid-19ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ
水：面談担当
金：面談担当
　　市在宅医療連絡協議会
　　市医師会定時総会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
5月23日
Vol.12

サツキ

今週のトピックス

癌の在宅緩和ケアにＡＣＰの時間はない

ＡＣＰ（アドバンスケア・プランニング）の定義は国、医師会、学会で少しづつ違う。
共通するのは将来受けるであろう、医療・ケアについて、自分で家族や周囲人と話しておくプロセスである。
①厚生労働省：人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチーム等と事前に繰り返し話し合うプロセスである。
②日本医師会：将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、 患者さんを主体に、そのご家族や近しい人・医療・ ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。
③日本老年医学会：ACPは将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである。

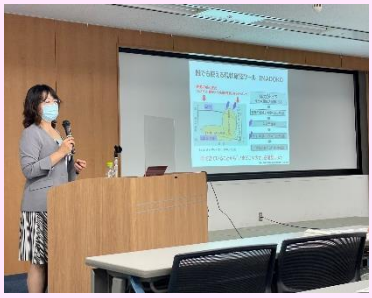
当院には余命の短い癌終末期患者が紹介されてくる。癌:85%、非癌:15%の割合である。当院の3,283件の在宅癌患者データでは1週間未満で12.2%、1週間～1カ月未満36.7%が亡くなる。退院した当日に亡くなることもある。 ACPの時間はない。求めているのは「緩和ケア」と「看取り」であることは明瞭である。やれることは「最期をどこで過ごしたいか？」「どこで死にたいか？」の確認ぐらいである。希望は「最期を家で過ごしたい」「家以外はもう嫌！家に帰りたい」「家で死にたい」「家で看取りたい」…だから在宅緩和ケアの相談に来ている、だから確認だけで済む。

確認で済まない場合がある。余命の告知が曖昧、無い場合である。「これ以上の加療は困難」「これからは緩和ケアになる」「人の余命は分らないが状況は厳しい」いい加減な説明・告知しか受けていない。当院で本人・家族に一から今後起こる病状まで説明し、余命もハッキリと伝える。本来、患者の命に向き合ってきた病院主治医がやるべき最後の仕事である。ACPは病院で行い、患者・家族の意向に従い、在宅緩和ケアか緩和ケア病棟を紹介するべきである。癌治療を通院で行う患者が来なかった時,検視になっているかもしれませんよ。

※ＡＣＰ（アドバンスケア・プランニング）・人生会議はまだまだ元気、自分は大丈夫と思っている人には響きません。厚生労働省が発表し、直ぐに引っ込めた芸人さんのポスターが一番的を射ていると思います。
私の考えるACPは、Ａ（あらかじめ）Ｃ（しにかた）Ｐ（プラン）です。

多摩在宅ケアネットワークが開催されました

新型コロナウィルス感染拡大に伴い、昨年度はオンラインで行われておりました多摩在宅ケアネットワーク。今回久しぶりに会場を借りての開催となりました。



聖ヨハネ会 桜町病院 在宅診療部長 大井裕子先生より「チームで活用する現状認識ツール IMADOKO（いまどこ）」について講演を頂きました。
IMADOKO　もう少し患者や家族が今後の事を知りたい。という希望に応じて、おおよその今後の見通しを示すことで、病状が変化した時も家族が死へのプロセスを見ながら、今出来ることを家族・本人が考える事が出来るツールです。

今、ここに至るまで。（前号から）

父との思い出は少ない。聞いた話では、熊本の朝市のある町の蒲鉾屋の長男として昭和3年8月に生まれている。昭和3年は辰年、祖父も辰年、私も昭和27年の辰年生まれ、3代続く辰年は珍しいらしい、おまけに、私は獅子座の生まれ。三碧木星、母が言うには名前を付けた親戚のお坊さんは背後に不動明王が付いていると話していたとのことだった。そのおかげで何度も死にかかったのに今も生きているのか？父は後継ぎということもあり熊商に進んだらしい、頭は良かった、他に兄弟もいたため後継ぎより勉強を選び熊中（現在の熊本高校）に移ったと聞いた。その後、熊本医専（現在の熊大医学部）に入学、その頃は戦争が背景にあり定員の倍近くが医師を目指していたらしい。医師として学徒出陣する前に終戦になり命拾いしたと聞いた。卒業後医専に残り勉強を続け、研究し学位を取得したいと考えていたようだが、生活が優先で大先輩を頼って総合病院（父が亡くなった病院）に就職している。そこで、臨床の経験を積む傍ら研究にも寸暇を惜しんで取り組んでいたと聞いた。実験で使う兎を団地の裏で飼っていた、小さい私が餌をやっていた、実験で死んだ兎を病院の庭に埋めていた記憶が残っている。懸命な努力で学位を習得するも大学には戻らなかった。ずーっと後になって、熊大医学部麻酔科教授から「お前の親父は医専の頃、最初から最後まで一番だった、教授になるはずだったが、生活のため就職した、この椅子も親父が座っていたかもしれない」 聞いたことがある。無口で寡黙で緻密な性格の人であった。その文字を見るとその性格がよく分かる。その父が臨床経験を重ね、内科医として腕を磨き、開業に漕ぎつけたのが熊本市水前寺の元歯科医院の跡だった。

（次号へ）

当院での看取り患者数

4,215名　～2022年5月22日（累計）

（がん3,275名・非がん940名）

看取り・入院報告（5/15～5/22）

57歳男性・胃癌：本人希望でﾎｽﾋﾟｽ退院自宅で看取る
86歳女性・胆嚢癌：独居 本人姪ともに病識今一つ
81歳女性・子宮体癌：最期まで美容師の仕事を全う
72歳女性・膵頭癌：夫・娘で看取る
80歳女性・肺癌：献身的な夫の介護
74歳男性・胃癌：診察日数6日
94歳女性・老衰：施設での看取り

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
火：産業医 面談
木：面談担当
　　多摩在宅ｹｱﾈｯﾄﾜｰｸ
土：がんカフェたま
　　（遺族会）講演会

荘司 院長

月：市医師会コロナワクチン
　　接種委員会
火：市医師会折衝委員会
水：面談担当
　　市医師会小・学・公委員会
金：面談担当
　　都医師会公衆衛生担当理事
　　連絡協議会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年5月16日 Vol.11

今週のトピックス

「かかりつけ医」とは？

① 患者が考えている「かかりつけ医」は自分が日頃通っている内科、整形外科…の先生を「かかりつけ医」と考えている患者が大多数である。昔は自宅で開業し夜間、休日も家にいる時には患者の相談に対応してくれる医師は沢山いた。私の父もそういう医師だった。時代は変わり診療所と自宅は別、夜間休日は連絡がつかない開業形態が増えた。都会では大多数の開業医がそうである。大半の医師は病気は診るが「かかりつけ医」とは思っていない。

② 日本医師会では、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医・専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけている。　（日本医師会： https://www.med.or.jp ）

③ 消防が考えている「かかりつけ医等」は家で「心肺停止」を「家族等が発見」した時に45分以内又は12時間以内に駆けつけてくれる医師のことである。

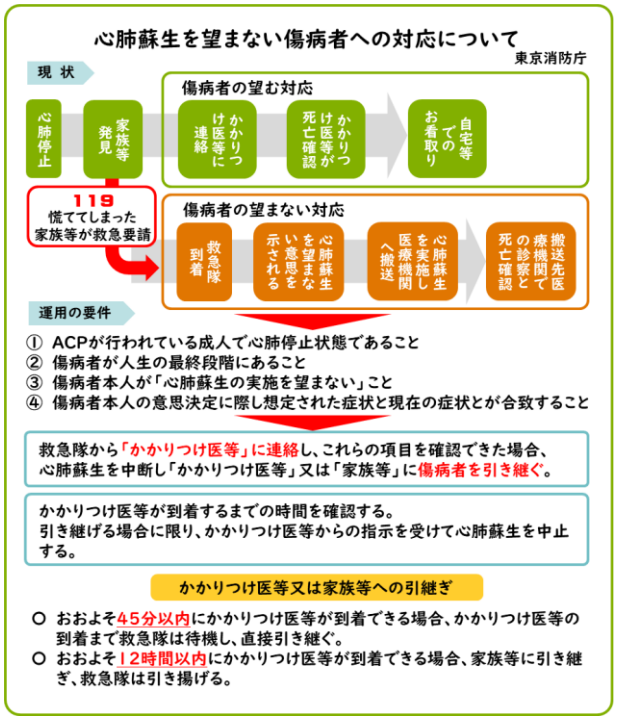
「心肺蘇生を望まない意思を示された」場合以下の要件があれば

1 ACPが行われている成人で心肺停止状態であること
2 傷病者が人生の最終段階にあること
3 傷病者本人が「心肺蘇生の実施を望まない」こと
4 傷病者本人の意思決定に際し想定された症状と現在の症状とが合致すること　（ACP：https://www.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20180307_32.pdf）

救急隊から「かかりつけ医等」に連絡し、これらの項目を確認できた場合、心肺蘇生を中断し「かかりつけ医等」又は「家族等」に傷病者を引き継ぐ。

「45分以内」にかかりつけ医等が到着する場合、救急隊は待機し、直接引き継ぐ。

「12時間以内」にかかりつけ医等が到着する場合、家族等に引き継ぎ、救急隊は退去する。



（東京消防庁：https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp）

結 論

「かかりつけ医」とは患者の命に最期まで責任をもつ医師のことである。
通院できる間は、病院・診療所の医師が自分の病気の主治医である。通院困難、寝たきり、癌終末期などの場合には、その先生が24時間365日責任もって最期まで診ることは困難である。困難な場合には在宅医が必要になる。「かかりつけ医等」「家族等」とあるのは在宅医、独居の場合には友人・知人も含むということです。人生の終わり方を考えて、文書として残しておくＡＣＰの作成、家族等にも伝えておくことが必要です。

多摩在宅ケアネットワーク

5月19日(木) 19：00～20：30

講師：大井 裕子 先生
聖ヨハネ会 桜町病院　在宅診療部長

ﾀｲﾄﾙ「ﾁｰﾑで活躍する現状認識ﾂｰﾙ　IMADOKO」

参加ご希望の方は下記申し込みフォームより
年間会員登録をお願いいたします。

https://bit.ly/3vnum5B

お問合せ先：立川在宅ケアクリニック ☎ 042-537-7066

会場：立川商工会議所（立川ビジネスセンタービル）
立川市曙町2-38-5（JR立川駅北口徒歩5分）

今、ここに至るまで。（前号から）

（ 母、祖母、祖父の話は思い出しながら書いてきたが人間の記憶は不思議だ、次第にいろいろ思い出し、繋がってきた。まだまだ時間のズレはあるが、思うままに書き進めたい。肝心な父の話が中途半端だった。その前に幼少期、父が開業するまでの記憶をもう少し辿ってみたい ）

3歳下の弟が生まれた時、団地の部屋で一人、遅くまで待っていた、父も帰って来なかった。母が親しくしていた近所のおばさんが世話してくれ、ご飯もご馳走になり、部屋まで送ってくれた。薄暗く、寂しかった記憶が微かに思い出せる。待ちくたびれた思い出はもう一つある。紙芝居が来ると私と弟は滑り台の階段に座って観ていた。ある日弟が階段から落ちた、自転車のペダルに頭をぶつけ血が流れた、慌てて大人が駆け付け病院へ連れて行った。私は取り残され、日が暮れるまで待ったが誰も帰って来なかった。その時も近所のおばさんが世話してくれ、泊めてくれた気がする。その後、父は稼ぎが良くなったのか、団地から庭付きの借家へ引っ越した。白川小学校に入学、入学式の校庭の桜、すぐ前を白川が流れていた。父の病院もすぐ近くだったことを覚えている。父の転勤で松橋町に移り、松橋小学校に転校、神社の下の一軒家だった。すぐ横を小川が流れ、堰き止めては魚を掬った、下流の銭湯に毎日通った、お祭りにはサーカスが神社にきた、鉄球の中をバイクが回った、巨大な椎の木、冬の畑でどんど焼き、蛇のシッポを掴んでグルグル回した、学校から帰ると軒下に鶏は逆さに下がっていた、その日は御馳走だった。休みの時には母に付いて熊本市に行った、蒸気機関車だった、トンネルに入ると煤で顔が汚れた、駅弁とお茶が楽しみだった。ある日、帯山小学校に転校になった、熊本市水前寺に父の開業が決まったからだった。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,208名　～2022年5月15日（累計）

（がん3,269名・非がん939名）

看取り・入院報告（5/9～5/15）

79歳男性・肺癌：娘 泊まり込みで看取る

81歳男性・肺癌：妻と二人暮らし老々介護

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当

水：産業医活動

木：面談担当

土：山梨県北杜市の川越厚先生を訪問

荘司 院長

月：市医師会

火：市医師会(会計監査)

水：面談担当
東京都医師会

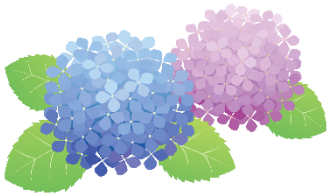
金：面談担当
市医師会理事会

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

道中グルメ情報

ご存知 ミニストップのソフトクリーム。井尾先生、訪問の時間に少し余裕がある時は必ずミニストップの濃厚ソフトクリーム。他のコンビニスイーツと比べても濃厚で美味。季節で変わる味もいいですが、特にベルギーチョコ味がオススメ。



在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ

☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
5月9日
Vol.10

今週のトピックス

人の最期は NPK （ネンピンコロリ）が理想？

日本人の大半は逝く時はPPK（ピンピンコロリ）・平穏死・尊厳死を希望している。これは無理である。PPKは事故死、急死などで思いがけなく死ぬことであり、延命医療、検視、解剖、死体検案書となる可能性が高く、残された家族は大変な目に合う。実際の多くは歳を重ね、慢性疾患、認知症、老衰等で出来ることが少なくなり動けない、食べられない状態となり、寝付くことになり、介護が必要になる。家族が介護するか、施設にお世話になることになる。介護開始から亡くなるまでの期間は不明で、NNK （ネンネンコロリ）が圧倒的に多い。
その期間は半年程度から10数年になることもある。殆ど最期は苦しむことなく、枯れるように亡くなるが、自宅でも施設でも死亡診断する医師の介入がない場合には、救急搬送か検視となる。東京は老老世帯、独居世帯が多く、警察介入、孤独死が増え続けている。当院は2000年から癌終末期を3,280人、非癌終末期941人を看取ってきた。癌の場合1ケ月未満で半数が亡くなる。これはあまりにも短く、残された時間に何もできないまま終わる。3ヶ月～半年程度自宅で過ごせれば、やりたいことは殆どできる。それには、医師が介入し痛みや呼吸苦など辛い症状を緩和し、自分の口から食べることが条件である。そして、最期の2週間程度寝付いて、皆に感謝しお別れをして旅立つのがNPK（ネンピンコロリ）である。自分の病を十分理解し、納得し闘い、予後・余命も知り、最期の緩和医療・場所も選択し、覚悟し、周囲にお別れし、感謝を残して旅立ったNPKの患者さんを沢山診てきた。NNK でも最期の段階で医師が介入すればNPKは可能である。私自身もNPKが理想だと思っている。
しかし、明日は全く分からない、PPKは不可能、NNK・ NPKには自分の**意思**（ACP）と**医師**が必要ですよ！
皆さんはいかがですか？

虹の会～共有の思いを語らう場～

大切な方を亡くされたご家族が共有の思いを語らう場です。ご予約なしでご自由に参加できます。

日時：5月14日(土)・5月23日(月)
13：30～14：30
開催場所：立川市総合福祉センター2階
（立川市富士見町2-36-47）
アクセス
・公共交通機関：立川駅北口(10)(11)バス停乗車「富士見町2丁目」下車徒歩3分
・無料シャトルバス：立川駅北口交番前より
13:10発（直行便・平日のみ）
参加費：200円
お問合せ：ボランティアさくら（岡田）
☎：**080-1163-5281**
Mail：sakura@tzc-clinic.com
主催：在宅ホスピスケア・ボランティアさくら
後援：立川市社会福祉協議会

多摩在宅ケアネットワーク

昨年度は新型コロナウィルス感染拡大によりオンラインでの開催だった「多摩在宅ケアネットワーク」ですが、今年度より従来通り会場を借りての開催をいたします。
年間開催スケジュール
① 5月19日 ② 8月4日 ③ 11月17日 ④ 2月16日
参加ご希望の方は下記申し込みフォームより年間会員登録をお願いいたします。
法人年間会員 ¥8,000. 個人年間会員 ¥2,000.
https://bit.ly/3vnum5B ☎ **042-537-7066**

5月19日(木) 19：00～20：30
講師：**大井 裕子 先生**
聖ヨハネ会 桜町病院　在宅診療部長
タイトル「チームで活躍する現状認識ツール IMADOKO」
会場：立川商工会議所（立川ビジネスセンタービル）
立川市曙町2-38-5（JR立川駅北口徒歩5分）

今、ここに至るまで。（前号から）

この頃の祖父の記憶はほとんどない、思い出すのは釣りと天草の記憶である。釣りに出かけた時、祖父の友人が外車で迎えに来た、大きかった、カーバイトの臭いのする付近を鹿児島方面に南下した。手作りの竿で団子みたいな餌をつけて投げていた。何時間も釣れなかった。痺れをきらした友人その場を離れていった。暫くしてドカーンと大きな音がした、浮いた魚が流れてきた、危ない仲間だったようだ。天草には祖母の実家があった、富岡という漁師町だった。手漕ぎの舟に乗せられ沖に出て、いきなり海に投げ込まれた。必死でもがき、溺れそうになると引き上げ、暫くするとまた投げ込まれた。おかげで1時間でも泳いでいられるようになった。夕方になると長い縄に釣り針のついた糸を沢山結び、餌をつけて海の近くの沼に仕掛けに出かけた。翌朝早く出かけ引き上げると鰻が暴れていた。今思うと稼ぐのは祖母に任せ、仲間と遊んで暮らしていたようだ。最後の祖父の思いでは、父が開業して祖母は仕事を辞め、二人とも一緒に暮らしていた。毎朝早く起こされ、一緒に散歩、乾布摩擦、木に登り木耳採り、道端で小鳥の餌を摘んだことを覚えている。その後胃癌を患い、祖父母の畳部屋で養生していた。薄暗く、陰気な、病人の臭いのする部屋で近づくのが怖かった。最期まで祖母、母が看病し、父が看取った。亡くなる時、皆が枕元に集まり、見守っていた姿がぼんやりと思いだせる。それが最初の死の経験だった。

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当

荘司　院長

月：東京都医師会 オンライン会議
火～木：東京都からの依頼による発熱外来
金：立川市医師会 役員会

当院での看取り患者数

4,221名　～2022年5月8日（累計）
（がん3,280名・非がん941名）

看取り・入院報告（4/25～5/8）
85歳男性・肺　癌：自営業やり遂げたいと在宅希望
86歳女性・乳　癌：緩和ケア病棟入院間に合わず
77歳男性・鼻腔癌：妻による手厚い看護
88歳男性・ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ：老々介護⇒特養入所
74歳男性・膵　癌：日中独居
90歳女性・心不全：緊急搬送後、病院にて死去
87歳女性・老　衰：施設入所
92歳男性・心不全：診療日数1,163日
84歳女性・肝細胞癌：死亡前日妹誕生日を家族で祝う
78歳男性・食道胃接合部癌：妻・子供・孫でｴﾝｾﾞﾙｹｱ
81歳男性・肺　癌：妻・長女・次女で看取る
61歳女性・結腸癌：自分で決めたﾜﾝﾋﾟｰｽを着て旅立つ
77歳女性・膵　癌：入院後在宅復帰不能
77歳男性・胆嚢癌：ホスピス間に合わず

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

道中グルメ情報

西立川「東華園」井尾先生、井上レディースクリニック勤務時代から20年以上通う、いわゆる街の中華屋さんです。「中華屋が美味いかどうかは、中華丼を食べればわかる」と。安定した美味さです。

「東華園」
立川市富士見町1-27-10
☎042-529-0458
井上レディースクリニック横

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

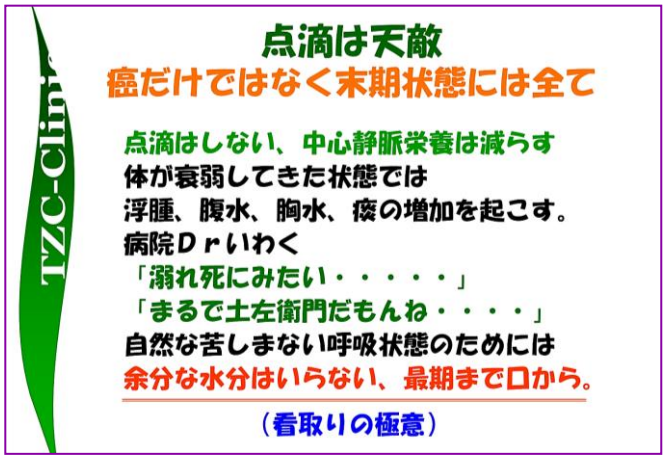
2022年
4月25日
Vol. 9

今週のトピックス

点滴は天敵

癌終末期、枯れて逝く高齢者への点滴は「百害あって一利なし」です。開業したばかりの頃癌終末期患者さんに、IVHで2000ｍｌ/日を平気で入れて帰す病院が沢山ありました。腹水、胸水、全身浮腫、分泌物多く胃管挿入されて帰ってくる患者さんもいました。まず初日に半分に減らします、2～3日すると腹水軽減、浮腫軽減、分泌物も軽減します。患者さん・ご家族に説明する時には「今の体は走り回る車じゃないよ、アイドリング状態だよ、余分なエネルギー、水分はいらないよ、処理できなくて溜まるだけ、これで十分、これでも多いようであれば、もう少し減らしますよ。」とお伝えしています。訪問看護ＳＴを開業された看護師さんから聞いた話です。「癌末期の親族が病院入院中ずーっと点滴をしていて、亡くなりました。全身浮腫、腹水、膀胱に留置カテーテル、胃管挿入、痰も多く、四六時中吸引し苦悶表情、酸素も投与されていました。亡くなって体を霊安室に移すとき布団はずぶ濡れになっていました。」だから、病院を辞め訪問看護を始めますと話されていました。葬儀屋の社長からも、病院からご遺体を運ぶ時、病室のお体を確認し、霊安室で棺桶に移す時ビニールシートを敷くと聞きました。通夜、葬儀の最中に体液が染み出すことを防ぐためだそうです。在宅緩和ケアでは基本的に点滴はしない、最期まで口からと面談時から十分お伝えします。どうしても見るに忍びないと訴える家族がいる場合には、持続皮下点滴500ml/日で対応、日に日に減量していきます。生物は枯れて最期がやってきます。花瓶に活けっぱなしの花は腐りますが、ドライフラワーは何時までも綺麗です。

以下は私の講演会の参加者、面談時に本人・家族に説明する時の資料です。右は2012年11月に京都で開催された第36回日本死の臨床研究会で米国Drの講演前に舞台に投影されていたスライドです。溺死！に警鐘。



がんカフェたま ８周年記念講演会

「自宅で最期まで過ごす心得」

講　　師：立川在宅ケアクリニック　井尾 和雄
日　　時：5月 21日(土)13:30～15:30
開催場所：ビジネスセンタービル11階
　　商工会議所　第４会議室
参 加 費：無料
お問合せ：ボランティアさくら（岡田）
　　080-1163-5281（平日10時～16時まで）
主　　催：在宅ホスピスケア・ボランティアさくら

虹の会　～共有の思いを語らう場～

大切な方を亡くされたご家族が共有の思いを語らう場です。ご予約なしでご自由に参加できます。

日　　時：5月 14日(土)13:30～14:30
開催場所：立川市総合福祉センター2階
参 加 費：200円
お問合せ：ボランティアさくら（岡田）
　　080-1163-5281（平日10時～16時まで）
主　　催：在宅ホスピスケア・ボランティアさくら
後　　援：立川市社会福祉協議会

今、ここに至るまで。（前号から）

父母とも働いていたため、祖母の赤提灯の店に預けられていた。覚えているのは、狭い路地を入った左右に小さい店が並んでいたこと、共同便所で怖かったこと、8人程で一杯になるＬ字のカウンター、狭い階段の下の蓄音機、竹の針を替えていた、冷蔵庫は氷が上の段に入っていた。狭い階段を上ると6畳ほどの部屋があり祖父母が暮らしていた。大水害の時、この部屋で母が10ヶ月の私を頭の上まで持ち上げていたらしい。祖母の仕込みが終わると一緒に映画に出かけた。熊本一の繁華街、新市街には東映、東宝、大映の映画館があった、祖母が観るのは決まって時代劇だった。東映時代劇の大ファンだった、中村錦之助、大川橋蔵、市川歌右衛門、月形龍之介、片岡千恵蔵、美空ひばり、市川雷蔵、…きりがない。初日は祖母と一緒だったが、翌日からは一人で出かけた、もぎりのおばさんも売店のおばさんも、顔パスで通してくれて、お菓子までくれた。私が時代劇好きなのはその影響だと思う。時代劇はなんでも好きだが、黒澤明作品はピカー、鬼平犯科帳、剣客商売、御家人斬九郎は何度も観ている。5円玉を握りしめ近所の駄菓子屋にも通った。夕方になると祖母が作る御飯を食べた、一番よく食べたのは肉うどん、今思えば、あの肉は馬肉かな？甘辛く、残った汁にご飯も入れていた。この店が父の友人たちの食を支えていた、後になって熊大教授になった同級生、結婚式にも出てくれた先生など数人から、祖母と母にはホントに助けてもらった、感謝しかないと話を聞いた。母の迎えが遅いときには近所の店で待っていた、厚化粧のおばさん達の店だったが皆優しかった。

（次号へ）

昭和28年6月26日水害

昭和２８年は雨の多い年で、6月上旬から阿蘇地方に度々強い雨が降っていました。6月末になって停滞していた梅雨前線に高温多湿の気流が流れ込み、熊本地方は未曾有の豪雨となりました。阿蘇地方にそれまで降り続いた雨で地盤は高い湿潤状態であったところに、この大雨が降ったため、白川はまたたくまに増水して大洪水となって沿川一帯に氾濫したのです。死者行方不明者422人、家屋浸水31,145戸、橋梁流出85橋。
(うち熊本市内の白川本川、白川にかかる橋14橋)

当院での看取り患者数

4,211名　～2022年4月24日（累計）
（がん3,271名・非がん940名）

看取り・入院報告（4/18～4/24）
38歳女性・子宮癌：診療日数　15日
74歳男性・胆管癌：診療日数　24日
51歳女性・乳　癌：診療日数　77日
91歳女性・心不全：診療日数　13日
70歳女性・膵　癌：診療日数　 9日

先週の動向

井尾 理事長

月：面談担当
　　経営者研究会
水：産業医活動 2事業所訪問
木：面談担当

荘司 院長

月：立川医師会 ワクチン接種委員会
火：折衝委員会
　　日本在宅医療連合学会 地域医療会議
水：面談担当
　　小・学・公 対策委員会
木：東京都医師会 フレイル担当者会議
金：面談担当
　　立川医師会 理事会
　　東京都医師会 感染症対策会議

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

※ ゴールデンウイーク・年末年始は休刊します。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年 4月18日 Vol. 8

今週のトピックス

終末期を過ごす場所の比較

家族、親族、友人を数多く見送った、殆んどが癌だった。病院に見舞いに行った。ICU、個室、4人部屋と様々だったがプライバシーは全くなかった。痛み、呼吸苦、トイレ移動困難、人工呼吸器装着され苦しんでいた親族・友人もいた。私自身も椎間板ヘルニア手術、冠動脈ステントのために入院した経験がある。白壁の部屋で夜に思ったことは、何人がこのベットで苦悶の夜を過ごしただろう、何人が亡くなっただろう、だった。もし、がん終末期で残された時を過ごすとしたら、どの部屋を選びますか？

	病 院	ホスピス	家
部 屋	闘病、死の臭いがする、白い壁	全員が亡くなった部屋	自分の住み慣れた家、部屋
ベッド・寝具	全員が闘病したベッド・寝具	全員が亡くなったベッド・寝具	自分のベッド・寝具
食 事	時間で決められた食事、配膳	時間で決められた食事、配膳	好きなもの、食べたい時に自由
酒・たばこ	NG	原則NG	自 由
ペット	NG	原則NG	一緒に寝てる
起床・就寝	病院のペース	原則病院のペース	自分のペース
外出・旅行	主治医の許可	主治医の許可	いつでもOK
趣味・音楽・映画	NG	NG	自由
家族の付添・面会	病院のペース（コロナで制限）	24時間OK（コロナで制限）	家族も自分の家
家族の宿泊	病院のペース	OK	家族も自分の家
医療・看護	医師、看護師	医師、看護師	在宅医、訪問看護師
医療処置	いつでも可	いつでも可	緊急薬はすべて処方済
夜間の連絡	ナースコール	ナースコール	24時間電話OK,必要なら出動
看取り	家族到着まで蘇生術施行？ 家族不在のまま死亡有り	家族が泊まれる部屋もある	家族が皆で看取る
死亡診断	主治医 or 当直医	主治医 or 当直医	在宅主治医

虹の会 ～共有の思いを語らう場～

大切な方を亡くされたご家族が共有の思いを語らう場です。ご予約なしでご自由に参加できます。

日　　時：５月 14日（土）・５月 23日（月）　13：30～14：30
開催場所：立川市総合福祉センター2階（立川市富士見町2-36-47）
アクセス：公共交通機関：立川駅北口(10)(11)バス停乗車⇒「富士見町2丁目」下車徒歩3分
　　無料シャトルバス：立川駅北口交番前より 13:10発（直行便・平日のみ）
参 加 費：200円
お問合せ：ボランティアさくら（岡田）　Mail：sakura@tzc-clinic.com
主　　催：在宅ホスピスケア・ボランティアさくら　　後　　援：立川市社会福祉協議会

今、ここに至るまで。（前号から）

ここまで思い起こして書いてきたが、様々な景色が脳裏を駆け巡り、夢にも出てくる今この頃である。祖父母、父母、私の過去の記憶も辿ってみよう。祖父は満州で軍人だったらしい、現地での詳しい話は祖父母、母からも具体的に聞いたことはない。辛い出来事だらけだったと思われる。祖父の思い出は、私が3歳前後の頃、ネフローゼ症候群で1年間ほど臥せっていた、毎日のように傍にきて元気になったら、自転車を買ってやる、釣りに連れて行ってやる、と励まし続けてくれたことは記憶の断片に残っている。助からないかもしれないと父も思っていたようで、いつも誰かがいる、父の実家の蒲鉾屋の2階で寝ていた。覚えているのは天井板の節目、朝市の雑踏、塩気無しのパン、バナナ、そして祖父の顔（明瞭には思い出せない）である。何とか、危機を脱し、幼稚園に進んだらしい、ほとんど覚えていないが、バイオリンが嫌で逃げ出したこと、団地の中でガキ共とビー玉・パンパン・墓地でかくれんぼ・紙芝居、母と行った銭湯、父が実験用に飼っていた兎などは思い出せる。（次号へ）

当院での看取り患者数

4,206名　～2022年4月17日（累計）
（がん3,267名・非がん939名）

看取り・入院報告（4/11～4/17）

76歳男性・大腸癌：診療日数 8日
81歳男性・肝癌：診療日数 1,317日
82歳男性・肺癌：ホスピス間に合わず

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長
水：面談担当
　都医師会 近未来医療会議
木：都医師会 医療情報委員会
金：面談担当
　都医師会 近未来医療会議
　記者会見

当院の訪問診療開始までの流れ

① 病院主治医から診療情報提供書を作成してもらい、血液検査データ、画像データ等も添付してもらって下さい。

② 電話にて面談予約を入れて下さい。面談は平日の午前中です。（下の表を参照下さい。）

③ 主たる介護者、可能であれば御本人も御来院下さい。

④ 面談後、本人が御在宅であれば当日から、退院前であれば退院当日から訪問診療・訪問看護開始致します。

※ 面談時間の15分前には御来院下さい。面談が長引くこともあります、ご容赦下さい。

面　談	月	火	水	木	金	土	日・祝日
9:30～10:30	○	○	○	○	○	休診	休診
10:30～11:30	○	×	○	○	○		
11:30～12:30	×	×	○	×	×		

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
4月11日
Vol. 7

ネモフィラ

今週のトピックス

緩和ケアを専門とする者

緩和ケアは緩和医療とは一線を画す人間ケアであると思っています。症状緩和は当然で、患者・家族が満足する死までのケアであると思っています。教科書や初期研修で簡単に学べるものではなく、死生観、倫理観、人としての経験、死に直面した経験が重要となります。緩和ケアとは①症状緩和の提供（ＱＯＬ）②穏やかの死の提供（ＱＯＤ）③家族ケアの提供であると思っています。真の緩和ケアが提供されているのはホスピス緩和ケア病棟と在宅緩和ケアです。ホスピス緩和ケア病棟に非がん患者対応が加われば最強だと思いますが、現実は難しいと思え、病棟から在宅緩和ケアへの進出が最善の策であると思います。緩和ケアチームは残念ながら病院内での活動が主体で、①②③すべてを提供する事は困難です。緩和ケアは主治医の依頼でコンサルタント、看取りは主治医 or 当直医、家族ケアまで手がまわらないのが現状だと思います。

在宅で「緩和ケアを専門とする者」とは以下の要件を満たすことが求められます。

① 可能な限りの症状緩和をがん、非がん全ての患者に提供する。

② 最期を看取る。

③ 24時間365日体制のチームで見守る。

④ 医師の覚悟：最期まで支えることを覚悟する。

⑤ 本人の覚悟（最期まで家で過ごしたい）を確認し尊重する。

⑥ 家族の覚悟（最期を家で看取りたい）を確認し尊重する。

⑦ 本人・家族のいずれかに覚悟がない、途中で揺らいだ場合には緩和ケア病棟に紹介する。

⑧ チームを組む、訪問看護師、訪問薬剤師、ケアマネ等の在宅ケア従事者の教育ができる。

⑨ 在宅緩和ケアボランティアの育成ができる。

⑩ 残された家族へのグリーフケアができる。

今後の日本の緩和ケア普及のためには、緩和ケアの本質を理解し、惜しみなく提供し、死に逝く患者に寄り添う医師看護師、薬剤師、ケアマネ等を地域で育成することが重要だと思います。

小西 亜佐子 医師が着任いたしました。

4月1日より新しく 小西 亜佐子（こにし あさこ）医師が常勤医として着任いたしました。宜しくお願い致します。

専門：麻酔科・在宅緩和ケア医
聖マリアンナ医科大学医学部、佐賀大学大学院、佐賀大学医学部付属病院、
大分県済生会 日田病院、嬉野医療センター、佐賀大学医学部助教、佐賀県医療センター好生館、
立川在宅ケアクリニック　昭和53年東京生まれ、趣味：海遊び、散歩

今、ここに至るまで。（前号から）

１人になった父は母の思い出を整理しながら、愛犬と長年のお手伝いさんに世話になり暮らしていた。最後に母が大事に乗っていたBMWは夫婦で足繁く通い、親しくしていたレストランのシェフに形見として譲ったと聞いた。その店には週に一度は顔を出し、いつもの席に座って、静かに食事をしていたと、後日シェフに聞いた。外国での急死だったので生命保険が下りるのに時間がかったようだ。熊本で歯科医をしている弟夫婦が何かと面倒をみてくれていた。私も熊本に帰る度に、熊本市内を一望できる立田山の墓地に御参りと掃除に出かけた。後に知ったことだが、墓地に葬り、日蓮宗の法要も行っていたが、分骨を日蓮宗総本山である身延山久遠寺に50年永代供養に一人でお願いに行ったようだ。夏に帰熊した時、父の異常を感じた、黄染があった。父の友人の病院へ連絡し、緊急でCT検査をお願いした。撮影の一部始終を先生と共に見ていた。断面が肝臓部分に及んだ時、先生と目が合い無言で頷いた。異常な肝腫大がそこに映っていた。そして、直ぐに紹介状をいただき、父が若い頃、最初に勤務した病院に精密検査で入院した。その頃、私は東京で忙しくしていたので一緒に居ることが出来ず、記憶が断片でしか繋がらない。進行癌で手術は難しいとの判断だったようである。今思えば、父は優秀な内科医で、町の開業医であったが県知事、代議士も一患者として診ていた、自分の異常に気が付かないはずがない。母が死に、自分のことはどうでもよく、早く母の所へ逝きたいと願っていたのではないかと思われる。（次号へ）

道中グルメ情報

前号でお知らせした天ぷら「さき亭」と同じ敷地内にあるご存知とんかつ「和幸」。注文を受けてからご飯をお釜で一人分づつ炊いてくれます。炊き立てのご飯で食べるロースかつは最高です。ご飯、みそ汁、キャベツはおかわりOKなのでついつい食べ過ぎてしまいます。多摩都市モノレール玉川上水駅徒歩3分。芋窪街道沿い。

当院での看取り患者数

4,203名　～2022年4月10日（累計）
（がん3,264名・非がん939名）

看取り・入院報告（4/4～4/10）

67歳男性・胆管癌：診療日数6日
83歳男性・間質性肺炎：老老介護、妻が看取る
57歳女性・子宮頸癌：娘たちがエンゼルメイク
78歳男性・肺癌：妻が看取る

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長
水：面談担当
　都医師会 近未来医療会議
木：都医師会 医療情報委員会
金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

このニュースレターは、立川在宅ケアクリニックの医師・スタッフ等と名刺交換させて頂いた方当院主催のセミナー・シンポジウム等にこれまで参加された方等に広く配信しています。
今後、案内メールの配信を希望されない場合、配信停止用アドレス: zaiwa@tzc-clinic.com
件名を「ニュースレター配信停止希望」として下さい。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
4月4日
Vol. 6

今週のトピックス

60代2人、50代２人、40代1人、30代3人新体制スタート

2000年2月に私一人、車一台、電話番一人で24時間365日体制の在宅ホスピス・緩和ケア「井尾クリニック」を開業しました。この22年間不思議な縁で出会った医師、看護師、事務の皆さんに助けられ、今日まで患者さん・ご家族を支えてくることが出来ました。今年、古希を迎えます、まだドライバーの飛距離は200ヤードを超えますが、還暦の頃からクリニックの存続を考えてきました。若返りです。今までは常勤医60代2人、50代2人、非常勤医60代1人、40代1人、30代2人体制でした。2022年4月から常勤医に40代の女医さんをお迎えし、常勤医60代2人、50代２人、40代1人、非常勤医30代3人体制になります。今回お迎えする小西亜佐子先生は麻酔科・緩和ケア科にて研鑽を積まれた先生です。この仕事はＱＯＬからＱＯＤへ短期間に変化していく中、緩和ケアを提供し、穏やかな着陸を目指します。病気を扱うと言うより、人を扱い、寄り添うことが求められ、経験が何より大切です。これからも新体制で在宅ホスピス・緩和ケアに取り組みます。今後ともよろしくお願いいたします。

今、ここに至るまで。（前号から）

井尾 和雄：（医）在和会 立川在宅ケアクリニック 理事長

母の葬儀には親戚、友人、知人など数えきれない人が焼香にきた。満州で生まれ育ち、運動神経抜群で女学校時代はスピードスケートの満州選手権を取ったと自慢だった。終戦で全てを失い、命からがら祖父母と3人、船で福岡に着いたと言っていた。祖母が熊本の繁華街の路地裏で赤提灯を営んで食べられていた。母は洋裁の仕事をしていたようである。その頃の辛い話は殆ど聞いたことがない。熊本大水害の時には店の2階まで水がきて、幼児だった私を頭の上に抱えて、何とか難を逃れたと聞いたことがある。母との思い出は限りない。福岡にYMCAスケートリンクが出来た時、インストラクターを依頼され、日曜日には弟と二人凸凹道を車で連れて行かれた。熊本にボーリング場ができると3人で通った、その後熊本県代表の選手として全国に試合に出かけていた。余裕ができた頃、日本舞踊、三味線を究め、あっという間に名取りになった。一番、熱心で年を取っても励んでいたのは麻雀である。満州引き上げの友人、親戚、近所、患者まで参加して、連夜卓を囲んでいた。おかげで、私も弟も一人前の雀士となった。そんな豪傑な母だった。私が大学で上京してから、一度も住んでいる所に来たことはない。決まって満州時代の友人の屋敷に泊まっており、夜中に「なんばしょっとね、メンツのたりんけん、すぐきなっせ！」と電話がかかってきた。そんな母が目の前で死んだことに父は大変なショックを受けていた。葬式が終わるまで始終無言で遠くを見ていた。火葬場でも白い煙を二人で眺めていた。（次号へ）

面談枠を増設しました

従来の面談枠に加えて、水曜日 11：30～12：30の面談枠を増設しました。

	月	火	水	木	金
9:30～10:30	●	●	●	●	●
10:30～11:30	●	×	●	●	●
11:30～12:30	×	×	●	×	×

面談のお申し込み方法、面談までの流れは従来通り変更はありません。尚、祝日の面談は行っておりません。患者様の病状・緊急度合に応じて、他の曜日に関しても面談の対応を致します。ご相談ください。

覚悟の確認

当院では訪問診療開始前、全例に本人・家族と面談を行います。確認することは本人・家族の病識と覚悟です。病名を十分認識しているか、今後起こる症状を説明されているか、終末期であること十分理解されているか、を確認します。病識が薄い場合には現在の症状の説明、今後起こる症状をお伝えします。一番大事なことは本人の覚悟です、最期をどこで迎えたいかを確認します。自分の状態を理解されている患者さんは、最期は家で迎えたい、家族に迷惑をかけたくないので、最期はホスピス・施設入りたい、と答えられます。理解が不十分、全くない患者さんの場合には、症状増悪時でも病院の入院はないこと、家での緩和ケアは当院で可能であること、終末期はホスピス・施設に入ることも可能であること、入るには事前手続きが必要であること等をお伝えします。次に家族の覚悟を確認します。最期まで家で介護し、看取る覚悟です。特に、次第に動けない、食べられない、トイレ移動困難となり、下の世話が大変であることお伝えします。介護者が妻・娘・姉妹の場合には90%は介護可能ですが、夫・息子・兄弟の場合には90%は介護困難になります。最期まで家で過ごし、家族が看る場合には、看取る覚悟が不可欠です。我々在宅医、訪問看護師は在宅で最期まで診る、看る、看取る覚悟はできています。最近、医療者の覚悟が不十分で救急搬送、警察介入、自宅検視がみられます。
覚悟の無い在宅医、訪問看護師にはご用心！

道中グルメ情報

クリニックの最寄り駅、多摩都市モノレール玉川上水駅から徒歩3分。芋窪街道沿いにある天ぷら屋「さき亭」玉川上水店
コの字型のカウンター席に座ると席の目の前で揚げてくれます。
定食を頼むと必ずついてくる「たまご」の天ぷら。
ごはんの真ん中にくぼみを作り、たまごの天ぷらを乗せます。
箸でたまごを崩すと、半熟の黄身がトロ～っと。高級たまごかけご飯の完成です。お一人さまでも気軽に入れるお店です。

天ぷら「さき亭」玉川上水店
東大和市桜が丘2-247-8
☎042-566-2340

当院での看取り患者数

4,199名　～2022年4月4日（累計）
（がん3,261名・非がん938名）

看取り・入院報告（3/28～4/4）

78歳男性・胆管癌：妻も高齢の為介護力不足
73歳女性・胸部大動脈瘤切迫破裂：独居生活保護
ホスピス転院
78歳男性・突発性肺線維症：施設で看取り
88歳男性・心不全：風呂場で発見される
88歳女性・廃用症候群：診療日数 1,949日
94歳女性・胃癌：長男夫婦、孫、ひ孫で看取る
80歳男性・胆のう癌：妻娘で看取る
89歳男性・胆管癌：ホスピス間に合わず自宅看取り
88歳男性・前立腺癌：妻84歳(認知症)も診療中
75歳男性・前立腺癌：硬膜外カテーテルで
疼痛コントロール

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
水：産業医 衛生委員会
木：面談担当

荘司 院長
水：面談担当
金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://www.tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
3月28日
Vol. 5

今週のトピックス

患者さんとの関係は 2.5人称が丁度良い

最近また本を読むようにしている。先日、養老猛司先生の「ヒトの壁」をパラパラと読んだ。その中で気になる箇所があった。「私が若い時に間違えたこと」という部分である。「今になってみると、インターン時代の精神科で、若い時の私がなにをどう間違えたのか、わかるように思う。私は患者さんと二人称関係に入ろうとしたのである。あなた、君、お前の二人称、親身になるとはそういうことだからである。そうすべきだと自然に思っていた。ところが、それをすると、相手の死は自分にとって痛手になってしまいます。相手に取り憑かれやすくなると言ってもいいであろう。現代風に言えばトラウマである。相手と三人称関係であれば、いわば赤の他人だから、表現は悪いが、相手の生死など知ったことではないと突き放すことができる。自分とは関係が切れる。医療者と患者の関係、つまり距離の取り方はあんがい難しいものである。親身にならないと相手の信頼がなかなか得られないが、それが成功すると、患者との関係が二人称関係になってしまう。開業医だった私の母が、『白髪にならなきゃ臨床はできないよ』と言っていたのも、その辺の機微を指していたか、と思う。」我々の従事する在宅緩和ケアは患者・家族と初日に親しくなり、信頼を得ないと成り立たない。祖父母、父母、兄弟姉妹、子供と思い、接し、話し、触れることから始まる。心から親身に接するが、医師の立場で現実・真実を明確に伝えることを大事にしている。予後、余命を知らされていなかった患者さんから「本当のことを知れて良かった、ありがとうございます。」と感謝されることも多い。家族も蟠りが晴れ、本音で話せ、残された時間を有意義に過ごされる。自分の死が1人称、家族の死が2人称、他人の死が3人称、在宅緩和ケアでの患者さんの死は2.5人称の距離感が丁度良い。柳田邦男先生も「サクリファイス：犠牲」で同じこと書いている。養老先生の母上も同じ境地だったと思われる。私の父も今思えば同じだったかなぁ…それにしても白髪が増えた。

今、ここに至るまで。（前号から）

井尾 和雄：（医）在和会 立川在宅ケアクリニック 理事長

日本に帰り麻酔科医として働いていた産婦人科クリニックで在宅緩和ケアの旗を揚げた。同時に在宅ホスピス協会の存在を知り加入、川越厚先生の研修会に参加した。そのクリニックで数人のがん患者さんを診ていたが知名度がなく患者さんが集まらなかった。同時進行で配置医として診ていた特養の経営者が新たに施設を造るという話が持ち上がり、一角にホスピスを造る計画を進行させていた。9分9厘大丈夫だと思っていたが、ホスピスの話は経営者の無理解で流れてしまった。ホスピスの知識を深めながら、麻酔をかけ、ゴルフに出かけ、日々を過ごしていたある日、母が韓国旅行中に急死したと連絡が入った。何もわからぬまま、兎に角熊本に帰った。韓国と交渉の末、遺体は火葬せず帰ることになり、福岡空港まで迎えに行った。花束が載った棺桶で職員に運ばれて別の出口から出てきた。その後ろを父は憔悴しきった姿で後からトボトボと歩いてきた。そこに、福岡県警の警察官が2人検視をさせてほしいと現れた。熊本で通夜の準備をして皆集まっているので熊本県警でやって欲しいとお願いした。聞き入れてくれて、母と共に熊本へ出発。熊本に到着し祭壇に祀った直後に「ピンポン」と熊本県警が現れた。刑事と白衣姿の若い医師だった。ハングルで書かれた死亡書類は日本では不都合で検視は断れない。幸いにも？ 白衣の医師は父の同級生の息子であった。急死の原因は、心臓か脳である、倒れた時に亡くなったので背髄穿刺をさせてほしいと父に頼んできた。断るわけにもいかず、施行すると、赤黒い血が出てきた。クモ膜下出血の死体検案書となった。（次号へ）

「在宅緩和ケア開始報告書」と「在宅緩和ケア終了報告書」

訪問診療の開始と終了時に、紹介元の先生に写真付きで詳細な報告書をお送りします。

先日亡くなった患者さんの報告書の一部をご紹介します。

初回訪問診療時の会話は「家で最期を迎えたい、最期までよろしくお願いします。お礼とお願いは奥さん、息子、嫁さんにだよ。古い付き合いだから最期まで診るよ。初めて会ったのは20数年前、N先生の勉強会の後の飲み会かな、先生がホスピスを造ると聞いて、市民ボランティアは？と聞いたら、要らないと言われたこと覚えています。そうだね、造るにはお金、銀行から借りる予定だったけど、地主の無理解で流れたね。後どれぐらいですか?1、2ヶ月？そんなにないよ！週単位だよ、1週づつ乗り越えていきましょう」当院事務長とも親しく、一度飲みましょうと約束があったようで日本酒を持参して見舞いに行っています。大変喜ばれて、お猪口に少しだけ二人で乾杯したようです。その後、家族、見舞客に人生最高の美酒だったと話されていたようです。しばらくして、気になって、会いに出かけた、手を握って、「Nさーん、どうよ」と声をかけると目を開けて頷く、私を待っていた様な目で見るが、話す力はほとんどない。血圧は触診で触れる程度、足は紫斑、冷たい、黄疸著明、喘鳴あり、この状態はお迎え前の状態だね、何が起こっても慌てないことお伝えした。「じゃーまたねー」と耳元で挨拶して家を出た。数日後、クリニック到着時、看護師の車が出ていく、亡くなったみたいですとの報告あり、この1時間しかない、直ぐに死亡診断に訪問する。特に苦しむことなく亡くなった。息子と父親と私のこれまでのことを話した。最初に会ったのはN先生の会の後、飲みながら話した、N先生は元義父の医学部同級生、二人とも癌で亡くなった、娘は両方とも医師、N先生の娘は麻酔科医大学の後輩、を話した。上智大学のアルフォンデーケン先生、柳田邦男先生の講演会にも来ていたね、兎に角、縁が深かった、私の空いている時間を待っていたかのように亡くなった、ご冥福を祈ります。

当院での看取り患者数

4,190名　～2022年3月27日（累計）
がん3,255名・非がん934名）

看取り・入院報告（3/21～3/27）
86歳男性・間質性肺炎：老老介護 妻も認知
66歳男性・肺腺癌：診療日数3日
89歳男性・膵癌：井尾先生長年来の友人
79歳男性・直腸癌：日中独居

先週の動向

井尾 理事長	荘司 院長
月：面談担当	水：面談担当
木：面談担当	金：面談担当

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。

尚、このニュースレターは、立川在宅ケアクリニック の医師・スタッフ等と名刺交換させて頂いた方。当院主催のセミナー・シンポジウム等にこれまで参加された方等に広く配信しています。ご友人・知人の方にも是非とも広げていただきたくお願い致します。
配信先のアドレス変更を希望される際にはお手数ですがその旨を明記の上、下記アドレスまでご連絡いただきますようお願いします。
配信希望アドレス zaiwa@tzc-clinic.com 件名を「ニュースレター配信希望」としてください。
今後、案内メールの配信を希望されない場合、配信停止用アドレス: zaiwa@tzc-clinic.com
件名を「ニュースレター配信停止希望」としてください。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
3月21日
Vol. 4

今週のトピックス

在宅ホスピス・緩和ケアへの想い

2022年2月19日 立川にて第24回日本在宅ホスピス協会全国大会を開催しました。
井尾が実行委員長を務め閉会挨拶をいたしました。この挨拶に在宅ホスピス・緩和ケアへの想いを込めました。

立川在宅ケアクリニックの井尾でございます。この度は第24回日本在宅ホスピス協会全国大会にご協力、ご参加下さいましてありがとうございました。コロナ禍の中Ｗｅｂ配信となりましたが、沢山の皆様にご参加いただきました。2年前から続いていますコロナ感染症は、世界中を巻き込んだ戦争と同じです。このコロナ禍で奇しくも在宅医療の重要性が認識されたように思います。コロナ感染症は時間が経てば収束し、一般の感染として残っていくものだと思います。在宅医療の普及はコロナのためではなく、これから迎える**多死時代**に向けて、普及を推進されてきたものです。2025年から本格的な多死時代に突入します。約6割の人々は「**最期は家で**」と願い、また「痛くない、辛くない、苦しくない死」を迎えたいために緩和ケアを受けたいと希望しています。その願いを基に「**地域包括ケアシステム**」が誕生し日本各地で整備されつつあります。当院は医師であった父が、阪神淡路大震災の3日前に、肝癌で苦しみ病院で寂しく旅立ったことを契機に、麻酔医から在宅緩和ケアを目指し、2000年2月に開業し、3日後の22日で丸22年が経ちます。この22年間で**4155人**の患者さんを看取って来ました。在宅で看取った**85%**はがん患者さんです。在宅緩和ケアの真髄は、余命が1カ月以上ある患者さんにはＱＯＬを提供、1カ月を切る頃からは**ＱＯＤ**を提供し、本人・家族が望む「**静かな着陸**」を目指すことだと思い仕事をしてきました。最近、在宅医療・訪問看護・訪問介護、施設介護など高齢者を取り巻く環境が**ビジネス化**しています。医療、看護、介護は利益を追求するビジネスではありません。今後を大変心配しています。死に逝く患者さんに必要なことは「治す医療」「離陸の医療」ではなく「**寄り添う医療**」「**着陸の医療**」です。2025年から本格化する多死時代に向けて在宅ケアに従事する**心ある**医師、看護師、介護士に期待したいと思います。本日は挨拶、座長、講演をお願いしました先生方、ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。また、今後とも日本在宅ホスピス協会へのご支援もよろしくお願いいたします。これを持ちまして閉会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

今、ここに至るまで。（前号から）

井尾 和雄：（医）在和会 立川在宅ケアクリニック 理事長
立川にホスピス建設を計画する。現状を知ることが第一と考え行動を開始した。日本全国のホスピス見学から始めた。その頃、全国には10数か所のホスピスが存在した。行ける所から片っ端に出かけた。並行して緩和ケアの情報を集めて知識を吸収した。当時親しくしていた年上の経営者とその友人達がそれぞれの夢のため、アメリカ縦断の旅を計画していることを知り、アメリカのホスピス見学のため参加を希望した。ソルトレイクからサンタフェまでの男6人、ワンボックスカーで1週間走り、それぞれの夢のための見学をした。友人は「アースシップ」という土・古タイヤ・空瓶・空缶で造る自給自足の家を見学するため。友人の同級生は秩父にキャンプ場造るため、案内人は行く先々でフライフィッシングをするため、盛んに写真を撮る大手テレビ局ディレクター、面白そうと付いてきた友人の友人、運転手は現地のアメリカ人、貴重な体験を沢山した。現地では訪問看護師が中心となり在宅や施設を回って緩和ケアに従事しており、同行させてもらった。ある老人ホームでお爺さんに日本でも訪問緩和ケアを広めてほしいと握手をしながら激励された。　（この原稿を書いてる、今、揺れている！2022年3月16日23時35分）コロナ戦争、ウクライナ戦争、ここにきて地震、余震、停電、明日からの訪問が心配される。いつでも避難できる用意をしてラジオを聴く、津波、停電、電車運行の情報を伝えている。（次号へ）

多摩信用金庫コロナワクチン集団職域接種いたしました。

3月19日（土）理事長が産業医を務めています多摩信用金庫にて3回目の集団職域接種を行いました。医師5名（当院4名、他院1名）訪問看護師22名（当院5名、他17名）で700人超に接種しました。
1回目は2021年7月10日、7月27日、2回目は2021年8月7日、8月21日、3回目は3月5日。
総数2,000人以上に接種しました。

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。この地域にお住まいの方はご相談下さい。

先週のコロナ対策活動

当院では医師は昼間の時間帯、訪問診療に出ていますので訪問診療が終了後、夕方に予約枠を設け外来ワクチン接種を行っております。

○ 外来ワクチン接種：46名
○ 在宅ワクチン接種：2名

当院での看取り患者数

4,185名　～2022年3月20日（累計）
がん3,252名・非がん933名）
看取り・入院報告（3/14～3/20）

75歳女性・胆管癌：息子3人で看取る
67歳女性・肺癌：夫が看取る
95歳女性・老衰：大往生

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
水：産業医　幹福祉会
　　たましんビジネス
木：面談担当

荘司 院長
月：市医師会ワクチン
　　接種担当委員会
水：面談担当
　　小・学・公対策委員会
金：面談担当

道中グルメ情報

江戸時代から武蔵村山市で食べられていた伝統食「かてうどん」「かて(糧)」とは、茹でた季節の地場野菜をうどんに添えたもの。「村山かてうどん」のお店「肉汁うどん青柳」に荘司院長は立ち寄ります。医師は体力勝負。うどん屋ですがここは精肉店が営んでいるのでお肉も最高！「ロースかつ定食」がおススメ。

肉汁うどん青柳（あおやぎ）
武蔵村山市本町4-6-5
武蔵村山市役所前
☎042-561-0143

尚、このニュースレターは、立川在宅ケアクリニック の医師・スタッフ等と名刺交換させて頂いた方。当院主催のセミナー・シンポジウム等にこれまで参加された方等に広く配信しています。ご友人・知人の方にも是非とも広げていただきたくお願い致します。
配信先のアドレス変更を希望される際にはお手数ですがその旨を明記の上、下記アドレスまでご連絡いただきますようお願いします。
配信希望アドレス zaiwa@tzc-clinic.com 件名を「ニュースレター配信希望」としてください。
今後、案内メールの配信を希望されない場合、配信停止用アドレス: zaiwa@tzc-clinic.com
件名を「ニュースレター配信停止希望」としてください。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

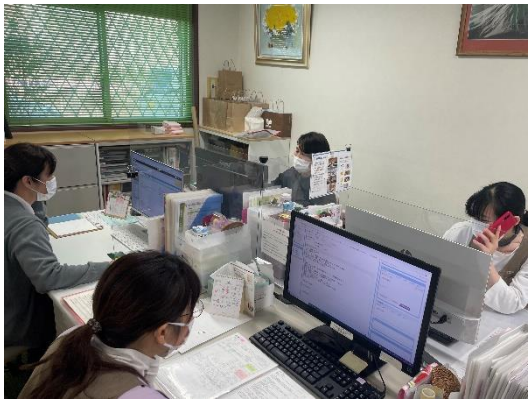
2022年
3月14日
Vol. 3

ナノハナ

今週のトピックス

医師の予測は「あたらない」

最近、オンラインの勉強会で聖隷三方原病院 緩和支持治療科の森田達也先生の講演を視聴しました。一番同感したのは『医師の予測は「あたらない」』という部分の内容でした。「患者に伝えた予後」より「実際の予後」は短いとうのが結論でした。当院のがん患者診療日数のデータ（2022年2月末現在 3,243人）でも1週間未満12.4%、1週間～1ヶ月未満37%、半数が1ヶ月未満で亡くなっています。病院でがん治療に従事する先生方にお願いがあります。良い結果が出ないまま加療が最終段階、終了した状態での予後は思ったより短いのが現実です。緩和ケア病棟、在宅緩和ケアへの早い段階での説明、紹介をお願いしたいと思います。告知より短いと受け入れもできないまま、有意義な時間も過ごせず、ショックは大きくなります。告知より長いと受け入れもでき、有意義な時間を過ごせ、ショックも小さいようです。その時は、伝える側も伝えられる側も辛いでしょうが、真実を伝えた医師の方が本人・家族の感謝は大きいようです。



東京都及び立川市の依頼を受け
自宅療養者の健康観察事業に協力しています。

当院では東京都が実施している自宅療養者「健康観察等支援事業」に加えて、立川市が実施している「新型コロナウィルス感染症の自宅療養者への医療支援事業」に参加協力しております。新型コロナウィルス感染症の陽性自宅療養者に対して健康状態の聞き取り調査を実施。体調がすぐれない場合は速やかに遠隔診療及び往診を行っております。また保健所と連携し入院・宿泊施設へ入所が必要な方に対し支援を行っております。

今、ここに至るまで。

井尾 和雄

（医）在和会　立川在宅ケアクリニック理事長　昭和27年8月21日生　辰年、獅子座、B型

熊本市で父（医師）の勤務する総合病院で誕生、父の開業までは県内を転々と引越し小学校は3校変わる。熊本市水前寺で医院開業、地元の歩いて通える、帯山小学校、帯山中学校、熊本高校卒業まで過ごす。昭和46年高校卒業時、新設医学部の誘いを蹴り日本大学芸術学部写真学科に入学、写真家を目指し上京する。在学中に起業したがオイルショックで挫折、医学部を目指し熊帰する。3年浪人後に帝京大学医学部に入る。在学時代に結婚、国試終了後3日目に長女が誕生する。大学では麻酔科に入局、10年以上各地の手術室で勤務する。阪神淡路大震災の3日後に父が肝癌で若い時代勤務していた病院の部屋で寂しく逝った。日本の緩和ケアの未熟さに憤慨し麻酔科医から緩和ケア医を目指す。（次号へ続く）

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。この地域にお住まいの方はご相談下さい。

道中グルメ情報

片桐先生は、日野・八王子・昭島・福生・羽村方面の患者さんを訪問することが多いです。移動距離も長いため、お昼ご飯を摂る時間もあまりないようです。日本のファストフード【蕎麦】がお好みです。昭島中神の『又達』によく行きます。
蕎麦はもちろんの事、一品料理も充実。和風だしのタレで仕込んだ自慢のローストビーフ丼もあるようです。

「又達(またたつ)」
東京都昭島市中神町1167-8
青梅線中神駅徒歩5分
☎0425-432-8600

当院での看取り患者数

4,182名　～2022年3月13日(累計)
（がん3,250名・非がん932名）

看取り・入院報告（3/7～3/13）

69歳男性・肺癌：妻が看取る
73歳女性・肺癌：ホスピス入院
84歳男性・肺気腫：診療日数8日
77歳男性・膵癌：老人ホームで看取る
72歳男性・食道癌：妻、息子で看取る
83歳男性・胆管癌：家族で看取る

先週のコロナ対策活動

当院では医師は昼間の時間帯、訪問診療に出ていますので、訪問診療が終了後、夕方に予約枠を設け、外来ワクチン接種を行っております。

○ 外来ワクチン接種：49名
○ 在宅ワクチン接種：10名
○ 在宅訪問検査：なし
○ 在宅コロナ診療：なし

先週の動向

井尾 理事長
月：面談担当
木：面談担当

荘司 院長
月：市医師会 医療安全対策に対する講演会
火：市医師会 折衝委員会
水：面談担当・都医師会検案医連絡会
金：面談担当

尚、このニュースレターは、立川在宅ケアクリニック の医師・スタッフ等と名刺交換させて頂いた方。当院主催のセミナー・シンポジウム等にこれまで参加された方等に広く配信しています。ご友人・知人の方にも是非とも広げていただきたくお願い致します。
配信先のアドレス変更を希望される際にはお手数ですがその旨を明記の上、下記アドレスまでご連絡いただきますようお願いします。
配信希望アドレス zaiwa@tzc-clinic.com 件名を「ニュースレター配信希望」としてください。
今後、案内メールの配信を希望されない場合、配信停止用アドレス: zaiwa@tzc-clinic.com
件名を「ニュースレター配信停止希望」としてください。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック

〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　✉zaiwa@tzc-clinic.com　URL:http://www.tzc-clinic.com

TZCニュースレター

Tachikawa Zaitakucare Clinic

2022年
3月7日
Vol. 2

今週のトピックス

コロナ戦争の真っ只中にロシアは本物の戦争を始めてしまいました。ウクライナの支援に世界中が動いています。ＴＶで観る医療体制にも支援が必要と切実に感じました。少しでもお役に立てばとウクライナ大使館に寄付させていただきました。双方とも早い終息を祈ります。
それよりも日本は「超高齢多死時代」に突入し、大変な危機に直面しています。2020年の年間総死亡数は約137万人、その内、約77%は75歳上の高齢者です。2025年には団塊世代が75歳を迎えます。2040年頃がピークで年間約170万人の死亡が予測されています。病院、施設での看取りには限界があります。「地域包括ケアシステム」「地域看取り」の普及がこの危機を救う唯一の策です。当院は多摩地域で22年間「在宅看取り」を実践してきました。地域の医療・看護・介護が連携しこの危機を乗り切りましょう。

多摩信用金庫コロナワクチン集団職域接種いたしました。

3月5日（土）理事長が産業医を務めています多摩信用金庫にて3回目の集団職域接種を行いました。医師5名（当院4名、他院1名）訪問看護師22名（当院5名、他17名）で764人に接種しました。
次回は3月19日（土）の予定です。
1回目は2021年7月10日、7月27日、2回目は2021年8月7日、8月21日に総数2,000人以上に接種しました。

「がんカフェたま」が開催されました。

3月5日(土) 午後、JR立川駅近辺の一室を借りて「がんカフェたま」が開催されました。
「がんカフェたま」は、がんの悩みや不安など、同じ思いの人々との語らいの場です。がん患者さんやご家族が予約なしでご自由にご参加頂けます。リモートで医療従事者の方々も参加いたします。今回は5名の方にご参加頂きました。毎月第1土曜日開催しております。 ご参加希望の方にご紹介下さい。

第24回 日本在宅ホスピス協会 全国大会(Zoom配信) ご登壇頂いた先生方

先日開催されました、第24回日本在宅ホスピス協会全国大会にてご登壇頂きました先生方をご紹介いたします。ご挨拶・講演頂きました先生方本当にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

千葉県立保健医療大学 准教授	安部 能成 先生
日本在宅ホスピス協会 会長	小笠原 文雄 先生
東京都医師会 会長	尾﨑 治夫 先生
日本在宅ケアアライアンス 理事長	新田 國夫 先生
日本在宅ケアアライアンス 副理事長	武田 俊彦 先生
東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員教授	辻 哲夫 先生
山形県 庄内保健所 所長	蘆野 吉和 先生
日本ホスピス緩和ケア協会 理事長	志真 泰夫 先生
立川市医師会 会長	村上 幸人 先生
オレンジホームケアクリニック院長	宮武 寛知 先生

安部 能成
(大会長)

小笠原 文雄
(ご挨拶・座長)

尾﨑 治夫
(ご挨拶)

新田 國夫
(ご挨拶)

武田 俊彦
(講演)

辻 哲夫
(座長)

蘆野 吉和
(講演)

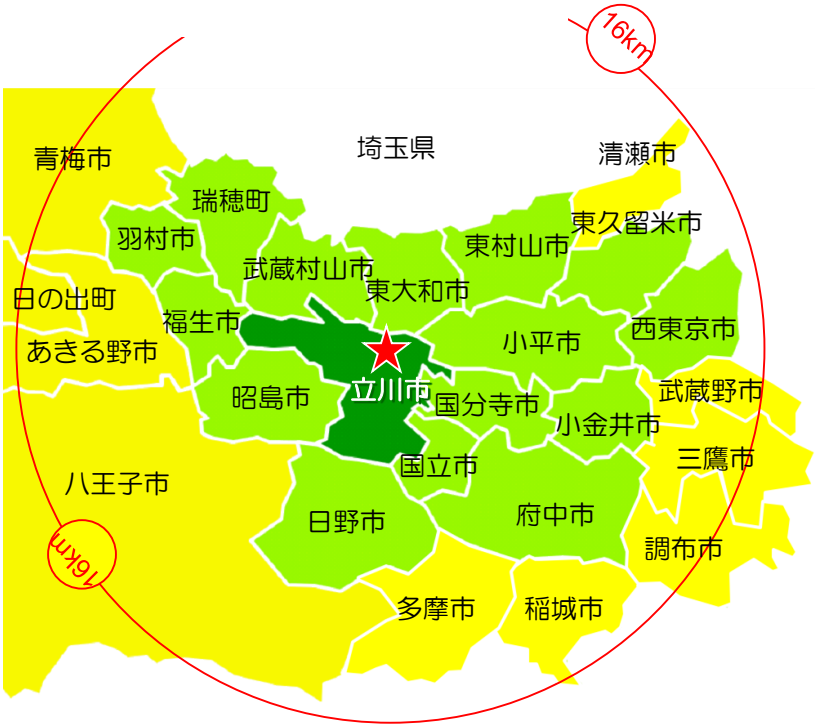
志真 泰夫
(講演)

村上 幸人
(市民講演会
座長)

宮武 寛知
(次期大会長)

当院の訪問診療地域

原則として訪問の範囲は往診で認められている半径16㎞また片道約30分圏内の市町村としています。16㎞範囲内でもＪＲ、私鉄、幹線道路、河川などで交通事情の悪い地域はお伺いできないこともあります。この地域にお住まいの方はご相談下さい。



道中グルメ情報　第一弾

先生方は朝から訪問診療に出かけます。訪問の道中、お昼を各地で食べています。井尾先生、片桐先生は福生方面の訪問時公立福生病院近くの「天ぷら・鰻　久保田」に寄るようです。現在、訪問中の患者さんが「うなぎ坂東太郎」が美味しい、と褒めるので詳しく聞いてみたら、ここの鰻のことでした。
「鰻・天ぷら 久保田」東京都福生市福生910番地
☎042-551-0545　http://unagi-kubota.sakura.ne.jp/

当院での看取り患者数

4,177名　～2022年3月6日(累計)
(がん3,245名・非がん932名)

看取り・入院報告（2/28～3/6）
83歳女性：胃癌：家族が看取る
87歳女性：悪性リンパ腫：ホスピス入院
54歳女性：膵癌/肝転移：診療日数1日
36歳女性：肺癌/骨転移：両親が看取る
88歳男性：肺癌：自宅からサ高住入居
88歳女性：肺癌：独居、孫娘が看取る
69歳男性：胃癌：家族が看取る

先週のＴＺＣのコロナ対策活動

- ○ 外来ワクチン接種：51名
- ○ 在宅ワクチン接種：12名
- ○ デイサービスワクチン接種：15名
- ○ 在宅訪問検査：なし
- ○ 在宅コロナ診療：なし

先週の動向

井尾理事長
月：面談担当
木：面談担当
金：「在宅医療推進のための会」参加

荘司院長
月：立川市医師会 小・学・公対策委員会
水：面談担当
金：面談担当、デイサービスワクチン接種

尚、このニュースレターは、立川在宅ケアクリニック の医師・スタッフ等と名刺交換させて頂いた方、当院主催のセミナー・シンポジウム等にこれまで参加された方等に広く配信しています。ご友人・知人の方にも是非とも広げていただきたくお願い致します。
配信先のアドレス変更を希望される際にはお手数ですがその旨を明記の上、下記アドレスまでご連絡いただきますようお願いします。
配信希望アドレス zaiwa@tzc-clinic.com 件名を「ニュースレター配信希望」としてください。
今後、案内メールの配信を希望されない場合、配信停止用アドレス: zaiwa@tzc-clinic.com　件名を「ニュースレター配信停止希望」としてください。

在宅緩和ケア充実診療所
立川在宅ケアクリニック
〒190-0002　東京都立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964　FAX042-534-6965　zaiwa@tzc-clinic.com　URL http://tzc-clinic.com

2022年2月28日第1号発行

TZCニュースレター

（医）在和会 立川在宅ケアクリニック 理事長 井尾 和雄 よりご挨拶

2000年2月22日に父の病死を契機に在宅緩和ケア専門診療所を開業しました。
2022年2月22日から23年目に入りました。
日本は高齢多死時代に突入しています。2025年には団塊世代が75歳の後期高齢者となり年間死亡数は増加の一途をたどります。この危機に対応すべく国は「地域包括ケアシステム」という戦略で市町村と医師会に地域での看取りを推進し、体制の構築が進行中です。
残念ながら十分な対応が全国各地で出来るまでに程遠いのが現状です。都会では在宅医療、訪問看護に取り組む施設が増えていますが、ビジネス化しているようで、緊急搬送、検視は相変わらずで、在宅看取りが増えてはいません。当院は東京多摩の真ん中に位置し、相談される全ての患者・家族に緩和ケアを提供し、在宅で最期まで支え、看取る診療所として今後も努力していきます。もう少し、当院の医師、看護師、活動を知っていただくため、TZCメールニュースレターを配信いたします。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

立川在宅ケアクリニック理事長　井尾和雄

第24回 日本在宅ホスピス協会 全国大会（Zoomウェビナー配信）が開催されました

2月19日(土)　第24回日本在宅ホスピス協会全国大会(Zoomウェビナー配信)が開催されました。当院が事務局を務めました。

大会テーマ　「在宅ホスピス・緩和ケアは日本を救う」
大会長 安部 能成 先生
(千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科)

ＡＭ　基調講演
ご挨拶　小笠原 文雄 先生 (日本在宅ホスピス協会 会長)
尾﨑 治夫 先生 (東京都医師会 会長)
新田 國夫 先生 (日本在宅ケアアライアンス 理事長)

基調講演① 武田 俊彦 先生 (日本在宅ケアアライアンス 副理事長)
座長 小笠原 文雄 先生 (日本在宅ホスピス協会 会長)
基調講演② 蘆野 吉和 先生 (山形県庄内保健所 所長)
座長 辻 哲夫 先生 (東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授)
基調講演③ 志真 泰夫 先生 (日本ホスピス緩和ケア協会 理事長)
座長 井尾 和雄 (医)在和会 理事長)

ＰＭ　市民講演会
講演① 安部 能成 先生
(第24回日本在宅ホスピス協会全国大会大会長)
「在宅ホスピスは日本を救う～SDGsの観点から読み解く」
座長 小笠原 文雄 先生 (日本在宅ホスピス協会 会長)

講演② 荘司 輝昭 (立川在宅ケアクリニック 院長)
「最期の瞬間 あなたの眼に映るものは何ですか？」
座長 村上 幸人 先生 (立川市医師会 会長)

以上の先生に講演を頂きました。
当初、市民講演会はたましんRISURUホール(東京都立川市)を借りての開催を予定しておりましたが新型コロナウィルス オミクロン株の感染拡大により完全オンライン(Zoom)での開催となり視聴アカウント数は午前中の基調講演208・午後の市民講演会は246。大変多くの方にご参加いただきました。

次回開催（第25回大会）は今年の12月3～4日
福井県で開催予定。大会長は 宮武 寛知先生
(オレンジホームケアクリニック 院長)
にお勤めいただくこととなりました。

講演をいただききました先生方、開催までご協力をいただきました関係者様に厚く御礼を申し上げます。

大会長 安部 能成 先生

次期 大会長 宮武 寛知 先生

立川在宅ケアクリニック 訪問診察開始までの流れ

①現在おかかりの主治医の先生から診療情報提供書を作成してもらう。血液検査データ・画像CDも併せてお願いいたします。

②お電話にて面談予約を入れてください。(☎042-534-6964)
平日(月～金) 午前中（9:３０～・10：30～）の２枠で予約を受け付けております。

③主たる介護者・ご本人様来院可能であればご本人様にご来院いただき　当院医師と面談をしていただきます。面談の中では、患者様の病状確認・ご家族構成・訪問先ご自宅の確認、かかる医療費などをご説明させていただきます。また病状、訪問地域など考慮の上、医師・看護師の訪問回数・曜日等を決定いたします。

④面談後、ご本人様がご自宅にいれば面談日の午後、入院中であれば退院する日に医師がご自宅に伺い診察を開始いたします。

災害医療センター・立川病院からの初期研修医を受け入れております。

当院では10数年前から災害医療センター・立川病院等から研修医（期間は2週間、そのうち1日は聖ヨハネ会ホスピスで見学）また都立北多摩看護専門学校から看護学生を受けております。

過去の受け入れ実績は、災害医療センター154名、立川病院18名、東大和病院12名になります。

当院での看取り患者数	～2022年2月27日（累計）	2月21日～27日（先週）
	4,171人（がん3,239人・非がん932人）	7人

発行元：立川在宅ケアクリニック 〒190-0002 立川市幸町5-71-16 コンフォートフラッツⅢ
☎042-534-6964 Fax042-534-6965 ✉zaiwa@tzc-clinic.com URL http://tzc-clinic.com